

# 松山市埋蔵文化財調査年報 35

令和4年度

2023

松山市教育委員会  
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団  
埋蔵文化財センター



## 序 言

松山市内には周知の埋蔵文化財包蔵地が約 400 か所あります。松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団では、試掘調査や発掘調査をはじめとした調査研究事業、また松山市考古館での普及啓発事業によって、埋蔵文化財の保護と活用に努めています。本書は令和 4 年度の事業概要報告です。

令和 4 年度の調査・研究事業では、市内で 4 件の発掘調査を実施しました。特筆すべき遺跡の調査としては、桑原遺跡 8 次調査があります。桑原遺跡 8 次調査では、弥生時代から古墳時代の堅穴建物を 8 棟検出し、弥生時代から古墳時代へと移り変わる桑原地区の集落の様相を解明するうえで、貴重な資料になりました。出土品には、周防地域や山陰地方の特徴を持つ土器が出土しており、弥生時代後期から古墳時代前期にそれらの地域との交流があったことが明らかになりました。また、これらの土器は、伊予の土器と中国地方の土器とを比較研究するにあたり、重要な資料となるものです。

普及・啓発事業では、「特別展」を前期・後期の 2 回開催しました。前期展では、国立大学法人愛媛大学と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団との包括的連帯協定締結を記念した『愛大発掘～すごいぞ！文京遺跡～』を開催し、弥生時代の大規模拠点集落「文京遺跡」の魅力を紹介しました。後期展では、奈良県桜井市・同田原本町と連携し『古墳時代のヤマト～奈良県唐古・鍵遺跡から纏向遺跡へ～』を開催しました。展示会の期間中には、邪馬台国時代の奈良盆地東南部と松山市内の遺跡についてシンポジウムを開き、来館者から好評を得ました。

最後に、埋蔵文化財の保護、発掘調査及び普及事業について、皆様の御理解と御協力に厚くお礼申し上げますとともに、本書を埋蔵文化財の保護と調査研究にお役立ていただければ幸いです。

令和 5 年 12 月

松山市教育委員会  
教育長 前田昌一

## 例 言

1. 本書は、松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが、令和4年4月1日から令和5年3月31日までに実施した埋蔵文化財発掘調査の概要と、松山市考古館が行った普及啓発事業の成果などをまとめた年次報告書である。

2. 発掘調査の報告は、調査担当者が執筆し、編集は高尾和長が行った。

3. 確認調査については、第Ⅱ章の表にその概要を山邊進也がまとめた。

4. 本書に掲載した写真は、担当調査員と大西朋子が撮影した。

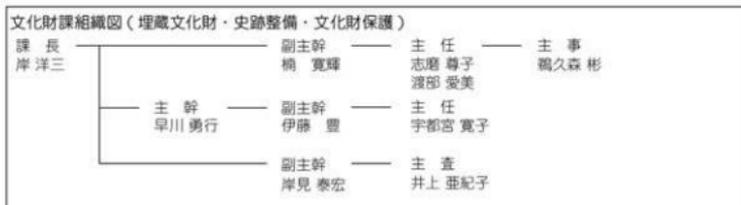
5. 位置図は、国土地理院発行の2万5千分の1図を使用した。

6. 遺構は、以下の略号で記した。

SB：竪穴建物址 掘立：掘立柱建物跡 SK：土坑 SD：溝 SE：井戸 SP：柱穴  
 SX：性格不明遺構 SR：自然流路 SA：柵、柱列 ST：墓 T：トレンチ

7. 刊行組織は、以下のとおりである。(令和5年4月1日現在)

	松 山 市 教 育 委 員 会	教 育 長	前 田 昌 一
	事 務 局	局 長	鷺 谷 浩 三
		次 長	河 野 直 充
		次 長	石 原 英 明
		次 長	横 山 憲
		次 長	大 石 和 可 子
	文 化 財 課	課 長	岸 洋 三
公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団	理 事 長		本 田 元 広
	事 務 局	局 長	片 山 雅 央
		次長兼総務部部長	宇 高 徹 二
		施設管理部部長	仙 波 義 道
	埋蔵文化財センター	所 長 兼 館 長	梅 木 謙 一



埋蔵文化財センター組織図			
所長兼考古館長 梅本 謙一	調査・研究	主 査	吉岡 和哉
		主 任	橋本 雄一、新原 佑典（派遣）
		主 事	渡部 浩史
		再雇用嘱託	山本 健一、高尾 和長、宮内 慎一、相原 浩二、河野 史知
		専門嘱託	作田 一耕
		一般嘱託	宮脇 和人、山邊 進也、浅井 茂之
	普及・啓発 施設運営	主 査	小玉 亜紀子
		主 任	水本 完児、竹政 俊一
		再雇用嘱託	濱松 謙二
		一般嘱託	松本 美代子、宇高 千代美
		丹生谷 道代、平岡 直美、川添 利恵、山下満佐子、木西嘉子	

8. ご指導・ご協力を賜った方々は、次のとおりである。（五十音順・敬称略）

池尻伸吾（愛媛県埋蔵文化財センター）／内田九州男／大西朋子／沖野実（愛媛県埋蔵文化財センター）／柴田昌見（愛媛大学）／柴田圭子（愛媛県埋蔵文化財センター）／下條信行／高瀬哲郎（石垣技術研究機構）／田崎博之（愛媛大学）／名本二六雄（愛媛考古学協会）／兵頭勲（愛媛県教育委員会）／藤本史子（武庫川女子大学）／前園實知雄（愛媛県埋蔵文化財センター）／松下孝幸・松下真実（特定非営利活動法人人類学研究機構）／松村さを里（愛媛県埋蔵文化財センター）／三浦正幸／向平和（愛媛大学）／村上恭通（愛媛大学）／横須賀倫達（文化庁）／吉田広（愛媛大学）

9. ご指導・ご協力を賜った機関は、次のとおりである。（五十音順・敬称略）

伊予史談会／愛媛県教育委員会／愛媛大学／香川県埋蔵文化財センター／公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター／公益財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター／公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター／特定非営利活動法人人類学研究機構／文化庁

10. 本書の仕様は、以下のとおりである。

製版 モノクロ写真・写真図版-175線  
印刷 オフセット印刷  
用紙 本文：三菱製紙ニューVマット  
製本 無線綴じ

# 本文目次

I	令和4年度 松山市埋蔵文化財調査概要	
	令和4年度 松山市埋蔵文化財調査概要	2
	桑原遺跡8次調査	3
	久米才歩行遺跡9次調査	7
	松山城三之丸跡26次調査	11
	松山城三之丸跡27次調査	15
II	令和4年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
	令和4年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	20
III	令和4年度 出土物整理・保存処理事業	
	1. 出土物整理	30
	2. 出土物整理・立会調査（南久米町 R3-199）	33
	3. 出土物整理・立会調査（北久米町 R4-8）	36
	4. 出土物整理・権現町出土石器	40
	5. 保存処理	43
	6. 余戸柳井田遺跡3次調査出土の中世人骨	45
	7. 高田遺跡（棕之原14号墳）出土古墳人骨	53
	8. 坂浪西1号墳出土の古墳人骨	62
IV	令和4年度 普及啓発事業	
	1. 展示活動	72
	2. 教育普及活動	73
	3. 収集・保管・育成活動	75
	4. 出版活動	75
	5. 資料の貸出・調査	75
	6. 考古館月別入館者数調	75

## 挿図・写真目次

I 令和4年度 松山市埋蔵文化財調査概要	
桑原遺跡 8次調査	3
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 調査地近景(南東より松山城方面を望む)
図2 遺構配置図	写真2 SB1周壁溝検出状況(南西より)
図3 出土遺物実測図	写真3 SB1炭化木材出土状況(北より)
	写真4 SB2遺物出土状況(北より)
	写真5 SB2完掘状況(南西より)
	写真6 SB4遺物出土状況(東より)
	写真7 完掘状況(空撮)
	写真8 出土遺物(器台)
久米才歩行遺跡 9次調査	7
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 1区~3区遺構完掘状況(東より)
図2 遺構配置図・調査区位置図	写真2 1区遺構完掘状況(東より)
図3 出土遺物実測図	写真3 2区遺構完掘状況(東より)
松山城三之丸跡 26次調査	11
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 調査区全景(南より)
図2 遺構配置図	写真2 根石(西より)
図3 『亀郭城秘図』における各調査区の位置	
図4 『松山城下図屏風』における各調査区の位置	
図5 北御門周辺の過去の調査と26次調査区の位置図	
松山城三之丸跡 27次調査	15
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 I区全景(西より)
図2 I区遺構配置図	写真2 石組溝2と石組溝3(東より)
図3 三之丸御殿東辺周辺の調査区位置図	
II 令和4年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
図1 令和4年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図 (縮尺1:100,000)	28

Ⅲ 令和4年度 出土物整理・保存処理事業	29
2. 出土物整理・立会調査（南久米町）	33
図1 調査地位置図（縮尺1：25,000）	
図2 1区遺構配置図	
図3 2区遺構配置図	
写真1 1区SD101 検出状況（北より）	
写真2 1区SD101 ベルト土層状況（北東より）	
写真3 1区SD101 完掘状況（北東より）	
写真4 1区SD102 検出状況（北東より）	
写真5 2区遺構完掘状況（西より）	
写真6 2区SD201 ベルト土層状況（南西より）	
写真7 2区SD201 完掘状況（西より）	
写真8 2区SK201・SP201 完掘状況（西より）	
3. 出土物整理・立会調査（北久米町）	36
図1 調査地位置図（縮尺1：25,000）	
図2 遺構配置図（太枠内）	
図3 東壁土層図	
図4 二つ塚古墳墳丘復元図	
写真1 調査地遠景（西より） ※右手奥の叢が二つ塚古墳後円部墳丘	
写真2 調査区近景（北西より）	
写真3 1区溝状遺構検出状況（北西より）	
写真4 1区溝状遺構検出状況（南西より）	
写真5 1区溝状遺構（西より）	
写真6 3区溝状遺構検出状況（南西より）	
写真7 3区溝状遺構（西より）	
写真8 出土遺物（埴輪）	
4. 出土物整理・権現町出土石器	40
図1 調査地位置図	
図2 調査地断面図	
図3 出土遺物実測図	
図4 松山平野における後期旧石器時代の遺跡分布図	
写真1 ナイフ形石器	
写真2 剥片	

6. 余戸柳井田遺跡 3次調査出土の中世人骨	45
図1 遺跡の位置図 (1/25,000)	
図2 人骨の残存図 (アミかけ部分)	
写真1 調査区全景	
写真2 土坑墓1人骨出土状況	
写真3 土坑墓1 (男性・性別不明)	
頭蓋 (The skull)	
左上腕骨 (The left humeri)	
左大腿骨 (The left femur)	
7. 高田遺跡 (椋之原 14号墳) 出土の古墳人骨	53
図1 遺跡の位置図 (1/25,000)	
図2 人骨の残存図 (アミかけ部分)	
写真1 調査区遠景	
写真2 14号墳人骨出土状況	
写真3 椋之原 14号墳 14-1 (男性・年齢不明)	
頭蓋 (The skull)	
歯 (The teeth)	
右大腿骨 (The right femur)	
8. 坂浪西 1号墳出土の古墳人骨	62
図1 遺跡の位置図 (1/25,000)	
図2 人骨の残存図 (アミかけ部分)	
写真1 調査区遠景	
写真2 1号墳人骨出土状況	
写真3 坂浪西 1号墳 (女性・年齢不明)	
歯 (The teeth)	
頭蓋 (The skull)	
写真4 坂浪西 1号墳 (女性・年齢不明)	
左側上腕骨 (The right humeri)	
大腿骨 (The femur)	

#### IV 令和4年度 普及啓発事業

写真 1	発掘へんろ展「四国の風土と暮らしー山と人々ー」……………	87
写真 2	発掘へんろ展 講演会	
写真 3	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」「掘ったぞな松山 2022」	
写真 4	「掘ったぞな松山 2022」講演会	
写真 5	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」「いにしへのえひめ」	
写真 6	「いにしへのえひめ」講演会	
写真 7	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」親子発掘現地見学会	
写真 8	愛媛大学包括連携事業 特別企画展「愛大発掘～すごいぞ！文京遺跡～」	
写真 9	愛媛大学包括連携事業 特別企画展ディスカッション……………	88
写真 10	特別展 「古墳時代のヤマト～奈良県唐古・鍵遺跡から纏向遺跡へ～」	
写真 11	特別展 シンポジウム①	
写真 12	特別展 シンポジウム②	
写真 13	ロビー展発掘情報展「桑原遺跡 8 次調査」	
写真 14	ロビー展発掘情報展「収蔵考古資料展」	
写真 15	ロビー展「2022Kid's 考古学新聞コンクール全国巡回展」	
写真 16	ロビー展「古代の進展」	
写真 17	ロビー展「大連古代蓮の育成」……………	89
写真 18	考古学リレー講座	
写真 19	考古学リレー講座 / 現地見学会 (松山城)	
写真 20	親子考古学教室①	
写真 21	親子考古学教室②	
写真 22	まつやまの歴史を学ぼう	
写真 23	古代体験教室「石勾玉を作ろう」	
写真 24	考古学出前講座 土器焼き (小学校)	

# 目 次

II	令和4年度	松山市埋蔵文化財調査関係資料	
	表 1	令和4年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧(1)～(6)……………	21～26
	表 2	令和4年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧……………	27
III	令和4年度	出土物整理・保存処理事業	
	1.	出土物整理	
	表 1	遺物接合・復元作業一覧(1)(2)……………	30・31
	表 2	遺物実測・整理・収蔵・図面整理作業一覧……………	31
	表 3	遺物写真撮影及びデータ処理・整理作業一覧……………	32
	4.	出土物整理・権現町出土石器	
	表 1	出土遺物観察表……………	42
	5.	保存処理	
	表 1	令和4年度 金属製品保存処理遺跡名一覧……………	43
	表 2	令和4年度 調査出土金属・木製・動植物遺体一覧(以前の調査出土も含む)……	44
	6.	余戸柳井田遺跡3次調査出土の中世人骨	
	表 1	資料数 (Table 1. Number of materials)……………	47
	表 2	出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)……………	47
	表 3	年齢区分 (Table 3. Division of age)……………	47
	表 4	大腿骨計測値(男性、右、mm)……………	50
	表 5	大腿骨(mm)(Femur)……………	50
	7.	高田遺跡(棕之原14号墳)出土の古墳人骨	
	表 1	資料数 (Table 1. Number of materials)……………	55
	表 2	出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)……………	55
	表 3	年齢区分 (Table 3. Division of age)……………	55
	表 4	上腕骨計測値(男性、右、mm)……………	59
	表 5	大腿骨(mm)(Femur)……………	59
	8.	坂浪西1号墳出土の古墳人骨	
	表 1	資料数 (Table 1. Number of materials)……………	64
	表 2	出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)……………	64
	表 3	年齢区分 (Table 3. Division of age)……………	64

#### IV 令和4年度 普及啓発事業

##### 1. 展示活動

表 1	展示会一覧	76
-----	-------	----

##### 2. 教育普及活動

表 2	考古学講座・講演会等 (1) (2)	76・77
表 3	古代体験教室 (1) ～ (3)	77～79
表 4	遺跡見学会	79
表 5	体験学習・主催事業来館・団体来館 (1) ～ (3)	80～82
表 6	発掘調査現地説明会	82
表 7	職場体験	82
表 8	博物館学芸員実習	82
表 9	館外・出前考古学教室 (1) ～ (3)	82～84
表 10	職員研修・会議	84

##### 4. 考古館広報関係

表 11	印刷物等一覧	84
表 12	出版物一覧	85

##### 5. 資料の貸出・調査

表 13	資料の貸出一覧	85
表 14	考古資料の調査一覧	86

##### 6. 考古館月別入館者数調

表 15	令和4年度 考古館月別入館者数調 (令和4年4月～令和5年3月)	86
------	----------------------------------	----

# I 令和4年度

## 松山市埋蔵文化財調査概要

## 令和4年度 松山市埋蔵文化財調査概要

**概要** 令和4年度の埋蔵文化財調査事業は、発掘調査4件、試掘調査116件、年報・報告書刊行4件、出土物整理・保存処理を実施した。

**【発掘調査】**令和4年度内に調査が完了した発掘調査は民間事業2件、国庫補助事業2件である。なお、現地説明会はコロナウイルス感染拡大の影響で執り行っていない。

**民間事業（2件）**：市内東部の桑原地区で1件、南部の久米地区で1件の調査を実施した。桑原遺跡8次調査では、弥生時代の竪穴建物4棟と、古墳時代の竪穴建物4棟を検出した。遺物には弥生土器・須恵器・土師器があり、このうち弥生時代後期前半の竪穴建物SB2からは、特異な複合口縁壺が出土している。外面には沈線文・波状文を施し、拡張部には口縁部の最大径の外周に円環状の粘土をやや下垂させて貼り付け、鈿あるいは軒のように張り出す粘土帯を貼り付けている。この複合口縁壺は周防に淵源を求められる器種とみられるが、鳥根県西谷4号墓出土品に当資料に形態・施文が酷似する土器があり、注目される資料である。

久米才歩行遺跡9次調査では、古墳時代の掘立柱建物と土坑を検出した。遺物には弥生土器・土師器・須恵器・石製品などがある。特に、古墳時代の掘立柱建物は久米才歩行遺跡と北に位置する古墳時代後期の前方後円墳である二つ塚古墳との関係を考える上で重要な資料である。

**国庫補助事業（2件）**：松山城三之丸跡では史跡整備に伴う確認調査を継続的に実施しており、令和4年度には26次調査と27次調査の2件を行った。今年度の調査は、26次調査は北御門東袖石垣西面の築石（積石）の確認、27次調査は三之丸御殿東南角を画する石組溝の形状の確認を目的とした。調査の結果、26次調査では根石を二石確認し、この根石の位置は25次調査の結果から想定した位置にはほぼ一致するもので、根石の背後には栗石を検出するにいった。27次調査では過去の調査に接続する位置で東西溝（石組溝1）と南北溝（石組溝2・3）を検出した。

**【試掘調査】**：市内一円における試掘調査（国庫補助事業）によって、埋蔵文化財の内容の確認を行っている。「埋蔵文化財の確認申込」受付件数は243件で、前年度（227件）に比べ16件増加した。このうち116件に対して試掘調査を行い、35件で遺跡を確認している。（P21～26・表1）

**【年報・報告書刊行】**：令和4年度事業をまとめた『松山市埋蔵文化財調査年報34』と発掘調査報告書3冊を作成した。調査報告書は公共開発と国庫補助に伴う発掘調査事業が1冊（2遺跡）、民間発掘調査事業が2冊（3遺跡）である。（P85・表12）

## 桑原遺跡 8 次調査

所在地	松山市桑原五丁目 680 番の一部 (松山地区№82 桑原・東本遺跡群)
期間	令和 4 年 10 月 17 日～12 月 16 日
面積	286.27㎡
原因	マンション建設
担当	浅井 茂之・新原 佑典



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は松山平野北東部、石手川左岸の古期扇状地上にあって高縄山塊から南西に伸びる舌状台地の先端、標高36.6mの地点に位置する。周辺では桑原遺跡、桑原田中遺跡等の発掘調査から、弥生時代後期と、古墳時代中期及び後期の集落跡が確認されている。当調査地の西約430m地点には、弥生時代後期後半の集落跡である東本遺跡群が、北東約740m地点には古墳時代初頭の首長居館と考えられる大型掘立柱建物群を擁する樽味遺跡群が所在する。

**遺構・遺物** 検出した主要な遺構は、弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴建物(SB)8棟である。

SB1は直径約6mの円形の竪穴建物である。内部施設は主柱穴2基と周壁溝、貼床を確認した。床面上から長さ1mを測る炭化木材等が出土したが、埋土等の状況から、建物は火災を受けておらず、建物の廃絶にあたり炭化材が廃棄されたものと考えられる。樹種については未鑑定である。弥生時代後期前半に位置づけられる。SB2は2棟の竪穴建物を重複して検出した。SB2(A)は直径約8mの円形を呈し、主柱穴3基と周壁溝を確認した。SB2(B)は一辺4m以上の隅丸方形を呈し、内部施設は主柱穴1基と周壁溝、貼床を確認した。遺物は(A)から弥生時代後期後半に位置づけられる大型器台(図3-45)や周防系の複合口縁蓋(図3-1)等が、(B)からは古墳時代初頭に位置づけられる山陰系二重口縁蓋(図3-2)等が出土した。SB3は3.5m×4mの方形竪穴建物で、南西にあたる長辺の中央に炉を設ける。炉に袖状の堤を持つこと、規模として小形であること等から、工房としての性格を考えたい。SB4は一辺4m以上の隅丸方形を呈す竪穴建物で、調査区北西端で遺構の南西隅四分の一を確認した。内部施設は主柱穴と貼床を確認した。土師器の高坏や手掘土器が出土している。古墳時代前期前半に位置づけられる。SB5は削平、攪乱が著しく構造等は不明であるが、3m×3.5mの方形竪穴建物である。SB6は主柱穴4基からなる方形の竪穴建物で、一辺約5.5m四方と推定される。SB5・6とも共伴遺物がなく詳細は不明であるが、古墳時代の遺構と考えられる。SB7は周壁溝と入口部に土坑をもつ方形竪穴建物で、規模は東西4.5m、南北3.5mを測る。古墳時代前期後半に時期比定される。

このほか、D2区に位置するSP1から柱状高台をもつ土師器坏が出土した(図3-11)。底部糸切で高台外面にはハケ状工具による多条の沈線が廻る。底部から口縁部へは、腰部にやや膨らみを持ちながら直線的に外方へ開く。見込みは茶溜まり様に渦状に窪む。11世紀代に帰属する資料と考えられる。

**まとめ** この調査の成果から、弥生時代後期後半の拠点集落である桑原・東本遺跡群の東方への広がりと、古墳時代前期集落の存在が明らかになった。SB2(A)から出土した周防系の複合口縁蓋の位置づけについては、山口県地方に類例をもつと指摘される。柱が二重に廻る円形の竪穴建物が東本遺跡(4次調査)で確認されており(高尾1996)、注意を要する。またこの時期の集落の構造について、

大型円形建物1棟と中型から大型の方形建物1棟、それに小型の方形建物2棟が一組をなす群構成が指摘されており(同前)、今回確認した遺構も併せて検討の俎上に載せる必要がある。このほかSB2(B)に伴うと考えられる器台の裾部片(図3-3)は、弥生時代後期に松山平野に分布する大型器台よりも、今治市妙見山古墳出土の「伊子型特殊器台」(下條2008)に近似するように見受けられる。SB2の(A)と(B)の切り合いを明確にできていないため、共伴遺物から時期比定を行うことが困難であるが、注目すべき資料として提示しておきたい。(新原)

【参考文献】

高尾 和長編 1996『東本遺跡4次調査・枝松遺跡4次調査』(松山市文化財調査報告書54)

下條 信之編 2008『妙見山一号墳』今治市教育委員会・愛媛大学考古学研究室

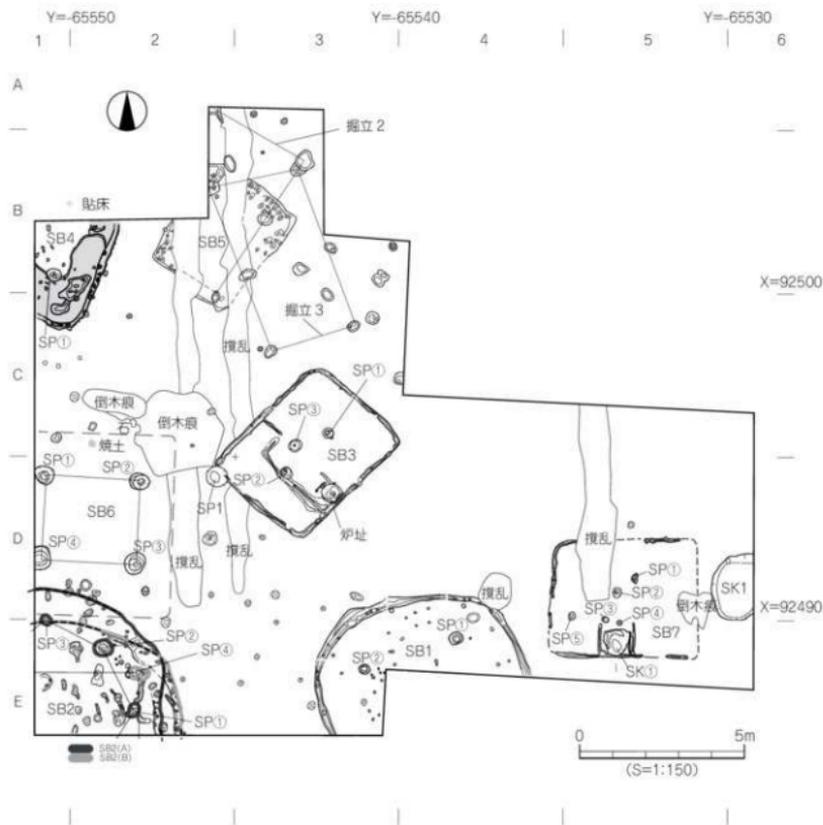


図2 遺構配置図

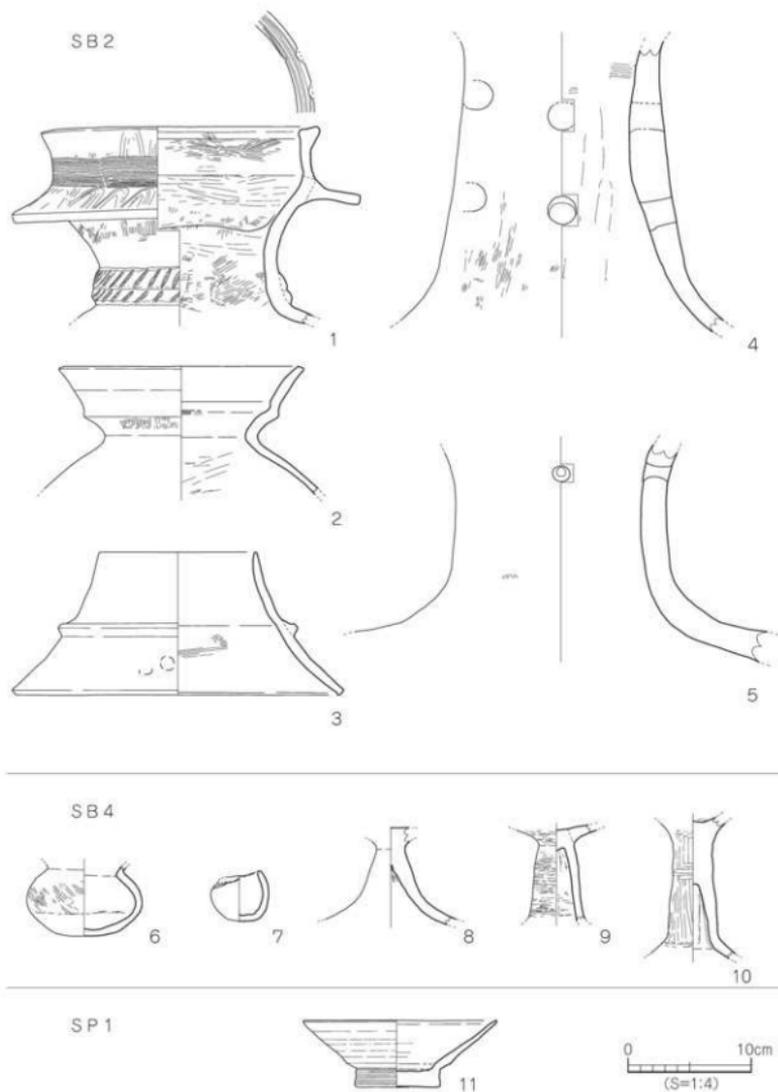


図3 出土遺物実測図



写真1 調査地近景（南東より松山城方面を望む）



写真2 SB1 周壁溝検出状況（南西より）



写真3 SB1 炭化木材出土状況（北より）



写真4 SB2 遺物出土状況（北より）



写真5 SB2 完掘状況（南西より）



写真6 SB4 遺物出土状況（東より）



写真7 完掘状況（空撮）



写真8 出土遺物（器台）

くめさいかち  
久米才歩行遺跡9次調査

所在地	松山市北久米町 541 番、542 番、546 番 1、549 番 1 の各一部（松山地区 No.126-1）
期間	令和 4 年 12 月 15 日～令和 5 年 2 月 10 日
面積	165.45m <sup>2</sup>
原因	造成及び事務所の建築
担当	山邊 進也、高尾 和長



図 1 調査地位位置図

**概要** 調査地は、来住台地の北側を流れる堀越川右岸の北 100 m に位置し、標高は 31.50 m を測る。調査地の東側域において久米才歩行遺跡 1 次調査～8 次調査がおこなわれ、弥生時代から中世にかけての集落関連遺構や遺物が数多く見つかり、遺跡密度の多い地域となっている。

**遺構・遺物** 今回の調査では、調査区は 1 区～5 区を設定した。検出遺構は、古墳時代の掘立柱建物跡 3 棟、土坑 5 基、溝 3 条、柱穴 164 基、性格不明遺構 4 基、倒木痕 8 基があり、出土遺物には、弥生土器、土師器、須恵器がある。

掘立 101 は 1 区の南東部で検出し、南側と東側は調査区外に続く。柱穴は SP112、SP107、SP110、SP111 の 4 基を検出した。検出規模は 2 間×1 間、桁行（東西）実長 3.20 m、柱間 1.47～1.66 m、梁行（南北）柱間 2.01 m を測る。平面形態は円形で、検出規模は直径 0.65～0.77 m、深さ 0.31～0.42 m を測る。埋土は、黒色土 [7.5YR 2/1] に黄橙色粒 [10YR 8/8] 1mm～3mm 大が混じる。柱痕は SP107 と SP112 の 2 基で検出し埋土は、黒色土 [7.5YR 2/1] である。遺物は弥生土器と土師器の小片が出土している。時期は、出土遺物および埋土より古墳時代後期と考えられる。

掘立 201 は 2 区の中央部で検出し、北側と南側は調査区外に続く。柱穴は SP209、SP210 の 2 基を検出した。柱間 1.74 m を測る。平面形態は円形で検出規模は SP209 が径 0.88 m、深さ 0.75 m、SP210 が径 0.84 m、深さ 0.61 m を測る。柱穴の埋土は、黒褐色土 [7.5YR 3/2] に黄橙色土 [10YR 8/8] 粒 1～3mm 大が混じる。柱痕の埋土は、黒色土 [7.5YR 2/1] に黄橙色土 [10YR 8/8] ブロックが混じる。遺物は弥生土器と土師器が出土している。時期は、出土遺物および埋土より古墳時代後期と考えられる。

掘立 301 は 3 区の中央部で検出し、北側と南側は調査区外に続く。柱穴は SP301、SP302 の 2 基を検出した。柱間 2.68 m を測る。柱穴の平面形態は円形で規模は SP301 が径 0.74 m、深さ 0.28 m、SP302 が径 0.69 m、深さ 0.35 m を測る。埋土は、黒褐色土 [7.5YR 3/2] に黄色土 [5Y 8/6] ブロックが混じる。柱痕の埋土は、黒色土 [7.5YR 2/1] である。遺物は土師器が出土している。時期は、出土遺物および埋土より古墳時代後期と考えられる。

**まとめ** 本調査地の東側地域に所在する久米才歩行遺跡 2 次調査、久米才歩行遺跡 4 次調査～6 次調査の 4 遺跡から、古墳時代の遺構として竪穴住居跡や掘立柱建物跡などの集落遺構が検出されている。

今回の調査により古墳時代の掘立柱建物跡を検出したことで、久米才歩行遺跡の古墳時代における集落の西端部の広がりか確認でき、周辺の遺跡との関連性や集落規模等を解明するための資料が得られた。

(山邊)

久米才歩行遺跡 9 次調査

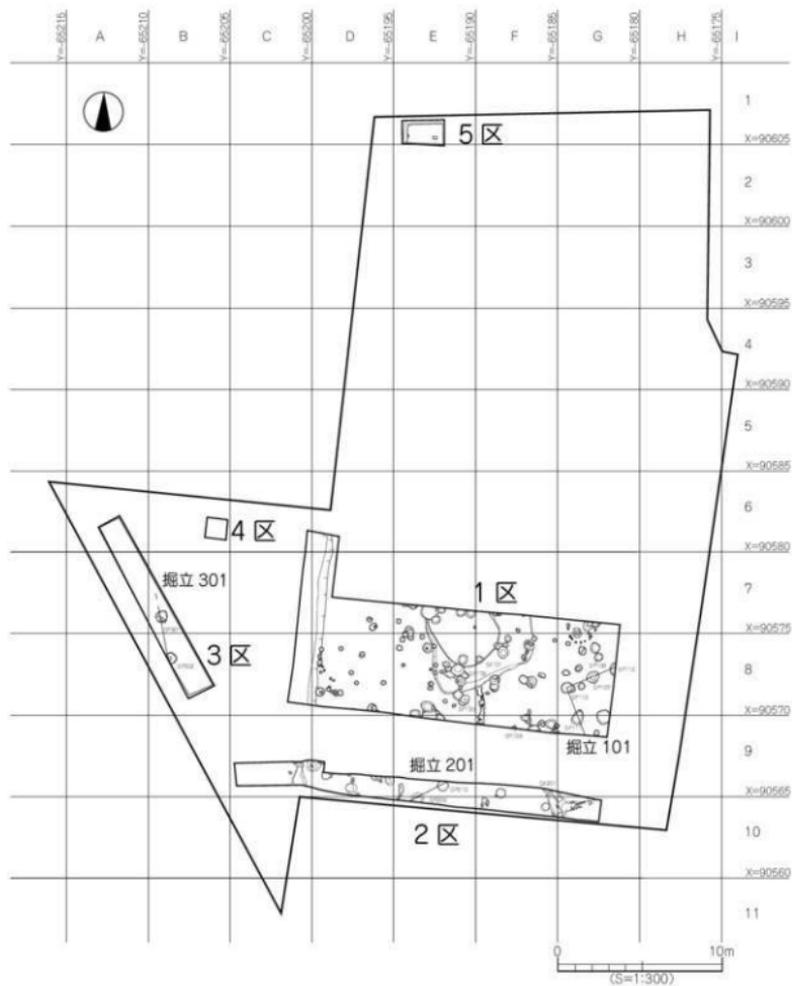


図2 遺構配置図・調査区位置図

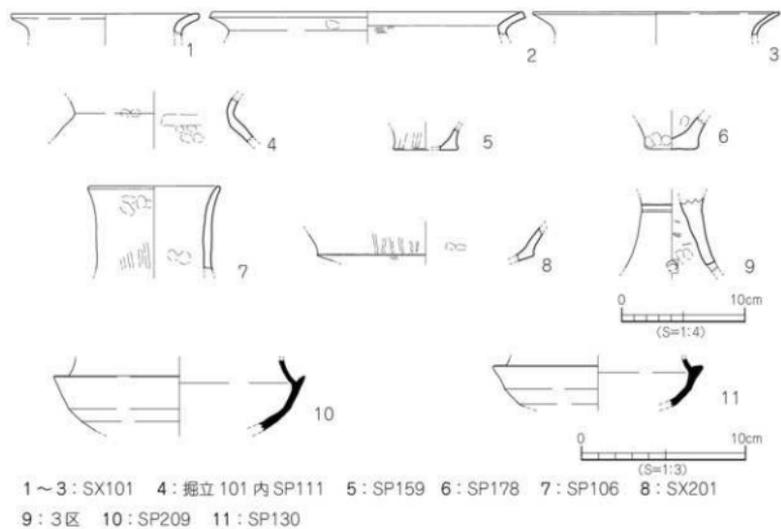


図3 出土遺物実測図



写真1 1区~3区遺構完掘状況(東より)



写真2 1区遺構完掘状況（東より）



写真3 2区遺構完掘状況（東より）

まつやまじょうさんのまるあと

## 松山城三之丸跡 26 次調査

所在地	松山市堀之内堀之内 13 番 9 (松山地区№74 史跡松山城跡)
期 間	令和 3 年 6 月 27 日～同 4 年 10 月 26 日
面 積	31m <sup>2</sup>
原 因	史跡整備に伴う確認調査(国庫補助事業)
担 当	宮脇 和人・渡部 浩史



図 1 調査地位位置図

**概 要** 国史跡松山城は、道後平野北部の独立丘陵である勝山を中心に構築された近世城郭である。松山市では「城山公園(堀之内地区)整備計画」を基に城山公園堀之内地区の整備を進めており、基礎資料の取得と遺構の保護を目的として、平成 13 年度から確認調査を実施している。

今回の調査目的は主に、北御門東袖石垣西面の築石(積石)の残存状況と、残存するならばその形状の確認を目的とした。

**遺構・遺物** 北御門東袖石垣西面の根石を二石、及び石材抜き跡を検出した。また、根石の背後に栗石の集積も検出できた(図2)。築石は後世の攪乱を被っており、検出されなかった。また、根石の天端より 15～20cm 程度下層に砂質土層が観察できた。近世の道路面と推測できよう。

根石は調査区西壁際の標高 20.25～20.30m で検出した。南北に二石が並ぶ。南側石材の検出長は、南北 85cm×東西 75cm である。天端はほぼ水平である。調査区南西隅に石材は検出されず、石材の抜き跡を確認した。これら二石は 22 次調査で検出した石垣 2 の根石の高さにほぼ一致する。

栗石は調査区全面で検出した。東が密で西が疎である。長さ約 10cm、幅約 5～6cm で、丸みを帯びた花崗岩やいわゆる河原石が多数を占める。長さ 30cm、幅 20cm を測る石材も検出した。この石材は、銅石の可能性も考えられる。明治期以降の攪乱が西へ深く及んでいるため、栗石検出面は、東から西へと傾斜する。また第 2 図のコンクリート基礎の下部にも栗石が観察できた。栗石が調査区の全面で観察されるため、東袖石垣は総栗石の構造物である可能性も考えられる。

道路面は北壁西端と西壁で観察できた。灰黄褐色砂質土であり、やや軟質である。本層の天端は、標高約 20.04～20.14m である。22 次調査で検出した築城期の道路面の標高約 20.10m とほぼ合致する。ただ両者は道路中央部と推測される地点より約 50cm 下がっている。これは根石際に排水機能を持たせたとも推測できよう。

遺物には陶磁器片、瓦片、釘、楔、その他鉄製品、土師質の土器片等がある。陶磁器は肥前系の出土が多い。18 世紀後半のものがみられる。器種は碗、化粧瓶の蓋等がある。遺物はほとんどが根石と栗石を被覆する黄褐色土よりの出土である。

**まとめ** 今後の具体的な課題として北御門周辺では東西両袖石垣の角部を検出し、石垣の規模を確定することが必要となる。(宮脇)

〔参考資料〕

〔亀城秘園〕(伊予史談会所蔵)

〔松山城内図屏風〕(愛媛県歴史民俗博物館所蔵)

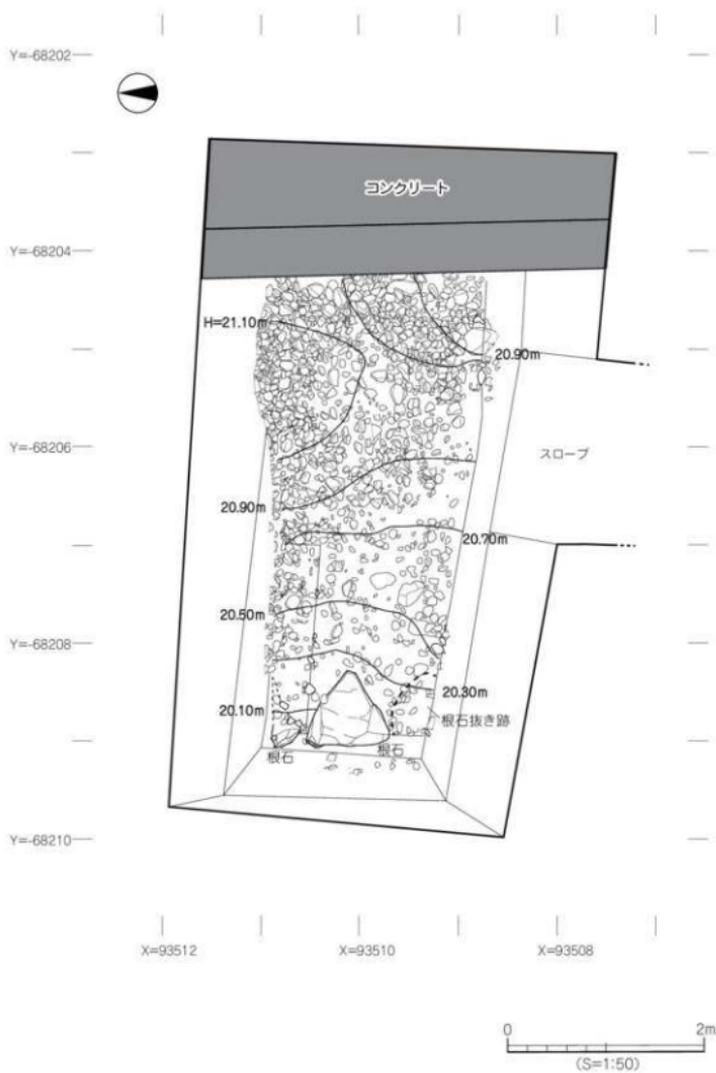


図2 遺構配置図

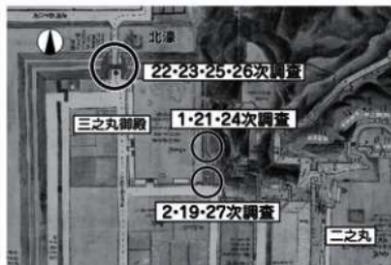


図3 「亀郭城秘図」における各調査区的位置



図4 「松山城下図屏風」における各調査区的位置

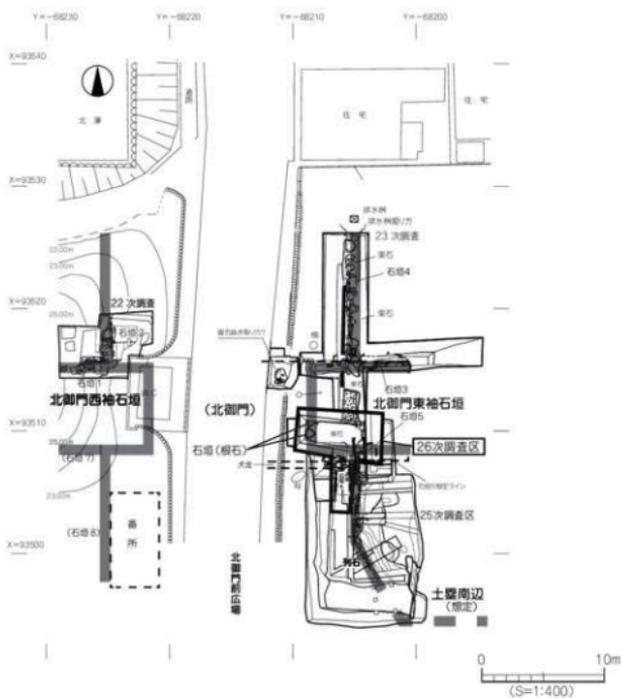


図5 北御門周辺の過去の調査と26次調査区的位置図



写真1 調査区全景 (南より)



写真2 根石 (西より)

## 松山城三之丸跡 27次調査

所在地	松山市堀之内堀之内12、無番地の各一部 (松山地区№74 史跡松山城跡)
期間	令和4年6月27日～同4年10月31日
面積	97㎡
原因	史跡整備に伴う確認調査(国庫補助事業)
担当	宮脇和人・渡部浩史



図1 調査地位位置図

**概要** 今年度の27次調査はⅠ区とⅡ区を設けた。Ⅰ区は三之丸御殿東南隅を画する石組溝の形状を確認することを目的とした。掘削の結果、東西軸の石組溝1を検出した。加えて北壁に南北軸の石組溝2の底部を検出した。とは言え、Ⅰ区での石組溝2の検出は僅少であった。そのため、石組溝2の北に新たにⅡ区を設定した。

**遺構・遺物** Ⅰ区で検出した近世の遺構は、石組溝二条、道路面、土坑一基、柱穴八基である。

**石組溝1** 過去の調査で検出した石組溝とほぼ同一の直線上に位置する。東から西への水流が予想される。本溝の特徴としては、北列と南列で使用されている石材に明瞭な差がみられる点が挙げられる。総じて北列の石材は南列よりも大きい。これは北が御殿側である点を反映している。ただ、このような北列も西側では近代における改変の痕跡がみられる。近世期の石列ラインを改変し、軸を直線となっている。また溝底部はモルタル張りであった。

**石組溝2** 調査区北壁際、弾薬庫擁壁下部で底部のみを検出した。厚さ2～3cm程度の扁平な河原石を敷き詰めている。本溝と石組溝1との連結部を検出する点が本調査の最重要項目であったが、見出せてはいない。

**道路面** 東西溝の南側で検出した。断面観察により灰白色土や褐色土等のブロックを固く叩きしめた整地層があり、その上層に暗緑灰色等の砂質土が乗る構造となっている。

**柱穴** 近世の整地面から六基、道路面内のトレンチから二基確認した。SP4～7は同規模で、埋土に大礫を含む。柱押さえの石であろう。柱穴を取り結ぶと、掘立柱建物の様相を呈する。これがどのような構造物かは現時点では不明である。

**Ⅱ区の遺構** 石組溝3 底部のみを部分的に検出した。石組溝2に連続するとみられる。近世の整地層上にある。底部は石組溝2同様に、扁平な河原石を敷き詰めている。

**遺物** Ⅰ区では肥前系の陶磁器、瀬戸焼、美濃焼、備前焼、在地の砥部焼、西岡焼等が出土した。器種には食膳具、調理具がある。絵付けは転写ではなく、手書きである。Ⅰ区は攪乱層が近世面を一部破壊しつつ及ぶため、近世の遺構中からは近世の遺物と近現代の遺物が混在する。近現代の遺物では石組溝1の溝埋土から出土した軟式ボールや、溝の裏込から出土した「菊間玉伊」の屋号がある丸瓦片が特徴的である。

**まとめ** 調査の結果、三条の石組溝を検出した。溝の連結部分は後世の改変により検出出来なかったが、位置を把握することはできた。ただ、過去に検出した溝と今回検出した南北溝は約40m離れており、連続するか否かの疑問が残る。今後は過去調査と今回の調査の中間地点に調査区を設け、南北

溝をさらに探求する必要がある。

(宮脇)

【参考資料】

【亀郭城秘図】(伊予史談会所蔵)

【松山城下図屏風】(愛媛県歴史民俗博物館所蔵)

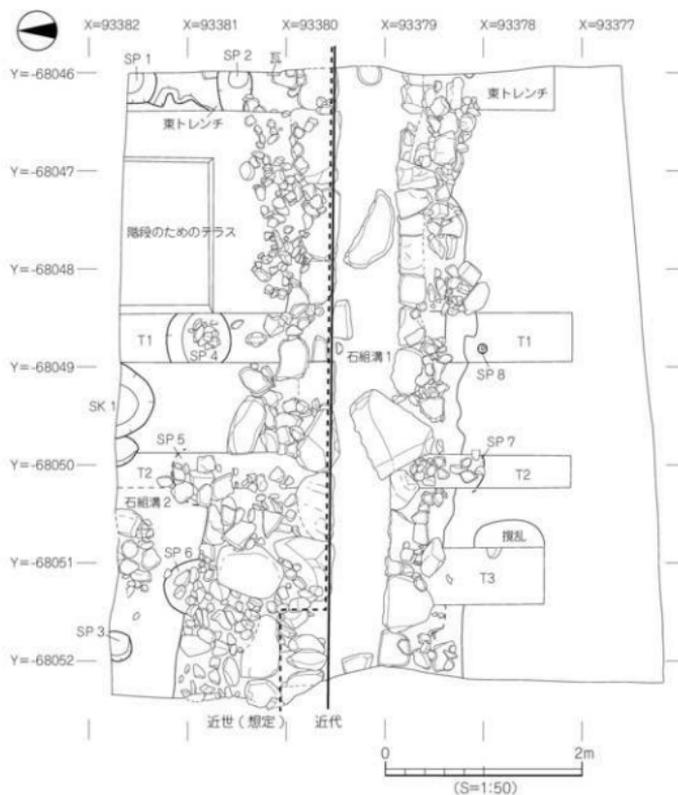


図2 I区遺構配置図





写真1 I区全景(西より)

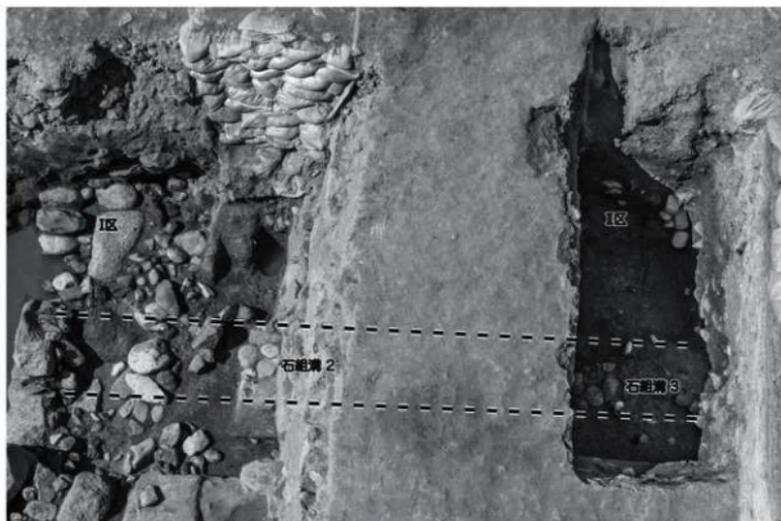


写真2 石組溝2と石組溝3(東より)

## Ⅱ 令和 4 年度

### 松山市埋蔵文化財調査関係資料

## 令和4年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料

### ●例言

1. 本編は、松山市教育委員会事務局文化財課と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが実施した埋蔵文化財確認調査及び本発掘調査資料である。
2. 埋蔵文化財確認調査は、令和4年4月1日～令和5年3月31日受付迄（申請番号1～243号）の資料を取り扱う。なお、令和3年度以前の資料については、「松山市埋蔵文化財調査年報Ⅰ～Ⅹ（昭和60～平成9年度）、同年報11～34（平成10～令和3年度）」を参照されたい。
3. 資料作成（一覧表・付録図）は、篠原綾、山邊進也が行った。
4. 表中の番号は、埋蔵文化財確認申込書の番号に準ずるものである。また、本発掘調査については、令和4年度内に発掘調査を完了した遺跡を取り扱う。
5. 付録図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図（伊予北条・三津浜・松山北部・郡中・松山南部）を使用し、10万分の1の縮尺で記載した。
6. 一覧の略記について
  - ① 標高：地表面での測定値。
  - ② 申込者：公＝地方公共団体等、民＝民間事業者。
  - ③ 調査方法：試掘、踏査及び既往・周辺の調査履歴。
  - ④ 緊急：記録保存を目的とした調査。  
国補：国庫補助事業調査。

### ●埋蔵文化財の保護について

文化財は、わが国の歴史・文化等を正しく理解するために欠くことのできないものであり、かつ将来の文化の向上、発展の基礎をなすものです。それら文化財の保存・活用による国民の文化的向上を目的として昭和25年に制定された文化財保護法には、国民の心構えとして、「政府及び地方公共団体がこの法律の目的を達成するために行う措置に誠実に協力しなければならない」こと、「文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、これを公共のために大切に保存するとともに（中略）その文化的活用にも努めなければならない」ことが記されています。また同時に政府及び地方公共団体は、関係者の所有権その他の財産権を尊重しなければならないこととなっています。

### ●周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等届出および確認調査について

周知の埋蔵文化財包蔵地とは、貝塚か、古墳その他埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地のことです。

埋蔵文化財は、建造物等の他の文化財と違って主に地下に存在するため、土木工事等による破壊を免れない場合があります。そのため、地図<sup>注</sup>に示された「周知の埋蔵文化財包蔵地」内で土木工事等を行う場合は、60日前までに愛媛県教育委員会への届出が義務付けられています。また、その届出に伴い埋蔵文化財の有無を確認するための調査（踏査、試掘等）を行いますので、土木工事等の計画がある場合は事前に松山市教育委員会文化財課へご相談ください。

注）地図（松山市埋蔵文化財包蔵地図）は、文化財課にて配布しているほか、松山市ホームページでも閲覧が可能です。

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

## ●周知の埋蔵文化財包蔵地の変更について

令和4年度は埋蔵文化財包蔵地に関する見直しは報告されませんでした。

表1 令和4年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(1)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地 番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺物 の有無	包含報 ○ 遺構名	出土遺物	備考
1	樽味四丁目	331.59	41.60	No.81	民	宅地造成	試掘	有	土塊・柱欠		
2	北久米町	0.55	約31.50	No.126-1	公	下水道	掘削の調査発掘 H30-007	(有)	○ 遺・土塊	衛生土層・埋蔵部	
3	北斎院町	157.68	7.80	No.27	民	住宅	掘削の調査発掘 H32-106	(無)			
4	中通	503.39	約16.80 ～17.60	北条No.68 北条No.40	民	宅地造成	掘削の調査発掘 H32-074	(有)	○ 埋蔵建物 土塊・柱欠	衛生土層・埋蔵部 2層部・柱欠(1階-1 階)	
5	樽味二丁目	118.00	43.20	No.81	民	住宅	試掘	無			
6	祝谷四丁目	10.20	48.20	No.55	民	ガス	掘削の調査発掘 H31-136	(有)	○	衛生土層・埋蔵	
7	久米窪田町	344.16	48.10	No.129	民	住宅	試掘	無			
8	北久米町	54.53	約33.40 ～33.90	No.126-2	民	農業関連	掘削の調査発掘 H31-157	(有)	○ 埋蔵建物 遺・埋蔵	埋蔵・埋蔵部	
9	道後鷺谷町	1,750.99	約60.60 ～65.50	No.53	民	その他建物	試掘	有	○ 埋蔵建物	衛生土層・埋蔵部 土層部	
10	姫原二丁目	23.80	19.80	No.168	公	下水道	掘削の調査発掘 H31-217	(無)			
11	北斎院町	198.22	12.80	No.31 No.156	公	上水道	掘削の調査発掘 H30-307	(無)			
12	東石井二丁目	331.44	23.00	No.215	民	宅地造成	掘削の調査発掘 H32-254	(無)	○	衛生土層	
13	道後海月町	108.00	約70.40 ～71.30	No.58	民	その他開発	掘削の調査発掘 H30-006 H32-143	(無) (無)			
14	中村二丁目	269.57	26.80	No.108	民	住宅	試掘	無	○	衛生土層	
15	米住町	216.76	40.40	No.127	民	住宅	試掘	無			
16	南久米町	181.81	47.10	No.91	民	住宅	試掘	無			
17	八反地	2.00	122.50	北条No.34	民	その他開発	掘削の調査発掘 埋蔵無し	-			
18	南江戸五丁目	189.25	29.10	No.33	民	その他開発	掘削 現金 文化財埋蔵	-			
19	樽味二丁目	1,488.20	44.50	No.81	民	その他開発	掘削の調査発掘 H31-309 H32-106	(無) (無)		衛生土層・埋蔵部	
20	南江戸四丁目	143.81	13.00	No.35	民	住宅	試掘	無			
21	道後一万	215.59	32.80	No.68	民	住宅	試掘	有	遺	衛生土層・土層部	
22	権現町	200.85	約27.00 ～27.40	No.170-3	民	住宅	試掘	無			
23	高岡町	117.80	7.90	No.26	民	住宅	掘削の調査発掘 H32-017	(無)			
24	南斎院町	133.95	約7.60	No.27	民	住宅	掘削の調査発掘 H32-207	(有)	○ 遺・柱欠	衛生土層・土層部 瓦部	
25	余戸西一丁目	202.54	5.50	No.228	民	住宅	試掘	無			
26	桑原五丁目	2052.00	36.70	No.82	民	その他建物	試掘	有	○ 埋蔵建物 柱欠	衛生土層 埋蔵部	
27	道後今市	417.61	33.30	No.219	民	住宅	試掘	有	遺	埋蔵部・土層部	
28	桑原五丁目	142.79	約36.20	No.82	民	住宅	掘削の調査発掘 H32-072	(有)	○ 埋蔵建物 遺・柱欠	衛生土層・土層部	
29	道後北代	211.15	31.00	No.219	民	住宅	試掘	無			
30	道後一万	130.50	32.20	No.68	民	住宅	試掘	有	○ 遺	埋蔵部・土層部	
31	石風呂町	36.23	約39.00 ～41.50	No.11	公	宅地造成	踏査	(-)			
32	祝谷四丁目	3.78	48.20	No.55	公	下水道	掘削の調査発掘 H31-136	(有)	○	衛生土層・埋蔵	
33	道後一万	265.33	33.20	No.68	民	住宅	試掘	無			
34	南斎院町	134.25	約7.60	No.27	民	住宅	掘削の調査発掘 H32-207	(有)	○ 遺・瓦跡	土層部	
35	北斎院町	994.58	約8.00 ～8.20	No.29	民	住宅	試掘	無	○	埋蔵部・土層部	
36	東垣生町	515.85	3.20	包蔵地外	公	道路	試掘	無			
37	南久米町	132.68	36.90	No.127	民	住宅	試掘	有	遺	衛生土層・埋蔵部	
38	久万ノ台	167.60	約19.50 ～23.50	No.167	民	住宅	掘削の調査発掘 H31-307	(有)	柱欠		

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

## 令和4年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(2)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地 番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡 有・無	包含層 通 名	出土遺物	備考
39	南久米町	322.38	48.50	No.91	民	住宅	試掘	無			
40	福音寺町	990.83	23.80 ~ 24.20	No.114	民	その他建物	既計の調査履歴 H19-141	(無)		弥生器・土器等	
41	安城寺町	134.1	7.80	No.154	公	学校	既計の調査履歴 H19-203 H23-131	(無) (無)			
42	山越一丁目	290.08	17.60	No.160	民	宅地造成	試掘	無			
43	下伊台町	234.20	148.00	No.169	公	学校	試掘	有	遺・柱穴	時期不明土器	
44	桑原四丁目	198.72	38.30	No.85	民	住宅	試掘	無			
45	南斎院町	133.95	約 36.20	No.27	民	住宅	既計の調査履歴 H12-247	(有)	遺・土器	土器等	
46	南斎院町	134.24	約 36.20	No.27	民	住宅	既計の調査履歴 H12-247	(有)	遺・土器	土器等	
47	山越一丁目	165.79	18.50 ~ 18.70	No.160	民	住宅	既計の調査履歴 H12-243	(有)	遺・柱穴	弥生土器	
48	桑原一丁目	422.52	37.10	No.82	民	宅地造成	試掘	有	壁・瓦葺物、溝		
49	松枝五丁目	2045.00	27.10	No.110	公	道路	既計の調査履歴 H22-006	(無)			
50	道後今市	165.41	32.60	No.68	民	住宅	試掘	無			
51	南江戸五丁目	123.49	22.60	No.33	民	住宅	既計の調査履歴 H12-192	(有)	遺・柱穴	弥生器・土器等	
52	南江戸五丁目	176.06	22.60	No.33	民	住宅	既計の調査履歴 H12-192	(有)	遺・柱穴	弥生器・土器等	
53	清水町二丁目	235.26	24.00	No.67	民	住宅	既計の調査履歴 H12-120	(無)	○	弥生土器	
54	持田町四丁目	241.46	35.50	No.72	民	住宅	既計の調査履歴 H12-084	(無)	○	弥生土器	
55	南斎院町	134.26	7.60	No.27	民	住宅	既計の調査履歴 H12-247	(有)	遺・土器	弥生土器・土器等 瓦葺	
56	桑原一丁目	151.65	35.10	No.82	民	住宅	既計の調査履歴 H12-154	(有)	遺・土器	弥生土器・瓦石	
57	祝谷五丁目	44.51	44.40	No.56	民	その他開発	既計の調査履歴 H12-008	(有)	溝	弥生土器・弥生器 土器等	
58	山越一丁目	155.46	18.50 ~ 18.70	No.160	民	住宅	既計の調査履歴 H12-243	(有)			
59	朝日ヶ丘二丁目	47.26	13.80	No.34	公	水道	既計の調査履歴 H12-239 H12-156	(無) (無)			
60	南江戸三丁目	335.92	13.20 ~ 13.80	No.35	民	その他建物	試掘	無			
61	桑原五丁目	866.65	41.50	No.82	民	その他開発	試掘	有	遺・土器 壁・瓦葺物	土器等	
62	平井町	2052.11	55.40	No.152	民	その他建物	既計の調査履歴 H12-158	(有)	遺・瓦葺物、溝		
63	朝生田町三丁目	2630.00	18.30 ~ 18.60	No.109	民	宅地造成	試掘	無			
64	桑原一丁目	149.68	35.80	No.82	民	住宅	試掘	無	○	弥生土器	
65	山越一丁目	147.02	18.50 ~ 18.70	No.160	民	住宅	既計の調査履歴 H12-243	(有)	遺・柱穴	弥生土器	
66	谷町	496.48	17.80	No.41	民	宅地造成	既計の調査履歴 H12-204	(有)	○	弥生土器・弥生器	
67	南江戸六丁目	1210.20	12.20	No.35	民	宅地造成	既計の調査履歴 H22-196 H12-013	(無) (無)			
68	善応寺	348.17	63.00	北条No.67	民	住宅	試掘	無			
69	平井町	143.38	58.30	No.152	民	その他建物	試掘	無			
70	山越一丁目	148.82	18.50 ~ 18.70	No.160	民	住宅	既計の調査履歴 H12-243	(有)	遺・柱穴	弥生土器	
71	忠原町	1266.00	55.00	No.138	民	その他建物	試掘	無			
72	星岡一丁目	125.02	24.60	No.116	民	その他建物	試掘	無			
73	道後今市	202.22	33.30	No.68	民	住宅	試掘	有	溝		
74	南江戸二丁目	3.12	13.60	No.37	公	水道	既計の調査履歴 H12-243	(有)			
75	平井町	4997.39	54.25 ~ 56.20	No.152	民	宅地造成	試掘	有	土坑・柱穴	時期不明土器等	
76	宮内	624.61	32.00	北条No.11	民	住宅	試掘	無			
77	北斎院町	152.00	9.30 ~ 10.60	No.156	公	水道	既計の調査履歴 H12-175 H12-158 H12-138	(無) (無) (有)	柱穴	弥生土器・土器等	
78	來住町	125.73	40.20	No.127	民	住宅	試掘	無			
79	畑寺三丁目	279.22	43.60	No.87	民	住宅	試掘	無			

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

## 令和4年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(3)

No.	所在地	面積 (㎡)	埋高 (m)	包蔵地 番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺物 の有無	包含層○ 遺構名	出土遺物	備考
80	谷町	1162.00	17.20 ~ 17.80	No.41	民	宅地造成	試掘	無	○	時期不明土器	
81	道後一万	189.47	31.60	No.68	民	住宅	試掘	無			
82	西石井一丁目	313.77	20.70	No.119	民	住宅	試掘	無			
83	岩崎町二丁目	255.95	37.50	No.224	民	住宅	試掘	無	○	陶土器	
84	山越一丁目	99.33	18.80	No.160	民	住宅	試掘	無			
85	南江戸四丁目	137.25	11.70	No.35	民	住宅	調査の調査発掘	803-111	(有)	溝・柱穴 板瓦	陶土土器・須恵器 土器部
86	谷町	496.46	17.80	No.41	民	住宅	調査の調査発掘	803-208	(有)	○	陶土土器・須恵器
87	鷹子町	9.90	約43.20	No.128	公	水道	調査の調査発掘	803-100	(有)	溝	須恵器
88	東方町	0.49	57.10	No.143	民	電気	調査の調査発掘	803-218	(有)	壁土建物	陶土土器・土器部
89	祝谷東町	231.28	98.50	No.58	民	住宅	試掘		無		
90	中通	502.00	約16.80 ~ 17.60	北東No.40 北東No.68	民	住宅	調査の調査発掘	802-074	(有)	○ 壁土建物 土坑・柱穴	陶土土器・須恵器 土器部・石瓦
91	久万ノ台	285.08	17.40	No.167	民	住宅	試掘		無		
92	南江戸五丁目	約0.16	18.80	No.33	民	その他開発	踏査		(-)		
93	文京町	約79.00	30.30	No.67	公	学校	調査の調査発掘	803-074 東松山町埋蔵文化財調査報告書 第3巻 333頁	(有)		
94	文京町	約891.40	29.20	No.67	公	学校	調査の調査発掘	東松山町埋蔵文化財調査報告書 第3巻 333頁	(有)		
95	山越一丁目	287.00	18.00	No.160	民	住宅	試掘		無		
96	桑原一丁目	291.10	36.40	No.82	民	住宅	試掘		無		
97	北斎院町	216.15	7.60	No.27	民	住宅	試掘		無		
98	持田町一丁目	約1325.00	34.70	No.209	公	学校	調査の調査発掘	東松山町埋蔵文化財調査報告書 第3巻 333頁	(有)		
99	居相一丁目	422.92	21.00	No.119	民	住宅	試掘		無		
100	山越一丁目	151.53	18.50 ~ 18.70	No.160	民	住宅	調査の調査発掘	803-203	(有)	溝・柱穴	陶土土器
101	中村一丁目	208.76	28.60 ~ 29.50	No.108	公	水道	調査の調査発掘	803-074 803-143 803-149 803-421	(有) (有) (有) (有)	土坑・柱穴	陶土土器・須恵器
102	米住町	276.00	38.90	No.127	民	宅地造成	試掘		有	溝・柱穴	
103	北斎院町	604.52	8.60	No.29	民	その他建物	試掘		無		
104	祝谷五丁目	251.65	43.80	No.56	民	住宅	試掘		無		
105	北久米町	489.15	31.60	No.126-1	民	宅地造成	調査の調査発掘	803-206	(有)	○ 柱穴	陶土土器・須恵器 土器部
106	一番町三丁目	0.25	32.90	No.74	民	電気	調査の調査発掘	803-222	-		
107	藤原一丁目	28.10	44.00 ~ 53.00	No.45	公	その他開発	調査の調査発掘	803-113	(無)		
108	高岡町	748.54	6.00 ~ 6.30	No.25 No.26	民	住宅	試掘		無		
109	北久米町	7.83	31.6	No.126-1	公	水道	調査の調査発掘	803-206	(有)	○ 柱穴	須恵器・須恵器
110	鷹子町	284.24	約44.00	No.128	民	宅地造成	調査の調査発掘	803-104	(有)	○ 壁土建物 柱穴・溝	陶土土器
111	山越一丁目	151.28	41.20	No.160	民	住宅	調査の調査発掘	803-203	(有)	柱穴	陶土土器
112	米住町	487.00	40.80 ~ 41.20	No.127	民	宅地造成	試掘		無		
113	道後緑台	235.91	41.50	No.57	民	住宅	調査の調査発掘	803-062	(無)	○	陶土土器・須恵器 土器部・石瓦
114	八反地	559.58	26.60	北東No.11	民	住宅	試掘		無		
115	樽味四丁目	165.64	38.70	No.81	民	住宅	試掘		無		
116	御幸一丁目	269.28	52.20	No.46	民	住宅	試掘		無		
117	祝谷二丁目	215.10	42.40	No.56	民	住宅	試掘		無		
118	平井町	329.15	56.80 ~ 57.10	No.152	民	住宅	試掘		有	柱穴	時期不明土器
119	平井町	0.49	86.80	No.90	民	電気	調査の調査発掘	803-022	(無)		

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

## 令和4年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(4)

No.	所在地	面積 (㎡)	高さ (m)	包蔵地 番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡 の有 無	包含層 の 通 称 名	出土遺物	備考
120	星岡一丁目	0.49	25.60	No.116	民	電気	現地の調査発掘 H27-219	(無)	○	粘土土器	
121	北久米町	8.88	33.40 ~ 33.90	No.125-2	公	水道	現地の調査発掘 H18-117	(有)	暫定遺物 層、遺	埴輪、埴器	
122	山越一丁目	106.66	17.60	No.160	民	住宅	試掘	無			
123	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	申請取下
124	南土居町	1695.00	37.40	No.132	民	宅地造成	試掘	有	柱穴		
125	南土居町	387.00	37.40	No.132	民	宅地造成	試掘	無			
126	新浜町	34.50	3.00 ~ 3.30	No.11	公	水道	現地の調査発掘 H27-203 H27-086	(無)			
127	桑原五丁目	2.20	36.70	No.82	公	水道	現地の調査発掘 H19-025	(有)	暫定遺物 層、柱穴	粘土土器、埴器 土師器、土師器	
128	中村二丁目	176.14	28.20	No.108	民	その他建物	現地の調査発掘 H19-257	(無)			
129	燗寺三丁目	13.10	43.60	No.87	公	道路	現地の調査発掘 H19-079	(無)			
130	余戸東四丁目	660.36	8.40	包蔵地外	公	その他建物	試掘	無			
131	福音寺町	148.78	30.90	No.116	民	住宅	試掘	有	土瓦		
132	平田町	52.00	21.10 ~ 31.30	No.40	公	道路	踏査	-			
133	北斎院町	604.52	8.60	No.29	民	その他建物	現地の調査発掘 H19-103	(無)			
134	鷹子町	155.94	約43.20	No.128	民	住宅	現地の調査発掘 H19-100	(有)	溝	埴器	
135	北斎院町	1.84	7.50	No.29	公	水道	現地の調査発掘 H19-130	(無)			
136	北久米町	1977.74	約31.20 ~ 31.40	No.126-1	民	宅地造成	現地の調査発掘 H2-102 H2-138	(有) (有)	暫定遺物 層、柱穴	粘土土器、土師器	
137	東石井五丁目	198.66	約21.10	No.119	民	住宅	現地の調査発掘 H23-253	(有)	土瓦、柱穴	粘土土器、土師器	
138	姫原一丁目	155.80	21.50 ~ 22.20	No.168	民	住宅	試掘	無	○	埴器、土師器	
139	岩崎町二丁目	688.91	38.60 ~ 39.00	No.224	民	その他建物	試掘	有	溝、土瓦 柱穴	埴器、土師器	
140	朝美一丁目	514.01	17.80 ~ 18.10	No.34	民	その他建物	試掘	有	土瓦、柱穴 埴器、埴器	埴器、土師器	
141	善応寺	476.82	約46.40 ~ 47.60	北条No.67	民	宅地造成	現地の調査発掘 H19-194	(有)	溝、土瓦 柱穴	土師器、埴器	
142	道後今市	165.41	32.60	No.68	民	住宅	現地の調査発掘 H19-050	(無)			
143	南久米町	3152.00	50.20 ~ 58.60	No.91	公	公園造成	現地の調査発掘 包蔵地外H19-002	-			
144	清水町三丁目	1187.63	25.30	No.67	民	その他建物	試掘	有	暫定遺物 層、土瓦、柱穴	埴器、土師器	
145	久万ノ台	434.24	19.70 ~ 20.20	No.167	民	住宅	現地の調査発掘 H19-153	(無)			
146	下難波	1556.00	10.00 ~ 16.80	北条No.16	民	その他開発	試掘	無			
147	来住町	0.79	38.90	No.127	民	電気	現地の調査発掘 H19-102	(有)	溝、柱穴		
148	下難波	973.00	8.80	北条No.16	民	その他開発	試掘	無			
149	星岡町	1634.00	約28.70	No.116	民	宅地造成	現地の調査発掘 H23-294	(有)	暫定遺物 層、柱穴	粘土土器、埴器 土師器	
150	安城寺町	171.97	8.80	No.154	民	住宅	試掘	無			
151	鷹子町	0.49	約43.20	No.128	民	電気	現地の調査発掘 H19-100	(有)	溝	埴器	
152	祝谷五丁目	182.74	49.80	No.56	民	住宅	試掘	有	溝、柱穴		
153	山西町	75.50	12.50	No.21	公	水道	現地の調査発掘 H18-089 H19-210	(無) (無)		土師器	
154	清水町二丁目	195.20	23.40	No.67	民	その他開発	試掘	無			
155	桑原一丁目	149.68	35.80	No.82	民	住宅	現地の調査発掘 H19-064	(無)	○	粘土土器	
156	姫原二丁目	164.47	20.50	No.168	民	住宅	試掘	無			
157	朝生田町三丁目	2722.00	18.20 ~ 18.70	No.109	民	宅地造成	試掘	無			
158	祝谷二丁目	215.53	35.20	No.57	民	住宅	試掘	無	○	粘土土器、土師器	
159	姫原二丁目 山越三丁目	154.95	19.60	No.168	公	水道	現地の調査発掘 H27-249 H27-232 H23-005	(無) (無) (無)		粘土土器	
160	東方町	311.30	92.40	No.165	民	住宅	試掘	無			

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

## 令和4年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(5)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地 番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺有 無	包含層○ 遺構名	出土遺物	備考
161	文京町	約466.84	29.10	No.67	公	学校	文化財課対応	-			
162	道後今市	221.10	32.70	No.219	民	住宅	試掘	有	遺	弥生土器	
163	桑原一丁目	291.10	36.40	No.82	民	住宅	発注の調査実施	854-096	(無)		
164	南久米町	140.95	31.50	No.126-1	民	住宅	試掘	有	○土坑	弥生土器	
165	山越一丁目	106.65	17.60	No.160	民	住宅	発注の調査実施	854-122	(無)		
166	星岡一丁目	0.49	30.70	No.116	民	電気	発注の調査実施	832-303	(無)		
167	清水町三丁目	207.49	25.40	No.67	民	住宅	試掘	無			
168	北梅本町	0.98	75.80 76.90	No.107	民	電気	発注の調査実施	886-079 810-073	(無)		
169	久万ノ台	297.08	16.60	No.167	民	住宅	試掘	無			
170	朝日ヶ丘二丁目	156.95	19.00 20.70	No.34	民	住宅	発注の調査実施	832-189	(有)	○遺構、柱穴	縄文器、土器器 瓦、焼成瓦
171	畑寺二丁目	0.49	46.70	No.87	民	電気	発注の調査実施	833-262	(無)		
172	久米窪田町	736.00	52.10 52.50	No.129	民	その他建物	試掘	有		遺・柱穴	
173	谷町	211.63	14.40	No.41	民	住宅	試掘	無			
174	下藤波	162.40	15.80	北東No.40	民	その他建物	試掘	無			
175	本町三丁目	250.35	21.20	No.212	民	住宅	試掘	無			
176	北久米町 南久米町	223.90	38.20 39.60	No.127	公	水道	発注の調査実施	832-436 831-128 832-022 853-199	(有) (無) (有) (有)	○土坑遺物 遺・土坑 柱穴	弥生土器、縄文器 土器器
177	北久米町	893.46	約33.40 33.90	No.126-2	民	宅地造成	発注の調査実施	832-200 833-132	(有)	○土坑遺物 遺構・遺	縄文器、弥生 土器器
178	南久米町	257.76	39.40	No.127	民	住宅	試掘	有		遺・柱穴	
179	谷町	378.60	19.50	No.41	民	住宅	試掘	無			
180	東住町	4.04	38.90	No.127	公	水道	発注の調査実施	854-102	(有)	遺・柱穴	
181	郷原一丁目	114.55	25.00	No.168	民	住宅	発注の調査実施	839-217	(有)	○遺	土器器
182	清水町三丁目	240.00	24.50	No.67	公	学校	発注の調査実施	832-094	(無)		
183	朝美二丁目	143.84	15.40	No.34	民	住宅	試掘	無			
184	森松町	98.50	32.70	No.134	公	道路	発注の調査実施	833-123	(無)		
185	岩崎町一丁目	264.33	23.40	No.153	民	住宅	発注の調査実施	830-021	(無)	○	弥生・中世
186	東石井六丁目	523.04	23.20	No.119	民	住宅	試掘	無			
187	東住町	5.54	39.20	No.127	公	水道	発注の調査実施	836-228	(無)		
188	東住町 南久米町	18.40	40.50 41.70	No.127	公	水道	発注の調査実施	836-115	(無)		
189	松永二丁目	2904.06	29.60	No.202	民	その他建物	試掘	無			
190	道後町二丁目	682.68	36.00	No.68	民	住宅	試掘	有	遺	弥生土器、縄文器 土器器	
191	麩子町	1220.25	48.30 48.65	No.128	民	宅地造成	試掘	有	○	弥生土器	時期不明土器
192	北斎院町	187.5	10.10 18.80	No.26	公	水道	踏査	-			
193	桑原二丁目	2214.44	39.10	No.157	民	宅地造成	試掘	有	遺・柱穴	弥生土器、土器器 縄文器(土器器) ヤマトイ	
194	谷町	1331.30	17.20 17.80	No.41	民	宅地造成	発注の調査実施	854-090	○	土器器、瓦器 縄文器、弥生土器	
195	枝松三丁目	809.92	32.50	No.82	民	宅地造成	試掘	有	○土坑、柱穴	時期不明土器	
196	枝松三丁目	265.45	32.60	No.82	民	その他建物	試掘	無			
197	平和通四丁目	2249.58	25.10	No.74	民	住宅	試掘	無			
198	南江戸二丁目	228.55	14.60	No.37	民	住宅	試掘	無			
199	南梅本町	426.00	74.10	No.107	民	その他開発	発注の調査実施	839-223	(無)		
200	桑原五丁目	122.67	34.60	No.82	民	住宅	試掘	無			
201	福角町	32,727.00	20.20 70.20	包蔵地外	公	区画整理	試掘	無			

## 松山市埋蔵文化財調査関係資料

## 令和4年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(6)

No.	所在地	面積 (㎡)	高さ (m)	包蔵地 番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡 の有・無	包含層 の通称	出土遺物	備考
202	南江戸四丁目	064	11.40	No.35	民	その他建物	視察の調査実施	008-106	(無)		
203	南斎院町	約134.27	約7.60	No.27	民	住宅	視察の調査実施	000-207	(有)	○ 溝・井戸 埋込遺物 有欠	衛生土器・土師器 瓦器
204	久米窪田町	496.86	52.30	No.129	民	その他開発	試掘		有		衛生土器・土師器 土師器
205	小坂三丁目	431.09	27.80	No.110	民	その他建物	試掘		無		
206	道後北代	1049.65	32.40 ~ 32.60	No.219	民	その他建物	試掘		有	○ 土坑・柱穴	衛生土器・衛生土器 埋込遺物・土師器 埋込不明土器
207	久万ノ台	113.99	20.70	No.167	民	住宅	試掘		無		
208	久万ノ台	1275.00	15.20 ~ 15.80	No.167	民	宅地造成	試掘		有	埋込遺物・溝 土坑・柱穴	衛生土器・土師器
209	高岡町	175.10	8.60 ~ 9.00	No.27	公	その他開発	調査	文化財課中心	-		
210	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	申請取下
211	南江戸五丁目	1907.59	28.20 ~ 40.40	No.33	民	その他開発	調査	文化財課中心	-		
212	八反地	10.40	38.00 ~ 41.60	北条No.34	公	農業関連	調査	文化財課中心	-		
213	徳原一丁目	155.80	21.50 ~ 22.20	No.168	民	住宅	視察の調査実施	004-138	(無)	○	埋込遺物・土師器
214	樺味三丁目	約5.10	43.00	No.81	公	学校	意見書対応		-		
215	南斎院町	110.89	18.50	No.31	公	その他開発	調査	文化財課中心	-		
216	桑原四丁目	177.66	39.70	No.85	民	住宅	試掘		無		
217	桑原一丁目	155.51	37.10	No.82	民	住宅	視察の調査実施	004-048	(有)	埋込遺物・溝	
218	北久米町	160.24	約31.60	No.126-1	民	住宅	視察の調査実施	028-258	(有)	○ 埋込遺物	衛生土器・埋込遺物 土師器
219	北久米町	1.51	34.00	No.126-1	民	電気	視察の調査実施	023-275	(無)		
220	朝生田町三丁目	2722.00	18.20 ~ 18.70	No.109	民	宅地造成	視察の調査実施	006-157	(無)		
221	南江戸四丁目	403.05	13.50	No.35	民	住宅	試掘		無		
222	清水町三丁目	207.49	25.40	No.67	民	住宅	視察の調査実施	004-047	(無)		
223	朝生田町三丁目	178.78	18.30	No.109	民	宅地造成	試掘		無		
224	高岡町	748.54	6.00 ~ 6.30	No.25 No.26	民	宅地造成	視察の調査実施	004-046	(無)		
225	枝松三丁目	1027.72	32.50 ~ 32.85	No.82	民	宅地造成	試掘		有	埋込遺物 土坑・柱穴	衛生土器・土師器 埋込不明土器
226	谷町	207.00	29.50	No.41	公	道路	試掘		有	○	衛生土器・埋込遺物 土師器
227	来住町	334.16	40.30	No.127	民	住宅	試掘		有	土坑・柱穴	埋込不明土器
228	山田町	163.27	64.60	No.49	民	住宅	視察の調査実施	003-220	(無)		
229	小坂三丁目	555.50	23.70	No.110	民	住宅	視察の調査実施	003-209	(有)	○ 埋込遺物 土坑・柱穴	埋込遺物・土師器 埋込遺物・土師器
230	東野五丁目	259.26	62.00 ~ 64.80	No.79	民	住宅	視察の調査実施	028-207	(有)	○	衛生土器・埋込遺物 埋込遺物・土師器
231	善心寺	234.18	46.40 ~ 47.60	北条No.67	民	住宅	視察の調査実施	003-194	(有)	溝・土坑 柱穴	土師器・瓦器 埋込遺物
232	善心寺	197.71	46.40 ~ 47.60	北条No.67	民	住宅	視察の調査実施	003-194	(有)	溝・土坑 柱穴	土師器・土師器 埋込遺物
233	枝松三丁目	200.71	32.70	No.83	民	住宅	視察の調査実施	000-227	(有)	溝・土坑 柱穴	
234	南江戸四丁目	94.56	12.70	No.35	民	住宅	試掘		無	○	埋込不明土器
235	桑原一丁目	264.48	37.10	No.82	民	住宅	視察の調査実施	004-048	(有)	埋込遺物・溝	
236	北井門二丁目	6.90	24.50	No.222	民	その他開発	視察の調査実施	北井門跡跡	(有)	埋込遺物・溝 土坑・柱穴	衛生土器・埋込遺物 土師器・瓦器
237	桑原四丁目	402.31	41.20	No.85	民	住宅	試掘		無		埋込遺物
238	北久米町	3.61	31.20	No.126-1	公	水道	視察の調査実施	025-140	(有)	埋込遺物・溝 土坑・柱穴	衛生土器・土師器
239	朝美二丁目	361.23	15.00	No.34	民	住宅	試掘		無	○	埋込遺物
240	別府町	267.08	5.70	No.24	民	住宅	試掘		無		埋込不明土器
241	北井門四丁目	397.57	23.60	No.222	民	住宅	試掘		無		埋込不明土器
242	樺味四丁目	165.80	41.60	No.81	民	住宅	視察の調査実施	004-001	(有)	土坑・柱穴	
243	久万ノ台	107.28	20.70	No.167	民	住宅	視察の調査実施	004-307	(無)		

表2 令和4年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧

遺跡番号	遺跡名	所在地	時代	主な遺構・遺物等	本格対象面積(m <sup>2</sup> )	発掘調査期間	調査目的
673	松山城三之丸跡26次調査	松山市堀之内13番9及び無番地(史跡内)	江戸 明治	石組溝、溝、土坑 陶器、磁器、瓦、鉄器(釘)、木器	31.45	R 4.6.27～R 4.10.26	因循
674	松山城三之丸跡27次調査	松山市堀之内13番9及び無番地(史跡内)	江戸 明治	土器、石州、石垣、遺跡 陶器、磁器、瓦、彈丸、弥生土器	97.11	R 4.6.27～R 4.10.26	因循
675	桑原遺跡8次調査	松山市桑原五丁目680番の一部	弥生 古墳	竪穴建物、根立柱建物、土坑 弥生土器、土師器、須恵器、石器、灰化木材	286.27	R 4.10.17～R 4.12.16	緊急
676	久米才兼行遺跡9次調査	松山市北久米町541番・542番・546番上・549番1の各一部	古墳	溝、根立柱建物、土坑、柱穴、性格不明遺構 弥生土器、土師器、須恵器、石器、石製品	165.45	R 4.12.15～R 5.2.10	緊急
677	岩崎遺跡3次調査	松山市岩崎町二丁目644番2の一部	縄文～中世	溝、自然流路、土坑、柱穴 縄文土器、土師器、須恵器、陶磁器、石器、木製品、種子	143.00	R 5.3.1～R 5.4.28	緊急
678	清水町遺跡4次調査	松山市清水町三丁目36番の一部	縄文～中世	竪穴建物、溝、土坑、自然流路 縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、須恵器、灰化陶器、石器、鉄器	570.00	R 5.3.20～R 5.6.20	緊急



図1 令和4年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図

Ⅲ 令和4年度  
出土物整理・保存処理事業

# 令和4年度 出土物整理・保存処理事業

## 1. 出土物整理

当センターでは、近年実施された発掘調査の整理作業と並行して、過去の調査に関する資料の再整理を行っている。

報告書作成に向けて作業を進めている発掘調査の出土品については、必要に応じて注記・接合・復元作業を拡充した上で、実測作業と写真撮影を行っている。報告書が刊行された遺跡の出土品については、掲載順に配列したうえで当センター収蔵庫と別棟の松山市文化財情報館のいずれかに収納するほか、胴部の小片等については市内北吉田町の収蔵庫にて保管している。また、重要遺物については、温湿度管理がなされ、自動消火システムが設置されているセンターの特別収蔵庫にて厳重に保管している。いずれの収蔵場所においても収蔵台帳を作成し、資料調査の依頼等に迅速に対応できる体制をとっている。なお、遺構・遺物の実測図・作業日誌・写真のネガ・ポジフィルム等は、センターの所定の場所に保管しつつ、必要に応じて再整理を実施することによって、適切な管理を実施している。

### (1) 遺物洗浄・注記・接合・復元作業

石膏による土器の復元作業は、報告書掲載写真の撮影と展示目的に加え、遺物の補強のために行う場合もある。近年は、過去に復元済みの遺物について、経年劣化による破損個所の修復を行うこともある。

表1 遺物接合・復元作業一覧

(1)

遺跡No.	遺跡	点数	天箱数	調査年度	刊行物	備考
68	文京遺跡3次調査	6		昭和56年	松山市文化財調査報告書第28集	
94	松山城二之丸跡2次調査		1	昭和60年	松山市埋蔵文化財調査年報1	国庫補助
369	久米高畑遺跡26次調査	1		平成8年	松山市文化財調査報告書第127集	
548	西石井遺跡5次調査		12	平成22年	松山市埋蔵文化財調査年報23	
565	桑原遺跡6次調査	1		平成25年	松山市文化財調査報告書第181集	
586	祝谷畑中遺跡3次調査	1		平成26年	松山市埋蔵文化財調査年報27	
589	持田本村遺跡	6		平成27年	松山市埋蔵文化財報告書第210集	
633	久万山本遺跡	2		平成29年	松山市埋蔵文化財報告書第209集	国庫補助
636	道後今市遺跡17次調査	1		平成29年	松山市埋蔵文化財調査年報30	
642	祝谷大地ヶ田遺跡8次調査	15		平成29年	松山市埋蔵文化財調査年報30	
643	鶴塚古墳	15		平成30年	松山市埋蔵文化財調査年報30	
657 658 666 667	下藤波腰折遺跡1次・2次調査	23	38	令和2年	松山市文化財調査報告書第208集	
675	桑原遺跡8次調査		3	令和4年	松山市埋蔵文化財調査年報35	

出土物整理

遺物接合・復元作業一覧

(2)

遺跡 No	遺 跡	点数	天箱数	調査年度	刊 行 物	備 考
669	祝谷アイリ遺跡 2次調査	6	3	令和3年	松山市埋蔵文化財調査年報 34	
670	清水町遺跡 3次調査	5		令和3年	松山市埋蔵文化財調査年報 34	
674	松山城三之丸跡 27次調査	1		令和4年	松山市埋蔵文化財調査年報 35	国庫補助
*	南久米立会	2		令和4年	松山市埋蔵文化財調査年報 35	
*	河野小学校	8		(預かり)		
*	難波小学校		12	(寄贈)		

(2) 遺物実測・整理・収蔵・図面整理事業

出土品は報告書刊行計画にしたがって分類し、必要なものについて実測図の作成やトレース作業を行っている。近年はデジタルトレースに完全に移行している。遺構測量図等についても同様である。

以下、作業を実施した遺跡について概要を記す。

表2 遺物実測・整理・収蔵・図面整理事業一覧

遺跡 No.	遺 跡	報 告 書 名	備 考
	年報 34 掲載遺跡	松山市埋蔵文化財調査年報 34	令和4年度刊行
657 658	下難波腰折遺跡 1次調査	『下難波腰折遺跡』 1次調査・2次調査	令和4年度 松山市文化財調査報告書 第208集
666 667	下難波腰折遺跡 2次調査		
609 633	衣山東組遺跡 久万山本遺跡	『衣山東組遺跡・久万山本遺跡』	令和4年度 松山市文化財調査報告書 第209集
589	持田本村遺跡	『持田本村遺跡』	令和4年度 松山市文化財調査報告書 第210集
644	持田本村遺跡 2次調査	未定	令和5年度刊行予定

## (3) 遺物写真撮影・現像・整理作業

令和4年度に報告書などを刊行した遺跡について、掲載遺物の写真撮影及びデータ処理を行った。また、調査直後の遺物や展示・広報関係に使用する物なども適宜撮影している。

撮影においてはフィルムの使用を停止し、遺物用・現場用共に35mm判一眼レフデジタルカメラフルサイズ1台と、APSCサイズ4台で賄っている。なお、現場用にはコンパクトデジタルカメラも併用している。データ処理には、Adobe Lightroom Classic 及び Adobe Photoshop を使い、TIFF保存を基本としている。編集は、Adobe InDesignで行っている。

撮影済みのフィルムは専用の保管室に収納しているが、使用の際は、スキャナー EPSON GT-X970でデータ化している。他機関からの依頼はもとより、昔の景観を探しておられた市民の要望に応じ喜ばれた。古い写真もうかつに廃棄できない。

その他、報告書刊行済みの遺跡のデータの再整理を行い、保管データ量の圧縮に努めた。令和4年度に写真関係の作業を実施した遺跡や遺物は、以下の刊行物に掲載している。

表3 遺物写真撮影及びデータ処理・整理作業一覧

報告書 No.	報告書名	所収遺跡数	備考
*	「掘ったぞな松山 2021」ポスター用		令和4年度報告会ポスター
年報34	「松山市埋蔵文化財調査年報34」	*	令和4年度刊行
第208集	「下難波腰折遺跡1次・2次調査」	2	令和4年度刊行
第209集	「衣山東組遺跡・久万山本遺跡」	2	令和4年度刊行
第210集	「持田本村遺跡」	1	令和4年度刊行
第*集	「持田本村遺跡2次調査」	1	令和5年度刊行予定

## 2. 出土物整理・立会調査（南久米町 R3-199）

所在地 松山市南久米町 705 番  
 期間 令和 4 年 5 月 26 日～令和 4 年 6 月 9 日  
 面積 約 81.47㎡  
 原因 共同住宅の建築  
 担当 高尾 和長・新原 佑典・渡部 浩史  
 宮脇 和人・山邊 進也・浅井 茂之  
 鶴久森 彬（文化財課）



図 1 調査地位位置図

**概要** この調査は、共同住宅の建築に伴う掘削に併せて保護層を確保できない部分の立会調査を実施したものである。調査区は、西側より 1 区・2 区の 2 か所に分けて調査を行った。基本層序は 2 層に分層し、第 I 層：表土、第 II 層：明黄褐色粘質土（10YR 6/8）（地山）である。遺構は、溝（SD）3 条、土坑（SK）7 基、柱穴（SP）38 条を検出した。遺物は、弥生土器、須恵器、石製品などが出土した。以下、各区ごとにその概要を示す。

### 1 区の調査（面積 約 52.97㎡）

遺構は溝（SD）2 条、土坑（SK）3 基、柱穴（SP）11 基を検出した。遺物は、弥生土器、石製品が出土した。

SD101 は調査区北部に位置し、北東-南西方向の溝である。東部及び西部は調査区外に続く。規模は、検出長 2.20m、検出幅 4.42m、深さ 1.24m を測る。断面形態は逆台形状を呈し、溝基底面は平坦である。埋土は 21 層に分層でき、遺物は中層から下層にかけて弥生土器のほか石製品が多量に出土している。

時期：溝の埋没年代は、出土した壺や甕の形態より弥生時代前期末から中期初頭とする。

SD102 は調査区南部に位置し、北東-南西方向の溝である。両端は調査区外に続く。規模は、検出長 5.30m、検出幅 3.50m を測る。深さは、遺構が保護できると判断されたため掘削は行わず平面の確認調査とした。

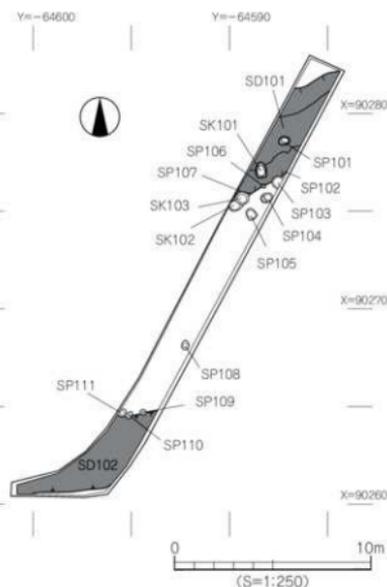


図 2 1 区遺構配置図





写真1 1区 SD101 検出状況 (北より)



写真2 1区 SD101 ベルト土層状況 (北東より)



写真3 1区 SD101 完掘状況 (北東より)



写真4 1区 SD102 検出状況 (北東より)



写真5 2区遺構完掘状況 (西より)

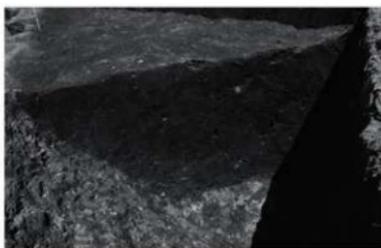


写真6 2区 SD201 ベルト土層状況 (南西より)



写真7 2区 SD201 完掘状況 (西より)



写真8 2区 SK201・SP201 完掘状況 (西より)

### 3. 出土物整理・立会調査（北久米町 R4-8）

所在地 北久米町 609 番 1 の一部及び同地先、664 番 6  
(松山地区 No.126-1 南久米町遺跡、  
No.126-2 二つ塚古墳)

期間 令和 4 年 8 月 16 日、23 日

面積 約 30m<sup>2</sup>

原因 農道水路付替

担当 新原 佑典、浅井 茂之



図 1 調査地位位置図

**概要** この調査は、宅地造成に係る既存農道水路の付替え工事に立会し、必要な記録保存措置を講じたものである。現地は小野川扇状地の扇端部、堀越川との合流地点付近に位置し、現地標高約 33.5m を測る。調査地の南西約 50 m 地点には二つ塚古墳の後円部墳丘が遺存し、北久米遺跡 4 次及び 6 次調査、そして平成 31 年度に当該地で実施された試掘確認調査等の成果をもとに、全長約 60 m の前方後円墳の墳形及び規模が推定復元されている（山之内 2007、山内 2022）。今回の工事による掘削範囲は幅約 1.5 m、長さ 20 m の狭小なものであったが、既往の成果を補足するものとして報告する。調査は工事の進行に併せて実施したものであり、施行順に準じて 3 分割で行った。よって北部を 1 区、南部を 2 区、中央部を 3 区と称する。なお、掘削は工事により影響の及ぶ範囲及び深度に止めており、遺構は地下に保存されていることを付言しておく。

**成果** 1 区と 3 区にまたがって溝状遺構を 1 条、3 区で土坑を 1 基確認した（図 2）。溝状遺構は調査地の北端で検出した。東西方向を指向するとみられ、南北幅 6.5 m を測る。検出面で 3 色の埋土を認め、複数の遺構が切り合う可能性を想定したが、壁面との整合を検証した結果、同一の遺構と判断した。埋土は上層から第①層極暗褐色土、②層にぶい赤褐色土、③層黒色土で、レンズ状に堆積する。遺構の肩は、南北とも約 20° の傾斜になる。上述の通り土木工事の停止面までの掘削であり、溝上面から約 30cm 程度を掘削したが、溝底には達していない。埋土からは円筒埴輪が出土した。土坑は東西で 50cm 以上を測るが、南側は攪乱を受けている。埋土は黒色土で、溝状遺構の下層土（③層）に酷似する。2 区では、これまでの調査成果から内壕の存在が想定されたが、掘削は地表下 30cm 程度に止まり、遺構、遺物とも確認されなかった。

**まとめ** この調査により確認された溝状遺構は、平成 31 年度の試掘確認調査で確認された溝状遺構（SD）に接続するものと考えられる（図 4）。この遺構については、二つ塚古墳の外壕の可能性が指摘されている（山内 2022）。今回の調査で溝状遺構の北端が確認できたことは、この理解を補強する資料となりうる。ただし、各調査の遺構を線で繋ぐと、溝の南肩については蛇行することとなり、二つ塚古墳の前方部ライン及び周壕ライン、いずれとも併行しない。また遺構の深度についても、試掘確認調査で確認した溝状遺構は約 25cm であるのに対し、今回の遺構では溝底に達しておらず、深さが一定ではない。

確認した遺物はすべて円筒埴輪で、溝状遺構からの出土である。これらは山内報告による埴輪の理解の中に収まるものである（山内 2022）。すなわち、土師質焼成で基底部から口縁部にかけて直線的

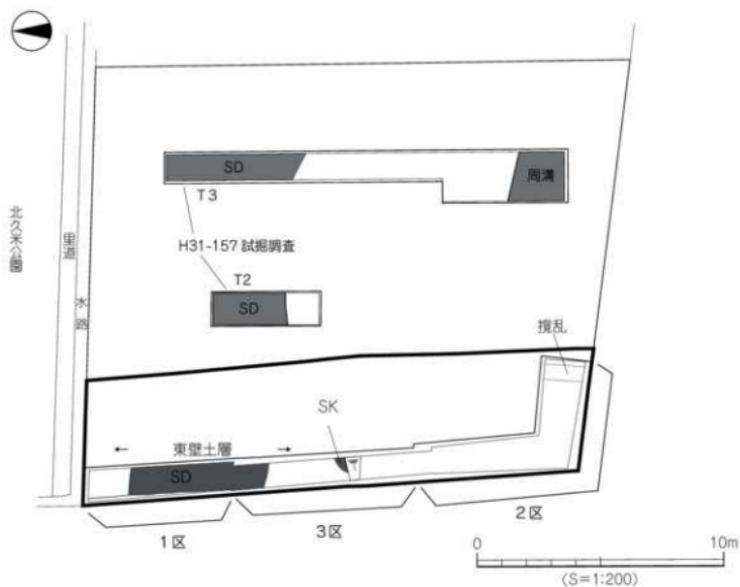


図2 遺構配置図 (太枠内)



図3 東壁土層図

に外傾する A 類と、須恵質焼成で基底部から口縁部にかけて直線的に上方へ伸び、口縁部高が突帯間幅と比べ短い B 類の 2 タイプである。ひとつの古墳に用いられた埴輪に、複数の類型が存在することは既に指摘されることであるが（山内 2023）、今回、タイプの異なる埴輪が近い地点から出土したことは興味深い。また出土位置は 3 区、つまり溝状遺構（外壕）の南端であり、この埴輪が外堤に樹立された状況を想起させる。

以上のような小規模な調査であっても、積み重ねにより地域史を復元する資料となりうる。今後も既往資料の再整理、報告を含め、取り組みを継続していきたい。（新原）

山之内志郎 2007「北久米遺跡 4 次調査地」「北久米遺跡 6 次調査地」『松山市埋蔵文化財調査年報 19』

松山市教育委員会・(財)松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター

山内 英樹 2022「出土物整理・埴輪（二つ塚古墳）」『松山市埋蔵文化財調査年報 34』

山内 英樹 2023「松山平野における埴輪の展開」『季刊考古学』163 雄山閣

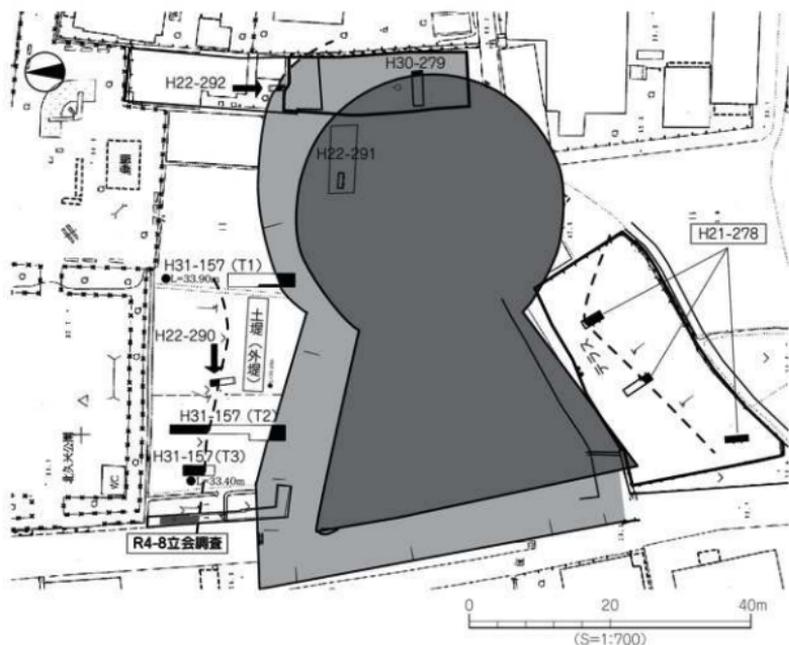


図4 二つ塚古墳墳丘復元図



写真1 調査地遠景（西より）  
※右手奥の藪が二つ塚古墳後円部墳丘



写真2 調査区近景（北西より）



写真3 1区溝状遺構検出状況（北西より）



写真4 1区溝状遺構検出状況（南西より）



写真5 1区溝状遺構（西より）



写真6 3区溝状遺構検出状況（南西より）



写真7 3区溝状遺構（西より）



写真8 出土遺物（埴輪）

#### 4. 出土物整理・権現町出土石器

はじめに 今回報告する石器は、松山市埋蔵文化財包蔵地「№ 170-3 権現遺物包含地3」内での民間開発工事に先立つ、埋蔵文化財確認調査（R4-22）によって出土した、後期旧石器時代のナイフ形石器及び剥片である。以下、出土状況及び、遺物の観察所見を報告する。

**出土状況** 調査地は、松山平野の北部を流れる権現川の右岸、松山市道堀江84号線南側の標高27.0m～27.4mに立地する(図1・2)。5層浅黄橙色粘質土と灰色砂の混土層上面で石器2点が出土した。5層は土質に締まりがなく、層中で湧水が確認された。上層の3層、4層は砂質土の無遺物層であった。調査地は、南側の権現川に向かって緩やかに傾斜していることから、3層から5層にかけては、北側から流れ込み2次堆積したものと推測される。これらの出土状況から、本来の後期旧石器時代の生活域は調査地の北側にあり、本報告の石器2点は北側の後期旧石器時代の生活域から流れ込んだものと考えられる。

**遺物** 図3-1はナイフ形石器である。横長剥片を素材とし、左右両側縁に腹面側からの急斜度な調整剥離が施される。平面形は、基部側を逆二等辺三角形に整えている。なお、対向剥離は見られない。背面側中央には河床礫の特徴である、円磨した自然面が残されている。石材は凝灰岩<sup>※1</sup>である。

図3-2は背面に大きく自然面を残した横長剥片である。自然面は円磨していることから、河床で採取された母岩を打ち欠いて獲得した剥片と思われる。石材は凝灰岩である。図3-1と同一母岩と思われる。

おわりに これまで、松山平野における後期旧石器時代の遺物は、小野川流域や独立丘陵で見つかることが多かった。今回は、松山平野北部に注ぎ込む、権現川の河岸段丘で後期旧石器時代の遺物が初めて見つかった意義は大きい(図4)。今後、周辺で後期旧石器時代の生活域が発見されることに期待したい。(鶴久森)



図1 調査地位置図<sup>※2</sup>

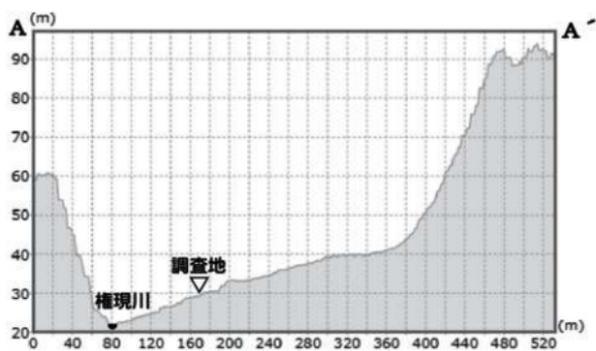


図2 調査地断面図<sup>※3</sup>

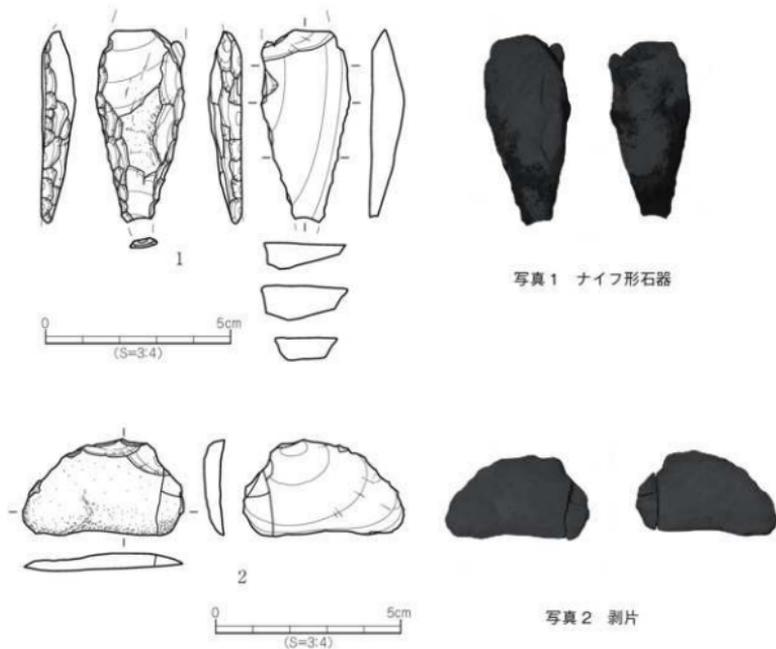


写真1 ナイフ形石器

写真2 剥片

図3 出土遺物実測量図

表1 出土遺物観察表(石製品)

図版番号	出土地	層位	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	剥離角	石材	備考
図3-1	R4-22 T1	5層上面	ナイフ形 石器	6.14	2.31	0.80	9.17	-	凝灰岩	図3-2と同一母岩
図3-2	R4-22 T1	5層上面	剥片	2.10	4.35	0.60	3.48	76°	凝灰岩	図3-1と同一母岩

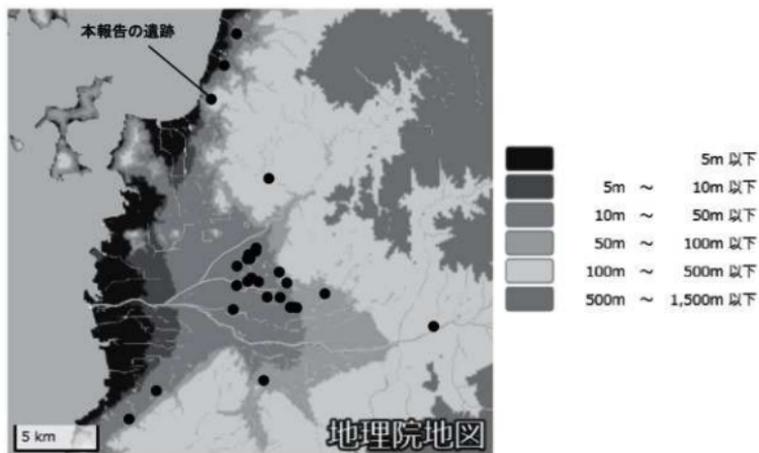


図4 松山平野における後期旧石器時代の遺跡分布図\*4

## 【注釈】

※1 肉眼での観察から暫定的に凝灰岩としているが、松山平野出土の後期旧石器時代の遺物で類似したものがないこと、科学分析していないことから、異なる石材である可能性もある。

※2 「標準地図」国土地理院を元に作成。

※3 「標準地図(断面図データ)」国土地理院を元に作成。

※4 「標準地図(自分で作る色別標高図)」国土地理院を元に作成。

## 5. 保存処理

### I. 保存処理の概要

保存処理室では主に木製品（PEG含浸処理）、金属製品（減圧樹脂含浸）の保存処理を行っており、必要に応じて現場に向き、遺構・遺物の取り上げ、土層の剥ぎ取り作業も行っている。

**金属製遺物：**保存処理は基本的に当センターで行なうが、特殊な資料やX線撮影は外部委託している。今年度は、委託していない。

**木製・植物性遺物：**保存処理は当センターで行なうが、重要な資料や自然科学分析は外部委託している。今年度は、委託していない。

**動物遺骸体：**洗浄や保護処理は当センターで行い、人骨の鑑定、獣種同定、保存処理は外部委託している。今年度は、北斎院地内遺跡1次調査、祝谷六丁目遺跡調査出土人骨の鑑定、保存処理をNPO法人 人類学研究機構に委託した。

**追加資料の掲載：**令和3年度にNPO法人 人類学研究機構に鑑定を委託した余戸柳井田遺跡3次調査（松山市文化財調査報告書第196集 余戸柳井田遺跡1・2・3・6次調査）、高田遺跡（椋之原14号墳 松山市文化財調査報告書第177集）坂浪西1号墳（松山市埋蔵文化財調査年報33）の出土人骨の鑑定結果を追加資料としてP45～70に掲載する。

### II. 保存処理実務

#### 1. 木製品の保存処理

PEG（ポリエチレングリコール）含浸処理を行っている。このPEG含浸法は、木製品中の水分をPEGに置き換える方法で、20%の水溶液に木製品を浸し、漸次、濃度を高めていき最終段階では100%濃度のPEG溶液をしみこませることになる。この処理は1～15年位を要する。今年度は行っていない。

#### 2. 金属製品の保存処理

前処理（脱水・脱塩・安定化処理）を行い、順次クリーニング（付着しているゴミ・土壌・サビ等の除去）、減圧樹脂含浸を行っている。また、処理の終了した遺物は、収納システム（三菱ガス科学・RPシステム）により収納後、特別取蔵庫に保管している。以下、処理を行った点数を表1に記す。

表1 令和4年度 金属製品保存処理遺跡名一覧

No	遺跡名	点数	作業工程	刊行物
511	榊味四反地遺跡20次調査	18	処理済み	松山市文化財調査報告書151集
563	祝谷大地ヶ田遺跡3次調査 祝谷6号墳	216	クリーニングまで	松山市埋蔵文化財調査年報25

### 3. 動物遺骸体の保存処理

人骨、獣骨とも大部分のものが、土とともに出土した状態で搬入される。処理室ではこの余分な土を、竹べら・竹串・針先・ピンセット・刷毛などを用いて骨の取り出し、クリーニングを行っている。

### 4. 遺構・遺物の取り上げ作業

発掘調査で検出される遺物は腐食し、脆弱化しているためそのまま取り上げることが困難なものがある。また、ほとんどの調査の場合、発掘した遺構を現場で保存できない。このような場合に遺構・遺物の取り上げを行う。遺物が小さい場合は簡易な方法で行い（骨を土ごとに取り上げること、年報11.保存処理事業I-3参照）、遺物が大きく重量が増す場合は発泡ウレタン樹脂を用いて対象物全体を固めて取り上げる（年報X,保存処理事業I-3参照）。この発泡ウレタン樹脂での梱包は従来使用していた石膏やコンクリートでの梱包より軽く仕上がりが、搬出、運搬の作業が軽減される。室内に搬入した後、時間をかけて精査することによって、発掘期間中に屋外で調査する以上の成果を期待できることも多い。

### 5. 土層の剥ぎ取り転写

転写面にエポキシ系樹脂を塗り、樹脂の補強のためガーゼなどで裏打ちを行い、樹脂が硬化後転写面より剥ぎ取る。剥ぎ取った土層は、パネル仕上げにして展示、保管する。この土層の剥ぎ取りは、発掘後も室内で実物をあらゆる角度から精査できる効果的な記録保存法ともなる。

### 6. 令和4年度調査出土遺物一覧（保存処理等必要遺物）

令和4年度に保存処理等必要遺物が出土した遺跡を表2に記す。

表2 令和4年度 調査出土金属・木製・動植物遺体一覧（以前の調査出土も含む）

No	遺跡名	種類	遺物内容	数量
673	松山城三之丸跡26次調査	金属製品	釘	3点
674	松山城三之丸跡27次調査	金属製品	弾丸・銭	2点

参考文献 1～5 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター『埋蔵文化財ニュース16・24・28・31』

## 6. 余戸柳井田遺跡3次調査出土の中世人骨

松下真実\*・松下孝幸\*\*

【キーワード】：愛媛県、中世人骨、土坑墓、男性骨、柱状大腿骨

### はじめに

愛媛県松山市余戸西四丁目2187番3および2188番3に所在する余戸柳井田遺跡3次調査が、松山外環状道路建設に伴って2015（平成27）年11月から2016（平成28）年2月までおこなわれ1基の土坑墓から人骨が出土した。この調査では鎌倉時代から室町時代の遺構と遺物が出土している。遺構としては、掘立柱建物4棟、溝7条、土坑墓1基、土坑2基、柱穴235基が検出されており、遺物は土師器、須恵器、陶磁器、瓦質土器のほか、木製品や種子などが出土している（松山市文化財調査報告書第196集、2019）。



写真1 調査区全景

愛媛県で筆者らが調査と鑑定依頼を受けた人骨のうち中世人骨（非火葬骨）は、松山市の古照遺跡（松下、1998）、平田七反地遺跡（松下、2000）、余戸中ノ孝遺跡（松下真実・他、2019）、余戸中ノ孝遺跡3次調査地（松下真実、2018）、東垣生八反地遺跡（松下真実・他、2019）、南江戸上沖遺跡、北斎院地内遺跡2次調査地、東本遺跡6次調査地、北久米町屋敷遺跡2次調査地、榊味四反地遺跡20次調査地、北斎院地内遺跡4次調査地および八幡浜市のウラシヨウジ遺跡（松下、1999）から出土した中世人骨がある。

余戸中ノ孝遺跡からは愛媛県ではこれが初例である円形の周溝を伴う中世墓が出土した。周溝を伴った墓に副葬されていた土師器（碗）が吉備の所産であることや、出土した熟年男性骨の四肢骨は極めて太く、屈強な人物であったことは注目される（松下真実・他、2019）。また、古照遺跡からは14世紀末頃の1体の壮年・女性骨が出土している。頭型や顔面の特徴は不明であるが、四肢骨が細い女性であった。ウラシヨウジ遺跡からは16世紀に属する熟年・男性骨と年齢不明の女性骨がそれぞれ1体出土している。頭型や顔面の特徴は不明で、四肢骨は下股骨しか残っていなかったが、男女とも下股骨は細かった。平田七反地遺跡からは5体（男2、女3）の中世人骨が出土している。男性は長頭型を示し、齒槽性突顎がみられたが、女性の頭型と顔面の特徴は明らかにできなかった。男性の上腕骨と大腿骨は長く、男性の脛骨と女性の大腿骨、脛骨は短く、骨体は男女ともに細いものであった。また、男性は高身長であったが、女性は低身長であった。

残存していた人骨を解剖学的に精査し、人類学的観察や計測をおこなったので、その結果を報告しておきたい。



図 1. 遺跡の位置図 (1/25,000)

(Fig.1 Location of the place 3th excavation,yougoyanaida site, Matsuyama City, Ehime Prefecture)

## 資 料

本調査で1基の墓(土坑墓1)が検出され、1体の人骨が出土した。土坑墓1の規模や形状は不明であるが、棺材の一部(底板と側板)が残存しており、底板の上から人骨が検出されている。人骨は頭部を北に向け、脚は屈葬の状態を検出されており、頭部の側からは完形の土師器環と皿が副葬されていた。人骨の所属時代は、副葬品の考古学的所見から、13世紀後半の鎌倉時代後期と考えられている。計測方法は、Martin-Saller (1957)によった。

表1 資料数 (Table 1. Number of materials)

成 人			幼小児	合 計
男性	女性	不明		
1	0	0	0	1

表2 出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	備考(頭位、埋葬姿勢)
土坑墓1	男性	不明	北頭位、仰臥

表3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

年齢区分		年 齢
未成人	乳児	1歳未満
	幼児	1歳～5歳 (第一大白歯萌出直前まで)
	小児	6歳～15歳 (第一大白歯萌出から第二大白歯萌根完成まで)
	成年	16歳～20歳 (蝶後頭軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21歳～39歳 (40歳未満)
	熟年	40歳～59歳 (60歳未満)
	老年	60歳以上

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(松下, 1996)を参照されたい。

## 所 見

各人骨の残存部は図2に示すとおりである。また、各骨の計測値は文末に一括して掲げた。

## 土坑墓1 (男性・年齢不明)

保存状態は悪く、骨種や部位が確認できたのは頭蓋、上腕骨、大腿骨、脛骨である。それ以外の骨はほとんど痕跡状態で、同定できなかった。

## 1. 頭蓋

頭蓋が痕跡状態で残存していた。保存状態きわめて悪く、頭型や顔面の観察はできなかった。

## 2. 上腕骨

左側の骨体が残存していた。皮質は剥離しており、保存状態はきわめて悪い。皮質が剥離していることを考慮しても骨体は細い。三角筋粗面の発達状態は不明である。計測はできなかった。

### 3. 大腿骨

左右の骨体が残存していたが、保存状態はかなり悪い。左側の骨体が観察できた。骨体は大きい。土圧によりやや変形しているが、粗線は明瞭で突出し、発達しており、骨体両側面の後方への発達はきわめて良好である。

計測値は、骨体中央矢状径が32mm(左)、横径は24mm(左)で、骨体中央断面示数は133.33(左)となり、粗線は隆起しており、骨体両側面の後方への発達はきわめて良好である。骨体中央周は91mm(左)で、骨体は太い。

### 4. 脛骨

骨体が残存していたが、保存状態がきわめて悪く、左右どちらの骨体かは不明である。また、ヒラメ筋線の発達や骨体の太さなども不明である。計測はできなかった。

### 5. 性別・年齢

性別は、大腿骨が大きく、粗線の発達もきわめて良好であることから、男性と推定した。年齢は、推定できる部位が残存していないので不明である。



写真2 土坑墓1人骨出土状況

## 考察

計測ができた大腿骨について、愛媛県とその周辺地域の中世人と比較してみた。

### 1. 大腿骨

表4は大腿骨の比較表である。土坑墓1の骨体中央周は91mmで、余戸中ノ孝の93mm、南江戸上沖の92mmに次いで大きい。骨体中央断面示数は133.33で、表4では最も大きな値となり、骨体が土圧によりやや変形しているものの、骨体両側面の後方への発達はきわめて良好で、柱状大腿骨である。

表4で愛媛県の中世人の計測値をみると、余戸柳井田3次(土坑墓1)、余戸中ノ孝(1号墓)、南江戸上沖(SK311)の中世人の大腿骨は大きい。平田七反地(土坑墓I-A土)とウラショウジ(1号)の大腿骨はかなり細い。この差は被葬者の社会的階層の違いによる生活様式(労働形態)の差に起因するものが、遺伝的な要因なのかの考察は例数の増加をまって検討したい。

## 要約

愛媛県松山市余戸西四丁目2187番3および2188番3に所在する余戸柳井田遺跡3次調査が、松山外環状道路建設に伴って2015(平成27)年11月から2016(平成28)年2月までおこなわれ、土坑墓1基から1体の人骨が検出された。人骨を解剖学的に精査し、人類学的観察と計測をおこなった。人骨所見は次のように要約することができる。

1. 土坑墓1から出土した人骨は、年齢不明の男性人骨である。被葬者の埋葬姿勢は、北頭位の臥屈葬である。
2. 土坑墓1の所属時代は、副葬品などの考古学的所見から鎌倉時代後期(13世紀後半)の中世と推測されている。

3. 人骨の保存状態は悪く、確認できたのは頭蓋、上腕骨、大腿骨、脛骨のみであった。
4. 上腕骨は、皮質の剥離が著しく、ほとんど観察できなかったが、骨体は細そうである。
5. 大腿骨の計測値は、骨体中央周91mm(左)、中央矢状径32mm(左)、中央横径24mm(左)で、骨体中央断面数は133.33(左)となり、骨体は大きく、粗線は突出しており、骨体両側面の後方への発達もきわめて良好で、柱状性がみられる。
6. 筆者らが鑑定した愛媛県内の中世人骨の例数は多くはないが、四肢骨が著しく太く、大きいものと、比較的小さいものが存在する。余戸柳井田3次の土坑墓1人骨と、余戸中ノ孝1号、南江戸上沖は前者に、平田七反地遺跡やウラショウジ遺跡から出土した中世人骨は後者に属する。四肢骨は運動器であるので、大きさの差は被葬者が属する社会的階層の違いによる生活様式(労働形態)の差に起因すると思われるが、遺伝的な要因も考えられることから、例数の増加をまわって、考古学的情報から被葬者の階層などを推測し、差異の要因を検討していきたい。

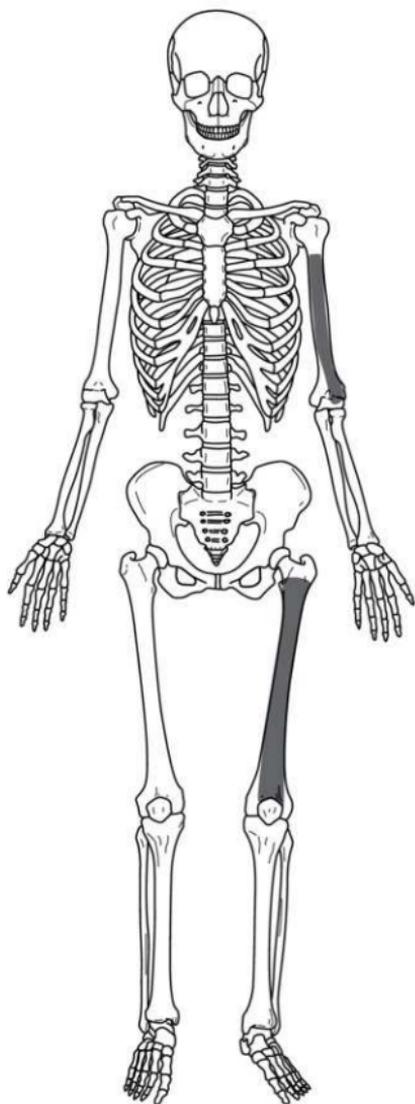
#### ＜参考文献＞

1. 池田次郎、1980：帝釈寄倉岩除遺跡出土の中世人骨について。広島大学文学部帝釈遺跡群発掘調査室年報Ⅲ：99-105。
2. Martin-Saller. 1957：Lehrbuch der Anthropologie. Bd.1.Gustav Fisher Verlag. Stuttgart:429-597.
3. 松下真実・他、2018：愛媛県松山市余戸中ノ孝遺跡3次調査出土の中世人骨。余戸中ノ孝遺跡3次・6次(一般国道6号線松山外環状道路空港線・一般県道久米垣生線建設に伴う埋蔵文化財調査報告書)：315-324。
4. 松下真実・他、2019：余戸中ノ孝遺跡出土の中世人骨。松山市埋蔵文化財調査年報31(平成30年度)：63-81。
5. 松下真実・他、2019：東垣生八反地遺跡出土の中世人骨。松山市埋蔵文化財調査年報31(平成30年度)：82-88。
6. 松下真実・他、愛媛県松山市北斎院地内遺跡2次調査地出土の人骨。(投稿中)
7. 松下真実・他、愛媛県松山市東本遺跡6次調査地2区出土の中世人骨。(投稿中)
8. 松下真実・他、愛媛県松山市北久米町屋敷遺跡2次調査地出土の中世人骨。(投稿中)
9. 松下真実・他、愛媛県松山市榊味四反地遺跡20次調査区出土の中世人骨。(投稿中)
10. 松下真実・他、愛媛県松山市北斎院地内遺跡4次調査地出土の中世人骨。松山市埋蔵文化財調査年報34(令和3年度)
11. 松下孝幸、1987：広島県月見城出土の中世人骨。月見城遺跡(広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第54集)：97-106。
12. 松下孝幸・他、1992：東広島市助平古墳出土の古墳・中世人骨。西城第一土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ(東広島市教育委員会文化財調査報告書第21集)：127-134。
13. 松下孝幸、1996：土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査出土の中世・弥生時代人骨。土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第12集)：24-50。
14. 松下孝幸、1998：愛媛県松山市吉照遺跡出土の中世人骨。斎院・吉照新松山空港道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書(遺物編)：532-538。
15. 松下孝幸、1999：愛媛県八幡浜市ウラショウジ遺跡出土の中世人骨。愛媛県歴史博物館研究紀要第4号：96-123。
16. 松下孝幸、2000：愛媛県松山市七反地遺跡出土の中世人骨。道ヶ谷古墳・池の奥遺跡・平田七反地遺跡(一般国道196号松山北条バイパス埋蔵文化財調査報告書Ⅱ)(埋蔵文化財発掘調査報告書第86集)：391-422。
17. 松下孝幸、2002：神奈川県鎌倉市由比ヶ浜遺跡出土の中世人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ浜遺跡(第3分冊・分析編Ⅱ)：199。
18. 松下孝幸・他、2013：熊本県芦北町花岡木崎遺跡出土の中世人骨。花岡木崎遺跡(芦北町文化財調査報告書第3集)：191-222。
19. 松山市教育委員会、2019：松山外環状道路(空港線)整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 余戸中ノ孝遺跡1・2・4・5次調査 余戸柳井田遺跡1・2・3・6次調査 東垣生八反地遺跡1・3・4次調査 南吉田南代遺跡1次調査(松山市文化財調査報告書第196集)：105-140。
20. 中橋孝博・他、1985：人骨(山口県下関市吉母浜遺跡出土人骨)。吉母浜遺跡：154-225。

\* Masami MATSUSHITA, \*\* Takayuki MATSUSHITA

The Organization of Anthropological Research [NPO法人・人類学研究機構]





余戸柳井田3次 土坑墓1(男性・年齢不明)

図2 人骨の残存図(アミかけ部分)

(Fig.2 Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

保存処理



頭蓋 (The skull)



左上腕骨・左大腿骨 (The left humerus・The left femur)

写真3 余戸柳井田3次 土坑墓1(男性・性別不明)  
(The skeleton No.1 from the 3th excavation,yougoyanaida site,male unknown age)

## 7. 高田遺跡 (椋之原 14 号墳) 出土の古墳人骨

松下真実\*・松下孝幸\*\*

【キーワード】：愛媛県、古墳人骨、横穴式石室、男性大腿骨

### はじめに

愛媛県松山市高田乙外に所在する高田遺跡の発掘調査が貯水池造成及び進入路建設工事に伴い、2006（平成 18）年度におこなわれた。この調査で古墳 3 基、土坑 13 基、溝 1 条が検出されている。古墳は椋之原 14 号墳、15 号墳、16 号墳の 3 基であるが、人骨が検出されたのは 14 号墳のみである。記録によれば、14 号墳は果樹園として開墾された際に、破壊され、墳丘中央部に石室の一部が積み上げられて残っていたという。また、14 号墳は直径 15m 前後の円墳だったと推測されている。出土遺物は鉄器、管玉のほかに陶磁器の蓋付壺があって、この壺の中に人骨が入っていた。蓋の内側には文字が書かれており、その記載から昭和 13 年に石室内の人骨を集めて、壺に入れたことがわかった（松山市埋蔵文化財調査年報 19、2007）。なお、14 号墳は古墳時代後期の古墳と推測されている。

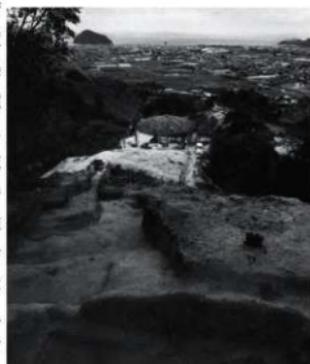


写真 1 調査区遠景

愛媛県から出土した古墳人骨のうち筆者らが調査や研究にかかったものは、今治市相の古谷墳群（松下・他 1995）、二の谷 2 号墳（松下、2000）、馬島長山 1 号墳、鳥越 1 号墳（松下・他 2017）、古谷犬山谷古墳（松下真実・他、2013）、新谷石ヶ谷古墳群のほかに松山市の宮前川北斎院遺跡（松下、1998a）、客谷古墳（松下、2006a）、三味線山古墳（松下真実・他、2014）、瀬戸風峠遺跡、御産所 11 号墳、東山蔭が森古墳群（1 次・2 次）（松下真実・他、2017）、久万ノ台古墳、久米タンチ山 1 号墳、天山 2 号墳、古照遺跡、鶴が峠遺跡（松下真実・他、2018）、三島神社古墳、五郎兵衛谷 7 号墳、大峰ヶ台遺跡 5 次（客谷古墳 B 地区）、伊予市の猪の窪古墳（松下、2006c）から出土した人骨がある。また、弥生時代から古墳時代にかけての人骨としては伊予市の原池遺跡の石棺出土の熟年の女性骨がある（松下、1998b）が、遺存状態が良好な古墳人骨の出土例は少なく、まだ愛媛県内での古墳人の特徴を明確にできない状況である。

今回報告する古墳人骨の残存量も多いものではないが、観察や計測ができたので、その結果を報告しておきたい。



図1. 遺跡の位置図 (1/25,000)

(Fig.1 Location of the place Mukunohara tumulus No.14, Matsuyama City, Ehime Prefecture)

## 資料

14号墳の石室内の壺に取められていた人骨は、解剖学的に精査したところ、1体分の人骨であった。所見を記載するにあたり、この人骨に「14-1」という番号をつけた。下記の所見からこの人骨は男性骨と推測されるが、年齢は不明である(表1.2)。なお、表3に年齢区分を示した。

この人骨は、考古学的所見より、古墳時代後期に属する人骨である。計測方法は、Martin-Saller(1957)によった。

表1 資料数 (Table 1. Number of materials)

成人			幼小児	合計
男性	女性	不明		
1	0	0	0	1

表2 出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	備考
14-1人骨	男性	不明	頭蓋片、遊離歯、右側大腿骨体

表3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

年齢区分		年齢
未成人	乳児	1歳未満
	幼児	1歳～5歳 (第一大臼歯萌出直前まで)
	小児	6歳～15歳 (第一大臼歯萌出から第二大臼歯根完成まで)
	成年	16歳～20歳 (蝶後頭軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21歳～39歳 (40歳未満)
	熟年	40歳～59歳 (60歳未満)
	老年	60歳以上

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(松下、1996)を参照されたい。

## 所見

各人骨の残存部は図2に示すとおりである。また、計測値は文末に一括して掲げた。

## 14-1人骨(男性・年齢不明)

頭蓋片と歯、大腿骨が残存していた。

## 1. 頭蓋

約4cmと2.5cmほどの頭蓋片2点が残存していたにすぎない。側頭骨か後頭骨の一部と思われるが、特定できない。

## 2. 歯

遊離歯が残存していた。残存歯を歯式で示すと、次のとおりである。

///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
///	5	///	2	///	///	///	///	6	///

[/: 不明(破損)、番号は歯種]

[1:中切歯、2:無切歯、3:犬歯、4:第一小臼歯、5:第二小臼歯、6:第一大臼歯、7:第二大臼歯、8:第三大臼歯]

咬耗度は Broca の 1 度 (咬耗がエナメル質のみ) で、咬耗は弱い。歯の咬合形式は不明である。

### 3. 大腿骨

右側の骨体が残存していた。骨体は大きい。粗線は明瞭で隆起しており、骨体両側面はやや後方へ伸展している。骨体上部の扁平性は弱い。

計測値は、骨体中央矢状径が 29mm (右)、横径は 27mm (右)、骨体中央断面示数は 107.41 (右) となり、粗線は明瞭で隆起しており、骨体両側面は後方へやや発達している。骨体中央周は 90mm (右) で、骨体は大きい。骨体上横径は 30mm (右)、骨体上矢状径は 25mm (右) で、上骨体断面示数は 83.33 (右) となり、骨体上部の扁平性は弱い。



写真2 14号墳人骨出土状況

### 4. 性別・年齢

性別は、大腿骨の骨体が大きいことから男性と推定した。年齢は不明であるが、年齢を歯の咬耗程度から推測することは危険であることを前提として、咬耗がかなり弱いことだけから推測するとすれば、少なくとも高齢ではなかったと思われる。

## 考 察

計測ができた大腿骨について愛媛県出土の古墳人骨と比較してみた。表4は男性大腿骨の比較表である。本例の骨体中央周は 90mm で、三味線山と鶴が峠の 91mm、猪の窪Aの 92mm、新谷石ヶ谷4号墳 FE4 の 89mm と大差なく、猪の窪Bの 80mm、二の谷の 81mm、新谷石ヶ谷4号墳 FE1 の 85mm、瀬戸風峠B区7号石棺の 88mm よりも大きく、骨体は太い。骨体中央断面示数は 107.41 で、二の谷の 85.19、瀬戸風峠B区7号石棺の 89.66、猪の窪Aの 103.45 よりも大きい。新谷石ヶ谷4号墳 FE4 の 120.00、三味線山の 114.81、猪の窪Bの 112.50 よりも小さい。新谷石ヶ谷4号墳 FE1 の 107.69 とほぼ一致し、骨体両側面の後方への発達はそれほど強くない。上骨体断面示数は 83.33 で、新谷石ヶ谷4号墳 FE2 の 93.33、瀬戸風峠E区6号墳 FE1 の 85.71、猪の窪Bの 85.19 よりも小さい。新谷石ヶ谷4号墳 FE2 の 65.52、鶴が峠の 66.67、瀬戸風峠B区7号石棺の 69.70、馬島の 71.88、猪の窪Aの 75.76 よりも大きく、新谷石ヶ谷4号墳 FE1 の 83.87 と大差なく、骨体上部の扁平性は弱い。

すなわち、本大腿骨は、骨体の径が大きく、骨体両側面の後方への発達は弱く、また、骨体上部の扁平性も弱い大腿骨であった。この大腿骨から被葬者の体格を想定してみると、体格はよかったようであるが、下肢筋を酷使した様子はうかがえない。

## 要 約

愛媛県松山市高田乙外に所在する高田遺跡の発掘調査が2006（平成18）年度におこなわれ、椋之原14号墳から人骨が検出された。人骨の残存量は少なかったが、人骨を解剖学的に精査し、人類学的観察や計測をおこない、以下の結果を得た。

1. 本調査で3基の古墳が調査されたが、人骨が検出されたのは14号墳のみである。本古墳は果樹園造成の際に、破壊され、石室の一部が残存していた。人骨は石室内に安置されていた陶磁器の蓋付壺から検出されたが、この骨は果樹園造成の際の開墾時に、石室内に残っていた人骨を壺に収めたものである。
2. 本古墳は、古墳時代後期に築造された直径15m前後の円墳だったと推測されていることから、本人骨は古墳時代後期に属する人骨である。
3. 頭型や顔面の特徴は不明である。また、歯の咬耗度はBrocaの1度（咬耗がエナメル質のみ）で、咬耗は弱い。
4. 大腿骨の計測値は、骨体中央周が90mm（右）で、骨体は大きい。骨体中央欠径は29mm（右）、横径は27mm（右）、骨体中央断面示数は107.41（右）で、骨体両側面の後方への発達はそれほどよくない。上骨体断面示数は83.33（右）となり、骨体上部の扁平性は弱い。
5. 本古墳人では大腿骨の計測ができたが、骨体中央周は90mm（右）で、骨体は大きい。これまで報告書を書いた愛媛県での古墳人骨では、骨体中央周の計測ができた9体のうち90mmを超え、骨体が太いものは4体（椋之原、三味線山、鶴が峠、猪の窟A）で89mm以下のものは5体（新谷石ヶ谷4号墳FE1、FE4、瀬戸風峠B区7号石棺、二の谷2号墳、猪の窟B）で、両者の数に大きな差はない。今後は、例数の増加を期待するとともに埋葬施設の種類や古墳の所在地などとの関係についても注意を払って検討していきたい。

## ＜参考文献＞

1. Martin-Saller. 1957: Lehrbuch der Anthropologie. Bd.1. Gustav Fisher Verlag. Stuttgart: 429-597.
2. 松下真実・他、2013: 愛媛県今治市古谷犬山谷古墳出土の古墳人骨。古谷犬山谷古墳（埋蔵文化財発掘調査報告書第175）: 26-31.
3. 松下真実・他、2014: 愛媛県松山市三味線山古墳出土人骨。三味線山古墳・船ヶ谷向山古墳（松山市文化財調査報告書168）: 80-91.
4. 松下真実・他、2017: 愛媛県松山市東山斎が森古墳群2次調査出土の古墳・近世人骨。松山市埋蔵文化財調査年報29: 61-72.
5. 松下真実・他、2018: 鶴が峠遺跡出土の古墳人骨。松山市埋蔵文化財調査年報30: 59-68.
6. 松下真実・他、愛媛県松山市瀬戸風峠出土の古墳人骨（投稿中）
7. 松下真実・他、愛媛県松山市御産所11号墳出土の古墳人骨（投稿中）
8. 松下真実・他、愛媛県松山市東山斎が森古墳群1次調査出土の古墳・近世人骨（投稿中）
9. 松下真実・他、愛媛県松山市古照遺跡出土の古墳人骨（投稿中）
10. 松下真実・他、愛媛県松山市久万ノ台古墳出土の人骨（投稿中）
11. 松下真実・他、愛媛県松山市天山2号墳出土の古墳人骨（投稿中）

12. 松下真実・他、愛媛県松山市古照遺跡出土の古墳人骨（投稿中）
13. 松下真実・他、愛媛県松山市久米タチ山1号墳出土の古墳人骨（投稿中）
14. 松下真実・他、愛媛県松山市五郎兵衛谷7号墳出土の古墳人骨（投稿中）
15. 松下真実・他、愛媛県松山市三島神社古墳出土の人骨（投稿中）
16. 松下真実・他、愛媛県松山市大峰ヶ台遺跡第5次調査（客谷古墳B地区）出土の古墳人骨（投稿中）
17. 松下真実・他、愛媛県今治市新谷石ヶ谷古墳群跡出土の古墳人骨（投稿中）
18. 松下孝幸、1996：土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査出土の中世・弥生時代人骨。土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書（山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第12集）：24-50.
19. 松下孝幸、他、1995：愛媛県今治市相の谷古墳群出土の古墳時代人骨。相の谷古墳群杉谷支群埋蔵文化財発掘調査報告書（埋蔵文化財発掘調査報告書第57集）：41-54.
20. 松下孝幸、1998a：愛媛県松山市宮前川北齋院遺跡出土の古墳時代人骨。齋院・古照・新松山空港道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書（遺物編）：525-531.
21. 松下孝幸、1998b：愛媛県伊予市取池遺跡出土の人骨。四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ伊予市編：175-180.
22. 松下孝幸、2000：愛媛県今治市二の谷2号墳出土の古墳時代人骨。且遺跡・宮之前遺跡・長沢石打遺跡・長沢1号墳・長沢6号墳・二の谷2号墳・鏡又古墳群・郷桜井西塚古墳（一般国道196号今治バイパス埋蔵文化財調査報告書Ⅳ）（埋蔵文化財発掘調査報告書第87集）：232-249.
23. 松下孝幸、2001：香川県坂出市鶴ヶ塚古墳出土の人骨。坂出市内遺跡発掘調査報告書（平成12年度国庫補助事業報告書鶴ヶ塚古墳・讃岐国府跡（間法寺遺跡）、讃岐国府跡）：27-48.
24. 松下孝幸、2006a：松山市客谷古墳群出土の古墳人骨。大峰ヶ台遺跡Ⅲ（松山市文化財調査報告110）：143-150.
25. 松下孝幸、2006b：香川県善通寺市榑池西手山頂墳3号出土の古墳人骨。善通寺市内発掘調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ：64-71.
26. 松下孝幸、2006c：猪の窪古墳人骨。伊予市の歴史文化、第54号：18-27。（伊予市の歴史文化の会編集発行）
27. 松下孝幸・他、2017：愛媛県今治市鳥越1号墳出土の古墳人骨。鳥越1号墳（埋蔵文化財発掘調査報告書第191集）：66-68.
28. 松下孝幸・他、愛媛県今治市馬島長山1号墳出土の古墳人骨（投稿中）
29. 松山市教育委員会、2007、松山市埋蔵文化財調査年報19

---

\* Masami MATSUSHITA、\*\* Takayuki MATSUSHITA

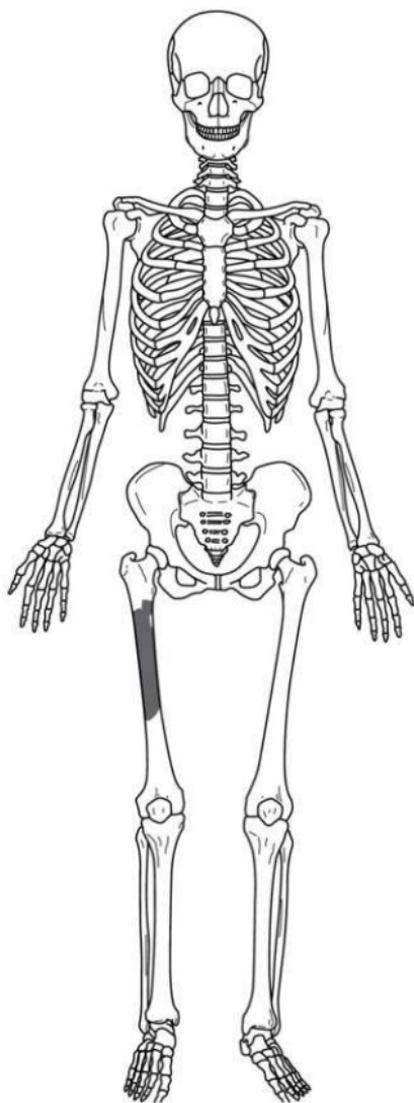
The Organization of Anthropological Research [特定非営利活動法人・人類学研究機構]

表4 上脛骨計測値(男性、右、mm) (Table 4. Comparison of measurements and indices of male right humeri)

	椋之原		三味線山		鶴が峰		瀬戸風峠		新谷石ヶ谷						馬島長山		相ノ谷		二の谷		猪の窟							
	古墳人	愛媛県	古墳人	愛媛県	古墳人	愛媛県	古墳人	愛媛県	古墳人	愛媛県	今治市	(松下・他)	4号墳	4号墳	4号墳	4号墳	4号墳	4号墳	3号墳	2号墳	古墳人	愛媛県	今治市	(松下)	古墳人	愛媛県	伊豫市	(松下)
	14-1	1号墳	(松下・他)	1号墳	1号墳	1号墳	B7号墳	E5号墳	4号墳	4号墳	4号墳	4号墳	FE1	FE2	FE4	FE2	FE2	6号墳	1号墳	1号墳	3号墳	3号墳	2号墳	2号墳	A	B	A	B
6. 骨体中央矢状径	29	31	-	-	26	-	28	-	28	-	30	(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	30	27	30	27	30	27
7. 骨体中央横径	27	27	-	-	29	-	26	-	26	-	25	(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22(左)	27	29	29	24	29	24
8. 骨体中央周	90	91	-	-	88	-	85	-	85	-	89	(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	81	92	80	92	80	
9. 骨体上横径	30	-	-	-	33	(左)	33	28	31	30	-	29	(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	27	33	27
10. 骨体上矢状径	25	-	-	-	23	(左)	23	24	26	28	-	19	(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	23	25	23
6/7 骨体中央断面示数	107.41	114.81	-	-	89.66	-	107.69	-	120.00	(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85.19	103.45	112.50	103.45	112.50
10/9 上骨体断面示数	83.33	-	-	-	69.70	(左)	83.87	93.33	-	-	-	65.52	(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.76	85.19	75.76	85.19

表5 大腿骨(mm) (Femur)

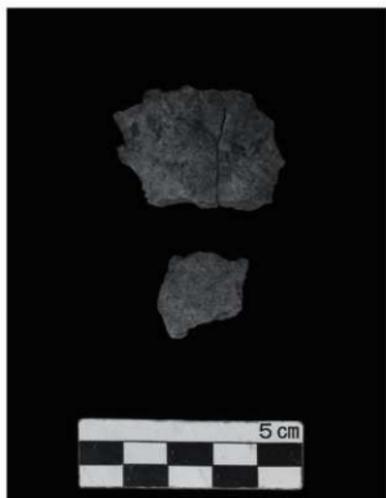
	椋之原
	14-1
	男性
	右
1. 最大長	-
2. 自然位全長	-
3. 最大転子長	-
4. 自然位転子長	-
6. 骨体中央矢状径	29
7. 骨体中央横径	27
8. 骨体中央周	90
9. 骨体上横径	30
10. 骨体上矢状径	25
15. 頸垂直径	-
16. 頸矢状径	-
17. 頸周	-
18. 頭垂直径	-
19. 頭横径	-
20. 頭周	-
21. 上顆幅	-
8/2 長厚示数	-
6/7 骨体中央断面示数	107.41
10/9 上骨体断面示数	83.33



柿之原 14号墳 14-1(男性・年齢不明)

図2 人骨の残存図(アミかけ部分)

(Fig.2 Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)



頭蓋 (The skull)



歯 (The teeth)



右大腿骨 (The right femur)

写真 3 椋之原 14 号墳 14-1 (男性・年齢不明)  
(The skeleton No.14-1 from the mukunohara tumulus No.14, male unknown age)

## 8. 坂浪西1号墳出土の古墳人骨

松下真実\*・松下孝幸\*\*

【キーワード】：愛媛県、古墳人骨、箱式石棺、保存不良、女性、赤色顔料

### はじめに

愛媛県松山市勝岡町乙935番105において、果樹園造成中に箱式石棺が発見されたので、この遺跡（古墳）の試掘確認調査が2021（令和3）年3月におこなわれ、内部主体の石棺から人骨が1体出土した。この古墳（坂浪西1号墳）は直径が約15mの円墳である。内部主体は箱式石棺で、側板6枚、小口石2枚、蓋石3枚で構成されていたが、調査時には側板2枚、小口石1枚、蓋石1枚が抜き取られていた。石棺の長軸は東西方向で、頭位は東である。石棺の規模は、長さ180～185cm、幅は頭側で40cm、足部で35cmである。石棺内部はベンガラが塗布されており、床面には粘土が敷き詰められ、中央部には排水溝が設けられ、その上部にはベンガラと小円礫と「つなぎ」を混ぜて敷き詰められていた。



写真1 調査区遠景

人骨の遺存状態は悪い。顔面には朱色の赤色顔料が付着している。副葬品としては縫い針状の鉄製品が検出されている。頭部付近から東ねた状態で出土した。本古墳は、箱式石棺の構築方法から古墳時代前期の所産と推測されている（公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター、坂浪西1号墳試掘調査報告書、2021）。

坂浪西1号墳は、松山市西部の高浜町、太山寺町、勝岡町に広がる丘陵の北に延びる尾根の頂上部に存在する。この丘陵部には赤子谷山古墳、坂浪古墳、のほりを山古墳、方廻遺跡・古墳群、太山寺古墳群、素鷲神社、岩木山古墳群などが存在する。1987（昭和62）年に発掘調査がおこなわれた高月山古墳では、4世紀末～5世紀初頭の箱式石棺2基が見つかり、銅鏃、鉄剣、鋤先が出土している。丘陵南部の石風呂町にある鶴が峠遺跡では弥生時代前期末の土坑と古墳時代後期の横穴式石室が検出され、弥生土器や須恵器、埴輪が出土しており、5世紀末から6世紀初頭の円墳や方墳6基の調査もおこなわれている（松山市文化財調査報告第19・116・124集）。

愛媛県から出土した古墳人骨のうち筆者らが調査や研究にかかわったものは、今治市相の谷古墳群（松下・他1995）、二の谷2号墳（松下、2000）、馬島長山1号墳、鳥越1号墳（松下・他、2017）、古谷犬山古墳（松下真実・他、2013）、新谷石ヶ谷古墳群（松下真実・他、2021）のほか松山市の宮前川北斎院遺跡（松下、1998a）、客谷古墳（松下、2006a）、三味線山古墳（松下真実・他、2014）、瀬戸風峠遺跡、御産所11号墳、東山鷹が森古墳群（1次・2次）（松下真実・他、2017）、久万ノ台古墳、久米タンチ山1号墳、天山2号墳、古照遺跡、鶴が峠遺跡（松下真実・他、2018）、三

坂浪西1号墳出土の古墳人骨

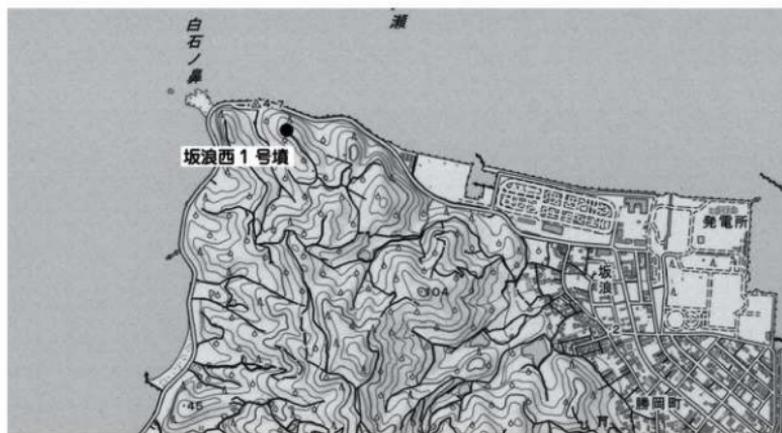
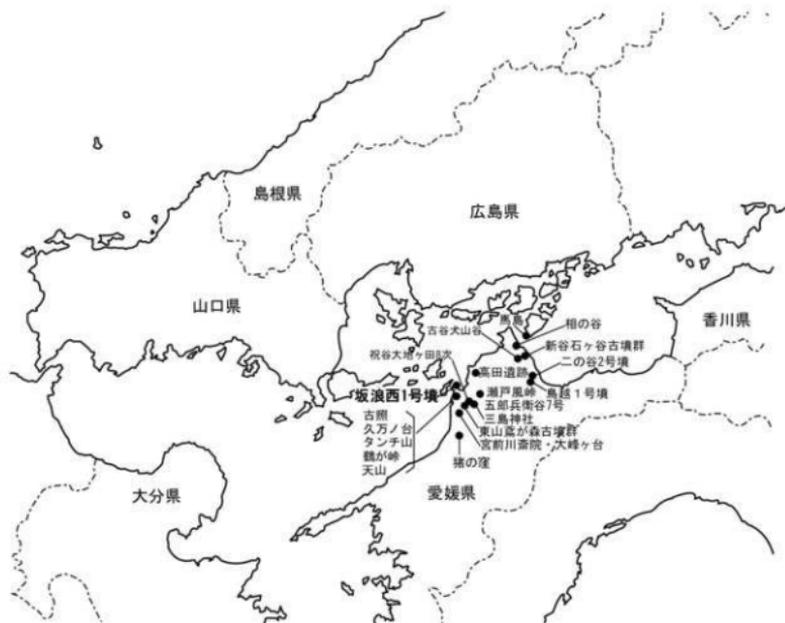


図1. 遺跡の位置図 (1/25,000)

(Fig.1 Location of the place Sakanaminishi tumulus No.1, Matsuyama City, Ehime Prefecture)

島神社古墳（松下真実・他、2020）、五郎兵衛谷7号墳（松下真実・他、2021）、大峰ヶ台遺跡5次（客谷古墳B地区）、高田遺跡（棕之原14号墳）、祝谷大地ヶ田遺跡8次調査地（祝谷11号墳）、伊予市の猪の窟古墳（松下、2006c）から出土した人骨がある。また、弥生時代から古墳時代にかけての人骨としては伊予市の原池遺跡の石棺出土の熟年の女性骨がある（松下、1998b）が、遺存状態が良好な古墳人骨の出土例は少なく、まだ愛媛県内での古墳人の特徴を明確にできない状況である。

今回報告する古墳人骨の保存状態は良好なものではなかったが、残存人骨を解剖学的に精査し、人類学的観察をおこなったので、その結果を報告しておきたい。

表1 資料数 (Table 1. Number of materials)

成人			幼小児	合計
男性	女性	不明		
0	1	0	0	1

表2 出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	備考
1号墳人骨	女性	不明	頭蓋片、遊離歯、上腕骨、大腿骨など

表3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

年齢区分		年齢
未成年	乳児	1歳未満
	幼児	1歳～5歳（第一大白歯萌出直前まで）
	小児	6歳～15歳（第一大白歯萌出から第二大白歯歯根完成まで）
	成年	16歳～20歳（蝶後頭軟骨結合癒合まで）
成人	壮年	21歳～39歳（40歳未満）
	熟年	40歳～59歳（60歳未満）
	老年	60歳以上

注）成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書（松下、1996）を参照されたい。

## 資 料

取り上げられていた人骨を解剖学的に精査したところ、1体分の人骨であった。箱式石棺の構築方法から本古墳は、古墳時代前期の所産と推測されていることから、人骨は古墳時代前期に属する人骨である。下記の所見からこの人骨は女性骨と推測される(表1、2)。年齢は不明であるが、参考までに、表3に年齢区分を示した。

## 所 見

各人骨の残存部は図2に示すとおりである。

### 1号墳人骨(女性・年齢不明)

頭蓋片と歯、肩甲骨、上腕骨、尺骨、大腿骨が残存していたが、遺存状態はきわめて悪く、骨質はスカスカ状態である。また、人骨のすべてに赤色顔料が付着している。

#### 1. 頭蓋

脳頭蓋の破片が残存していたが、保存状態が悪く、部位の特定はできなかった。その他に上顎骨と下顎骨のごく一部が残存していた。遺存状態が悪く、頭型や顔面の形態的特徴は不明である。

#### 2. 歯

遊離歯が残存していた。残存歯を歯式で示すと、次のとおりである。

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

[番号は歯種]

[1:中切歯、2:側切歯、3:犬歯、4:第一小臼歯、5:第二小臼歯、6:第一大臼歯、7:第二大臼歯、8:第三大臼歯]

咬耗度はBrocaの2度(咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ)である。

#### 3. 四肢骨

##### (1) 上肢骨

肩甲骨、上腕骨、尺骨が残存していた。

##### ①肩甲骨

右側の関節窩後部と肩甲骨棘の基部部分が残存していたにすぎない。径は小さい。

##### ②上腕骨

左側の遠位端が残存していた。計測はできないが、骨体の径は小さい。

##### ③尺骨

左側骨体近位部の前面が残存していたにすぎない。

##### (2) 下肢骨

大腿骨のみが残存していた。



写真2 1号墳人骨出土状況

## ①大腿骨

両側の骨体が残存していた。骨体は乾燥による著しい変形と断割が認められる。骨体は著しく細い。粗線はほとんど隆起しておらず、骨体両側面の後方への発達もみられない。計測はできないが、骨体はかなり細い。

## 4. 性別・年齢

性別は、大腿骨体が著しく細いことから女性と推定した。年齢は不明であるが、咬耗がそれほど強くないことから推測するとすれば、それほど高齢ではなかったと思われる。

## 要 約

愛媛県松山市勝岡町乙935番105に所在する坂浪西1号墳の試掘確認調査が2021(令和3)年3月におこなわれ、内部主体の箱式石棺から人骨が1体出土した。人骨の保存状態は著しく悪く、残存量も少なかったが、人骨を解剖学的に精査し、人類学的観察をおこない、以下の結果を得た。

1. 坂浪西1号墳は直径約15mの円墳である。内部主体の箱式石棺から年齢不明の女性骨1体が検出された。
2. 本人骨は、考古学的所見より、古墳時代前期に属する人骨と推定されている。
3. 残存していた人骨すべてに赤色顔料が付着していた。
4. 遺存状態が著しく悪く、頭型や顔面の特徴は不明である。また、歯の咬耗度はBrocaの2度(咬耗がエナメル質のみ)で、咬耗は著しく強いものではない。
5. 比較的保存状態がよかったのは大腿骨であるが、骨体には乾燥による変形や亀裂がみられる。計測はできないが、骨体はかなり細く、粗線の発達もみられない。大腿骨の性状から推測すれば、この女性はきゃしゃで、小柄だったと思われる。

## ＜参考文献＞

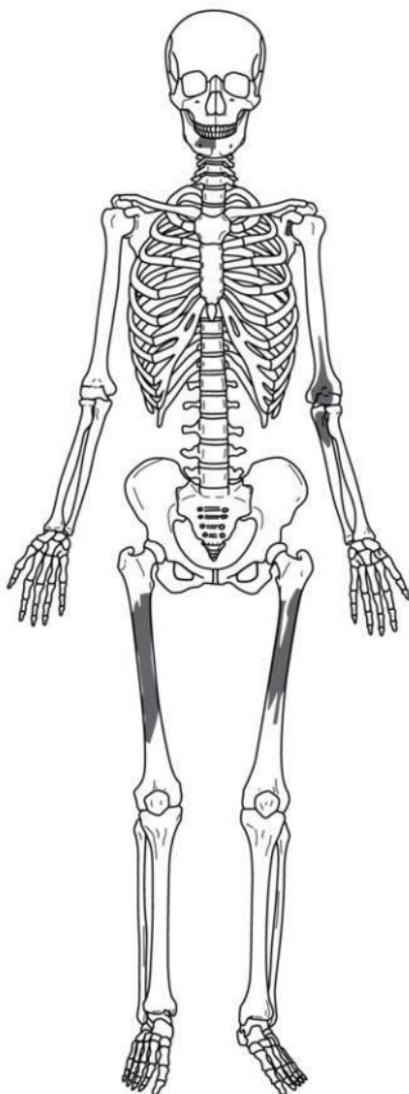
1. 公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター、2021、坂浪西1号墳試掘調査報告書、2021
2. 松下真実・他、2013：愛媛県今治市古谷犬山古墳出土の古墳人骨。古谷犬山古墳(埋蔵文化財発掘調査報告書第175)：26-31。
3. 松下真実・他、2014：愛媛県松山市三味線山古墳出土人骨。三味線山古墳・船ヶ谷向山古墳(松山市文化財調査報告書168)：80-91。
4. 松下真実・他、2017：愛媛県松山市東山郷が森古墳群2次調査出土の古墳・近世人骨。松山市埋蔵文化財調査年報29：61-72。
5. 松下真実・他、2018：鶴が峠遺跡出土の古墳人骨。松山市埋蔵文化財調査年報30：59-68。
6. 松下真実・他、2020：保存処理・三島神社古墳出土の人骨。松山市埋蔵文化財調査年報32：65-69。
7. 松下真実・他、2021：愛媛県松山市五郎兵衛谷7号墳出土の古墳人骨。五郎兵衛谷7号墳(松山市文化財調査報告書201)：27-34。
8. 松下真実・他、2021：愛媛県今治市新谷石ヶ谷古墳群出土の古墳人骨。ツノ古墳 新谷石ヶ谷古墳群(4号墳～7号墳)(愛媛県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第200集)：137-157。
9. 松下真実・他、愛媛県松山市瀬戸風峠出土の古墳人骨。(投稿中)
10. 松下真実・他、愛媛県松山市御座所11号墳出土の古墳人骨。(投稿中)

11. 松下真実・他、愛媛県松山市東山麓が森古墳群1次調査出土の古墳・近世人骨。(投稿中)
12. 松下真実・他、愛媛県松山市吉照遺跡出土の古墳人骨。(投稿中)
13. 松下真実・他、愛媛県松山市久万ノ台古墳出土の人骨。(投稿中)
14. 松下真実・他、愛媛県松山市天山2号墳出土の古墳人骨。(投稿中)
15. 松下真実・他、愛媛県松山市久米タナチ山1号墳出土の古墳人骨。(投稿中)
16. 松下真実・他、愛媛県松山市三島神社古墳出土の人骨。(投稿中)
17. 松下真実・他、愛媛県松山市大峰ヶ台遺跡第5次調査(客谷古墳B地区)出土の古墳人骨。(投稿中)
18. 松下真実・他、愛媛県松山市高田遺跡(桜之原14号墳)出土の古墳人骨。(投稿中)
19. 松下真実・他、愛媛県松山市祝谷大地ヶ台遺跡8次調査出土の古墳人骨。(投稿中)
20. 松下孝幸、1996:土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査出土の中世・弥生時代人骨。土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第12集):24-50.
21. 松下孝幸、他、1995:愛媛県今治市相の谷古墳群出土の古墳時代人骨。相の谷古墳群杉谷支群埋蔵文化財発掘調査報告書(埋蔵文化財発掘調査報告書第57集):41-54.
22. 松下孝幸、1998a:愛媛県松山市宮前川北斎院遺跡出土の古墳時代人骨。斎院・古照-新松山空港道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書(遺物編):525-531.
23. 松下孝幸、1998b:愛媛県伊予市原池遺跡出土の人骨。四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ伊予市編:175-180.
24. 松下孝幸、2000:愛媛県今治市二の谷2号墳出土の古墳時代人骨。且遺跡・宮之前遺跡・長沢石打遺跡・長沢1号墳・長沢6号墳・二の谷2号墳・鉄又古墳群・郷桜井西塚古墳(一般国道196号今治バイパス埋蔵文化財調査報告書Ⅳ)(埋蔵文化財発掘調査報告書第87集):232-249.
25. 松下孝幸、2001:香川県坂出市鶴ヶ峰古墳出土の人骨。坂出市内遺跡発掘調査報告書(平成12年度国庫補助事業報告書 鶴ヶ峰古墳、讃岐国府跡(間法寺遺跡)、讃岐国府跡):27-48.
26. 松下孝幸、2006a:松山市客谷古墳群出土の古墳人骨。大峰ヶ台遺跡Ⅲ(松山市文化財調査報告110):143-150.
27. 松下孝幸、2006b:香川県善通寺市柳池西手山頂墳3号出土の古墳人骨。善通寺市内発掘調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ:64-71.
28. 松下孝幸、2006c:猪の窪古墳人骨。伊予市の歴史文化、第54号:18-27.
29. 松下孝幸・他、2017:愛媛県今治市鳥越1号墳出土の古墳人骨。鳥越1号墳(埋蔵文化財発掘調査報告書第191集):66-68.
30. 松下孝幸・他、愛媛県今治市馬島長山1号墳出土の古墳人骨。(投稿中)

---

\* Masami MATSUSHITA、\*\* Takayuki MATSUSHITA

The Organization of Anthropological Research [特定非営利活動法人 人類学研究機構]



坂浪西1号墳(女性・年齢不明)

図2 人骨の残存図(アミかけ部分)

(Fig.2 Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)



歯 (The teeth)



頭蓋 (The skull)

写真3 坂浪西1号墳(女性・年齢不明)

(The skeleton from the Sakanaminishi Tumulus No.1, female unknown age)



左側上腕骨・大腿骨 (The left humerus · The femur)

写真 4 坂浪西 1 号墳 (女性・年齢不明)  
( The skeleton from the Sakanaminishi Tumulus No.1, female unknown age )

Ⅳ 令和4年度  
普及啓発事業

## 令和4年度 普及啓発事業

当埋蔵文化財センターは、松山市内における遺跡の発掘調査を行うとともに、出土遺物や記録資料などを整理・保管している。発掘調査終了後は、随時現地説明会を開催するとともに発掘調査報告書を刊行することにより、広く一般に公開している。

また、附属の松山市考古館は、地域文化の発展・向上並びに調査研究活動の振興を図ることを目的として設置されたものであり、展示会・講演会・体験学習を開催するなど、市民一人ひとりの生涯学習を支援しながら、埋蔵文化財保護の普及啓発に努めている。

- |         |             |               |
|---------|-------------|---------------|
| 1. 展示活動 | 2. 教育普及活動   | 3. 収集・保管・育成活動 |
| 4. 出版活動 | 5. 資料の貸出・調査 | 6. 考古館月別入館者数調 |

一方、埋蔵文化財センターに隣接して設置している文化財情報館は、松山市内で出土した文化財資料を整理・保管し、その活用を図るとともに市民に開かれた歴史学習の場としての充実を図り、埋蔵文化財センター及び考古館と一体となって埋蔵文化財保護施設として有機的な活用を図ることを目的としている。

### 1. 展示活動

常設展示室は、「海を媒介とした文化交流の中継地点としての伊予文化の独自性と、そこに生きた人々の姿」を解明し、「見る」「聞く」「触れる」「考える」を展示の基本コンセプトとした立体的な展示を心がけている。展示品は、松山平野で出土した考古資料約600点である。常設展示室に隣接した特別展示室では、5回の展示会・特別展を開催した。加えて、ロビー等でスポット展示を開催した。

#### (1) 四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展

「四国の風土と暮らし～山と人々～」(表1・2・5、写真1・2)

展示会は、四国内の埋蔵文化財センター5団体が合同で開催し、新たに平成31年度から4か年計画で実施している巡回展で、今年度は4年目にあたる。参加4団体が発掘調査した出土遺物を持ち寄り、今までに蓄積された情報を提供・交換することによって、観覧者の方々に埋蔵文化財の重要性を認識していただくことを目的としている。今年度は、山と人々をテーマに展示・紹介した。関連事業として講演会・展示解説会を実施し、参加者は延べ2,119人であった。

#### (2) 愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」(表1・2・3、写真3～7)

(ア)「掘ったぞな松山2022」(表1・2・5、写真3・4)

松山市内の発掘調査成果の展示会

(イ)「いにしへのえひめ」(表1・2・5、写真5～7)

松山市内の遺跡を除く、愛媛県内の発掘調査成果の展示会

展示会は、公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センターと当埋蔵文化財センターが連携して「掘ったぞな松山2022」と「いにしへのえひめ」の2回開催した。いずれの展示会も前年度に松山市内や愛媛県内で発掘調査した遺跡と出土品、発行した報告書の成果をいち早く市民に紹介し、松山・愛媛の古

代史や埋蔵文化財への興味・関心を深める機会を提供することを目的に実施した。さらに関連事業として、各展示会で講演会や報告会、松山市内で親子発掘現地見学会を実施した。展示会・講演会等の参加者は延べ2,625人（掘ったぞな松山2022 1,231人・いにしへのえひめ 1,394人）であった。

(3) 特別展（表1～3・5、写真8～12）

- (ア) 愛媛大学包括連携事業 特別企画展「愛大発掘～すごいぞ！文京遺跡～」(表1・2・5、写真8・9)  
 (イ) 「古墳時代のヤマト～奈良県唐古・鍵遺跡から纏向遺跡へ～」(表1・2・5、写真10～12)

特別展は、考古館最大の事業であり、県内外の貴重な遺物を借用し、系統的に紹介するものである。

展示会は2回開催し、開催期間の前期には、愛媛大学と当埋蔵文化財センターが連携して、愛媛大学包括連携事業 特別企画展「愛大発掘～すごいぞ！文京遺跡～」と題し、これまで愛媛大学と当埋蔵文化財センターが発掘調査してきた文京遺跡の出土品を一堂に会した展示会を実施した。

開催期間の後期では、奈良県桜井市・田原本町と連携して「古墳時代のヤマト～奈良県唐古・鍵遺跡から纏向遺跡へ～」と題し、邪馬台国時代の奈良県磯城郡を中心とした地域と同時代の松山市内の遺跡と出土品を展示した。さらに期間中に各種の関連事業（講演会・ギャラリートーク・ディスカッション・展示解説会等）を実施した。展示会・講演会等の参加者は延べ2,183人（愛大発掘 685人・古墳時代のヤマト 1,498人）であった。

(4) 松山市考古館ロビー展（表1、写真13～17）

来館者に対して、より多くの情報を提供する目的から、「発掘情報展」（8回）、「2022 Kid's 考古学新聞コンクール全国巡回展」（1回）、「大連古代進展」（1回）、「大きな写真展」（1回）を開催した。

## 2. 教育普及活動

教育普及活動は、市民を対象に埋蔵文化財保護の普及啓発を目的とした講演会・体験学習・考古学講座などを開催し、職員の資質・技術向上を目的とした研修等に参加した。

(1) 講演会・展示解説会・考古学講座等（表2・5、写真2・4・6・7・9・11・12）

展示会に関連した講演会・展示解説会・報告会等を計12回開催し、延べ335人の参加者があった。

(2) 考古学リレー講座（表2・5、写真18・19）

講座は、考古学や松山の歴史に興味と関心をもっていただくことを目的に実施し、愛媛県教育委員会や愛媛県埋蔵文化財センター、松山市役所、当センターの職員がスライドで詳しく解説し、出土品の実見を実施した。講座は6月以降、各月に1回・計10回（館外見学2回含む）を実施し、延べ297人の参加があった。

(3) まつやまの歴史を学ぼう（表2・5、写真22）

講座は、市民の方々に広く松山の歴史や遺跡、文化等を通じて、地域の魅力を再発見する機会を提供することを目的に、外部講師4人と当館館長1人が実施し、延べ75人の参加があった。

(4) 親子考古学教室（表2・5、写真20・21）

教室は、小学生に松山の歴史や考古学に興味や関心をもっていただくことを目的に、夏休み期間中の7月に2回、8月に1回、12月に1回の合計4回実施し、延べ72人の参加があった。教室内容は、考古館や埋蔵文化財センターの仕事についての解説や展示室・バックヤードの案内・模擬発掘体験を実施した。

**(5) 古代体験教室 (表3、写真23)**

古代の「もの作り」を体験することで、古代人の知恵や工夫を学ぶことを目的とした体験教室である。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため古代体験教室の内容を変更（一部中止もあり）して実施した。また、令和2年度から引き続き、古代体験キット5種類（石勾玉を作ろう、古代の技術を学ぼう～合金編～銅鐸・銅鏡・銅鏡、ふんどう君ペンダント作り）を製作し、考古館受付で販売した。

古代体験教室の内容は、一部内容を変更しながらも①「石勾玉を作ろう」、②「古代の技術を学ぼう～合金編～」の6種類、③「ふんどう君ペンダント作り」、④「火おこし体験（麻紐をほどこき、燃料火口にして、団扇で空気を送るに変更）」、⑤「ねんどで土器づくり」、⑥「火おこし体験」を実施し、3,045人の参加があった。なお、「マリングラスづくり」・「染物体験」・「拓本下敷」は新型コロナウイルス感染症防止対策のために中止した。

**(6) 遺跡見学会 (表4、写真7・19)**

考古学リレー講座で2回・延べ57人の参加、愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」親子発掘現地見学会で1回・15人、合計72人の参加があった。

**(7) 体験学習 (団体来館) (表5)**

団体来館は、60件、延べ2,037人の来館があった。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、来館予定であったが急遽キャンセルされた団体が6件あった。

常設展示室・特別展示室・ロビー展示等の施設見学を行うとともに、火おこし体験などにより、身近に感じながら歴史を学習した。新型コロナウイルス感染症防止対策のため、土器パズル・古代衣裳の着付け体験は中止し、職員による説明と見学を実施した。

**(8) 発掘調査現地説明会 (表6)**

遺跡の発掘現場見学を通して、市民が埋蔵文化財に対する興味や関心をより一層持ってもらうために開催するものである。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のために市民向けの現地説明会は実施していない。

**(9) 職場体験 (表7・9)**

中学校・高等学校・大学等で教育の一環として実施されている「職場体験学習」や「インターンシップ」を受託している。今年度は、職場体験では、中学校6校より生徒延べ32人を受け入れ、考古館の普及啓発業務等を体験した。ほか、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、来館予定であったが延期1件・キャンセル2件があった。さらに、中学校1校（松山市立西中学校）に赴いて、学芸員紹介を考古学出前講座として実施した。

**(10) 博物館学芸員実習 (表8)**

平成6年度から博物館学芸員資格の取得を希望する学生に対し、学芸員実習を行っている。当年度は、問い合わせはなく、実施していない。

**(11) 出前考古学教室 (表9・写真24)**

館外での主催事業は3件・参加者数72人。考古館出前講座では、各学校からの要請を受けて、小・中・高等学校・大学、児童クラブ、放課後等デイサービス・公民館などに赴いている。今年度は、67件・5,295人の参加者であった。

今年度の出前講座と館外事業の合計数は、70件で参加者数は5,367人であった。

#### (12) 職員研修・会議（表10）

文化庁主催の「公開承認施設担当者会議」をはじめとして、全国埋蔵文化財法人連絡協議会等の研修・会議、奈良文化財研究所主催の文化財担当者専門研修に参加し、職員の資質ならびに技術の向上と業務の円滑な推進を図っている。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、オンライン実施、資料送付などに変更の研修会議があった。職員研修等はオンラインを含み7件に出席し、参加者数は9人であった。

### 3. 収集・保管・育成活動

#### (1) 大連古代蓮の育成（表1、写真17）

平成10年4月に松山市農業指導センターから古代蓮の株を譲り受け、考古館の玄関先で育成している。この蓮は、平成8年1月、松山市に中国大連市の観光訪問団から寄贈された大連市の遺跡出土の約千年前の蓮の種子から発芽したものを育成している。今年度は6月8日～8月30日までの間に118輪開花した。

#### (2) 古代米の育成（表1）

考古館の玄関前で赤米を育成した。

### 4. 出版活動（表11・12）

考古館主催の展示会・講演会などを開催するに先立ち、多くの観覧者を募るために展示会5件で印刷物（ポスター・チラシ）・展示会解説書・リーフレットを作成した。さらに、発掘調査の成果を公開する『松山市埋蔵文化財調査年報』1冊、『松山市文化財調査報告書』4冊を刊行した。

さらに、考古館主催の展示会・講演会等の広報・イベント参加の募集活動は、市広報誌「広報まつやま」・財団情報誌「きやめりあ」、財団及び考古館のホームページ、考古館のブログ「ふんどう君通信」・ツイッター等で実施した。

### 5. 資料の貸出・調査（表13・14）

各博物館や教育委員会主催事業への出展や、研究者からの資料調査の要望などに応じ、貸出20件と資料調査16件の利用があった。

### 6. 考古館月別入館者数調（表15）

## 普及啓発事業

表1 展示会一覧

No.	展示会名	期 間	日数	会 場	観覧者数 (人)	
1	西国地区歴史文化財センター発掘へんろ展 「西国の風土と暮らして山と人々へ」	令和4年4月29日(金祝)～7月10日(日)	62	特別展示室	2,080	
2	愛媛県・松山市連携事業 「古代よ発掘まつり」	① 「掘ったぞな松山2022」 令和4年7月16日(土)～8月28日(日)	37	特別展示室	1,115	
		② 「いにしへのえひめ」 令和4年9月3日(土)～11月6日(日)	56		1,322	
3	愛媛大学包括連携事業令和4年度特別企画展 「愛大発掘～すいぞい! 文京道跡～」	令和4年12月3日(土)～令和5年1月15日(日)	33	特別展示室	619	
4	令和4年度 特別展「古墳時代のヤマト～奈良県唐古・鍵道跡から畿内道跡へ～」	令和5年2月11日(土)～3月19日(日)	31	特別展示室常設 展示室一部	1,285	
5	発掘情報展 ロビー展	① 「萩谷アイリ道跡2次調査の成果」 令和4年4月1日(金)～4月24日(日)	21	ロビー	617	
		② 「松山城三之丸跡24・25次調査の成果」 同年4月26日(火)～7月10日(日)	65	ロビー	4,283	
		③ 「収蔵考古資料展」同年7月12日(火)～10月29日(土)	94	ロビー	3,156	
		④ 「3世紀の土器」同年11月1日(火)～11月2日(水)	2	ロビー	30	
		⑤ 「松山城三之丸跡26・27次調査の成果」 同年11月23日(水)～令和5年1月29日(日)	72	ロビー	1,655	
		⑥ 「桑原道跡8次調査の成果」 令和5年1月31日(火)～3月31日(金)	50	ロビー	2,240	
		⑦ 「ポスターでみかえる考古館の展示」 令和5年1月26日(木)～2月5日(日)	10	特別展示室	131	
		⑧ 「ポスターでみかえる考古館の展示Ⅱ」 令和5年3月24日(金)～3月31日(金)	7	特別展示室	156	
6	2022 Kids考古学新聞コンクール 全国巡回展	令和4年8月2日(火)～8月31日(水)	25	ロビー	954	
7	大きな写真展	令和4年11月9日(水)～11月23日(水)	13	特別展示室	259	
8	大連古代道の育成と展示会	開花期間：同年6月8日(水)～8月30日(水)	51	玄関前	—	
		展示 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)	302	ロビー	12,029	
9	古代米の育成	令和4年4月14日(木)～9月1日(木)	119	玄関前	—	
			合計(日数)	1,050	合計(人数)	32,031

表2 教育普及活動一覧(考古学講座・講演会等)

(1)

No.	事業名	開催日	会場	講師(敬称略)/所属等	聴講者数(人)
1	第4回西国地区歴史文化財センター 発掘へんろ展 「西国の風土と暮らして山と人々へ」	展示解説会 令和4年6月18日(土)	講堂	石貫弘泰/愛媛県歴史文化財センター	21
		講演会 7月9日(土)	講堂	百藤久士/愛媛県歴史文化財センター	39
2	愛媛県・松山市連携事業 「古代よ発掘まつり」 「掘ったぞな松山2022」	講演会 7月16日(土)	講堂	石岡ひとみ/ 愛媛県教育委員会(専門学芸員)	18
		講演会 7月16日(土)	講堂	柴田昌児/愛媛大学歴史文化財調査室長	21
		報告会① 7月30日(土)	講堂	河野史知/当センター	19
			講堂	浅井茂之/当センター	
			講堂	石貫隆子/愛媛県歴史文化財センター	
		報告会② 8月20日(土)	講堂	相原浩二/当センター	20
	講堂	西村直人/松山市役所(公園緑地課)			
3	愛媛県・松山市連携事業 「古代よ発掘まつり」 「いにしへのえひめ」	報告会 9月10日(土)	講堂	青木聡志/ 愛媛県歴史文化財センター	19
		講演会 10月8日(土)	講堂	池尻伸吾/ 愛媛県歴史文化財センター	57
			講堂	山内 謙/伊予史談会会長	
3	愛媛大学包括連携事業 令和4年度特別展(特別企画展) 「愛大発掘～すいぞい! 文京道跡～」	講演会 12月11日(日)	講堂	吉田 広/愛媛大学ミュージアム教授	24
		ギャラリートーク 午前の部 12月15日(日)	展示室	柴田昌児/愛媛大学歴史文化財調査室長	5
		ギャラリートーク 午後の部 12月18日(日)	展示室	柴田昌児/愛媛大学歴史文化財調査室長	3

## 普及啓発事業

教育普及活動一覧（考古学講座・講演会等）

(2)

No.	事業名	開催日	会場	講師（敬称略）/所属等	聴講者数（人）	
3	愛媛大学包括連携事業 令和4年度特別展「特別企画展」 「愛大発掘～こころいざ！文京道跡～」	ディスカッション 令和5年1月8日（日）	講堂	吉田 広/愛媛大学ミュージアム教授	34	
				柴田昌晃/愛媛大学埋蔵文化財調査室長		
				梅木謙一/当館館長		
4	令和4年度特別展 「古墳時代のマツト～奈良県唐古・ 藤原寺から縄向道跡へ～」	シンポジウム 2月18日（土）	講堂	藤田三部/田原本町埋蔵文化財センター長	60	
				橋本輝彦/坂井市邁向学研究所センター統括研究員		
		展示解説会 3月18日（土）	講堂	小玉亜紀子/当センター	53	
5	考古学リレー講座 「発掘 松山の道跡」	① 令和4年6月4日（土）	講堂	西村直人/松山市役所（公園緑地課）	34	
		② 7月2日（土）	湯築城	神石那/湯築城資料館	27	
		③ 8月6日（土）	講堂	持永壮志朗/愛媛県教育委員会	30	
		④ 9月24日（土）	松山城	梅木謙一/当センター/現地見学会	30	
		⑤ 10月1日（土）	講堂	竹政俊一/当センター	31	
		⑥ 11月5日（土）	講堂	石貫弘泰/愛媛県埋蔵文化財センター	29	
		⑦ 12月3日（土）	講堂	山内英樹/松山市役所（保健学防課）	29	
		⑧ 令和5年1月14日（土）	講堂	梅木謙一/当館館長	25	
		⑨ 2月4日（土）	講堂	新原佑典/渡部浩史/当センター	30	
6	親子考古学教室	① 令和4年7月24日（日）	講堂 他	当センター 職員	19	
		② 7月31日（日）		当センター 同上	19	
		③ 8月7日（日）		当センター 同上	21	
		④ 12月4日（日）		当センター 同上	13	
7	古代体験教室 「石勾玉を作ろう」午前の部	① 8月11日（木）	講堂	当センター 同上	30	
		② 8月11日（木）		当センター 同上	26	
8	まつやまの歴史を学ぼう	① 令和4年10月23日（日）	講堂	斎園賢知雄/愛媛県埋蔵文化財センター理事長	18	
		② 10月30日（日）		梅木謙一/当館館長	15	
		③ 11月13日（日）		講堂	花岡直樹/愛媛県建築士会	14
		④ 11月20日（日）		講堂	竹田英典/松山市立子規記念博物館館長	16
		⑤ 11月27日（日）		講堂	大本敬夫/愛媛県歴史文化博物館（専門学委員）	12
合計 34回					835	

表3 教育普及活動一覧（古代体験教室）

(1)

No.	事業名	日時	団体名等	参加者数（人）
1	石勾玉を作ろう	① 令和4年 4月	受付で販売	8
		② 5月		6
		③ 6月		11
		④ 7月		17
		⑤ 8月		32
		⑥ 9月		10
		⑦ 10月		5
		⑧ 11月		10
		⑨ 12月		2
		⑩ 令和5年 1月		6
		⑪ 2月		9
		⑫ 3月		11

## 普及啓発事業

## 教育普及活動一覧（古代体験教室）

(2)

No.	事業名	日時	団体名等	参加者数(人)		
1	石臼玉を作ろう	来船 団体	(1) 令和4年 7月 7日(木)	岡山県立高島中学校	2	
			(2) 8月 5日(金)	東雲第2児童クラブ	20	
			(3) 8月 11日(木)	古代体験教室(午前 23人・午後 20人)	43	
			(4) 8月 17日(水)	エンゼル学園	40	
			(5) 9月 30日(金)	高松市立国分寺中学校	26	
			(6) 10月 19日(水)	清美平成中等教育学校 午前	70	
			(7) 10月 19日(水)	清美平成中等教育学校 午後	65	
			(8) 10月 25日(火)	愛知県立武豊高等学校	29	
			(9) 11月 12日(土)	北条ふるさと館	15	
			(10) 11月 17日(木)	広尾学園 小石川高校	中止	
			(11) 12月 7日(水)	文化学園大学 杉並高校	33	
			(12) 令和5年 2月 9日(木)	松山市立藤成小学校	13	
			(13) 2月 25日(土)	児童発達支援 放課後等デイサービスてらす美沢	5	
			(14) 3月 7日(火)	おおざら高等学院 松山キャンパス	50	
			(15) 令和4年 7月 28日(木)	味牛第二児童クラブ	108	
			(16) 8月 9日(火)	たちばな児童クラブ	17	
			(17) 8月 23日(火)	民間学童保育 Kids Home HIMAWARI	28	
			(18) 10月 20日(木)	松山市立みどり小学校	23	
	(19) 10月 29日(土)	松山市立城西中学校	20			
	(20) 11月 3日(木)	愛媛県総合教育センター	18			
	(21) 11月 18日(金)	松山市立西中学校	29			
	(22) 令和5年 1月 15日(日)	放課後等デイサービス マルクスコウはなみずき教室	9			
	(23) 3月 26日(日)	放課後等デイサービス マルクスコウ山越	14			
	(24) 3月 28日(火)	放課後等デイサービス アソシエ	19			
	2	マリンガラス作り	(1) 令和4年 9月 25日(日)	味牛児童館 わくわくタイム	10	
	3	古代の技術を学ぼう ～合金編・銅鉄～	来船 個人	(1) 令和4年 4月		2
				(2) 5月		1
				(3) 6月		7
				(4) 7月		3
				(5) 8月		7
				(6) 9月	受付で販売	4
				(7) 10月		2
				(8) 11月		2
				(9) 12月		0
(10) 令和5年 1月					4	
(11) 2月					5	
(12) 3月					4	
古代の技術を学ぼう ～合金編・銅鉄～		来船 個人	(1) 令和4年 4月		3	
			(2) 5月		0	
			(3) 6月		10	
			(4) 7月		8	
			(5) 8月		4	
			(6) 9月	受付で販売	5	
			(7) 10月		7	
			(8) 11月		1	
			(9) 12月		0	
			(10) 令和5年 1月		7	
			(11) 2月		8	
			(12) 3月		5	
古代の技術を学ぼう ～合金編・銅鉄～	団体	(1) 令和4年 8月 5日(金)	東雲第2児童クラブ	28		
		(2) 8月 18日(木)	エンゼル学園	30		
		(3) 9月 3日(土)	愛媛大学ジュニアドクター育成塾	43		
	出前 団体	(1) 令和4年 7月 23日(土)	余戸亀寿クラブ	24		
		(2) 8月 4日(木)	余戸地区まちづくり協議会	12		
	古代の技術を学ぼう ～合金編・銅鉄～	来船 個人	(1) 令和4年 4月		1	
			(2) 5月		1	
			(3) 6月		4	
			(4) 7月		14	
			(5) 8月		2	
(6) 9月			受付で販売	14		
(7) 10月				0		
(8) 11月				2		
(9) 12月				1		
(10) 令和5年 1月				5		
(11) 2月				0		
(12) 3月				4		
出前 団体			(1) 令和4年 7月 20日(木)	雙龍公民館	40	
			(2) 令和5年 2月 22日(木)	松山市立みどり小学校	23	
			(3) 2月 26日(日)	生涯学習ふれあいフェスタ 2023	50	

## 普及啓発事業

教育普及活動一覧（古代体験教室）

(3)

No.	事業名	日時	団体名等	参加者数(人)					
4	ふんどう君ペンダント作り	個人	① 令和4年 4月		0				
			② 5月		3				
			③ 6月		5				
			④ 7月		12				
			⑤ 8月		19				
			⑥ 9月		0				
			⑦ 10月		2				
			⑧ 11月		3				
			⑨ 12月		1				
			⑩ 令和5年 1月		5				
			⑪ 2月		2				
			⑫ 3月		2				
		団体	⑬ 令和4年 11月19日(土)	伊予市立礼谷小学校 放課後子ども教室	6				
			⑭ 令和5年 1月 5日(木)	たもびな第2児童クラブ	中止				
			⑮ 3月23日(木)	放課後等デイサービス まりも	10				
			⑯ 3月25日(土)	放課後等デイサービス あすも	3				
		出前	団体	⑰ 令和4年 7月28日(木)	瑞生第二児童クラブ	50			
				⑱ 令和5年 2月26日(日)	生涯学習ふれあいフェスタ2023	50			
		5	染物体験	中止		中止	—		
		6	ねんどで土器作り	出前	団体	① 令和4年 7月29日(金)	金戸地区まちづくり協議会	24	24
		7	拓本下書き	中止		中止	—		
		8	火おこし体験	個人	中止		中止	—	
団体	① 令和4年 6月 2日(木)				松山市立味酒小学校	139			
	② 6月18日(土)				放課後等デイサービス コロコロキッズ	14			
	③ 8月 3日(水)				放課後等デイサービス ビーターパンたかおか	18			
	④ 8月 9日(火)				放課後等デイサービス キート松山南クラス	16			
	⑤ 9月 1日(木)				ビーターパン いずみ	17			
	⑥ 9月29日(木)				久万高原町立久万明徳小学校	22			
	⑦ 10月 4日(火)				松山市立小野小学校	176			
	⑧ 令和5年 1月21日(土)				放課後等デイサービス ボルテ	11			
	⑨ 2月12日(日)				ポイスカウト第28団	9			
	⑩ 2月21日(火)				砥部町立砥部小学校	38			
	⑪ 2月28日(火)				松山市立余土小学校	146			
	⑫ 3月 2日(木)			松山市立みどり小学校	96				
	⑬ 3月 3日(金)			松山市立反葉小学校	105				
	⑭ 3月 8日(水)			松山市立伊台小学校	72				
	⑮ 3月 9日(木)			松山市立藤山小学校	90				
	⑯ 3月14日(火)			松山市立さくら小学校	135				
	⑰ 3月25日(土)			放課後等デイサービスあすも	6				
	出前			団体	⑱ 令和4年 6月 1日(水)	松山市立久米小学校	157		
⑲ 6月 9日(木)					松山市立藤江小学校	110			
⑳ 6月28日(火)					松山市立浮穴小学校	82			
㉑ 7月20日(水)					藤成公民館	32			
㉒ 9月15日(木)					松山市立みどり小学校	22			
㉓ 9月30日(金)					雲鏡公民館(雲鏡小学校)	16			
㉔ 令和5年 3月 9日(木)					松山市立みどり小学校	24			
㉕ 3月10日(金)					新田高等学校	79			
総合計					3,059				

表4 教育普及活動一覧（遺跡見学会）

No.	事業名	日時	内容	参加者数(人)
1	考古学リレー講座② 現地見学会	令和4年 7月 2日(土) 10:00～11:30	湯築城資料館見学、講話「伊予守護の室」	27
2	考古学リレー講座③ 現地見学会	令和4年 9月24日(土) 10:00～11:30	松山城三之丸跡36次・27次調査	30
3	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」 親子発掘現地見学会	令和4年 10月15日(土) 10:00～11:30	辻町遺跡4次調査	15
合 計				72

## 普及啓発事業

表5 教育普及活動一覧(体験学習・主催事業来館・団体来館) (1)

No.	学校名・団体名	学 年	日 時	内容 / ( ) は体験人数	参加者数 (人)
1	考古学リー講座「発掘 松山の至宝」①	—	令和4年6月4日(土)	松山城の沿革と三之丸跡発掘の概要	34
2	発掘へんろ展 展示解説会	—	6月18日(土)	展示解説会	21
3	発掘へんろ展 講演会	—	7月9日(土)	「発掘の基礎」	18
4	愛媛県・松山市連携事業 「掘ったぞな松山2022」講演会	—	7月16日(土)	「道後城北道路群の動態-祝谷から文京へ、そして若原へ-」	21
5	親子考古学教室①	—	7月24日(日)	講話/館内案内/機関発掘体験/合金みがきミニ 演説(19人)	20
6	愛媛県・松山市連携事業 「掘ったぞな松山2022」報告会①	—	7月30日(土)	清水町道路3次調査の調査成果、祝谷アイリ道路2 次調査の調査成果、北町道路4次調査の調査成果	19
7	親子考古学教室②	—	7月31日(日)	講話/館内案内/機関発掘体験/合金みがきミニ 演説(19人)	19
8	考古学リー講座「発掘 松山の至宝」③	—	8月6日(土)	「礼所寺院を語る」	30
9	親子考古学教室③	—	8月7日(日)	講話/館内案内/機関発掘体験/合金みがきミニ 演説(21人)	21
10	古代体験教室「石勾玉作り」	—	8月11日(木)	午後の部(23人)	30
11	古代体験教室「石勾玉作り」	—	8月11日(木)	午後の部(20人)	26
12	愛媛県・松山市連携事業 「掘ったぞな松山2022」報告会②	—	8月20日(土)	若草町道路3次調査の調査成果、松山城三之丸跡24 次、25次調査の調査成果、松山城跡の整備について	20
13	愛媛県・松山市連携事業 「いにしへのよみめ」報告会	—	9月10日(土)	別名倉下道路の発掘調査成果/北竹ノ下1・II道 路・桜井道路の発掘調査成果	19
14	考古学リー講座「発掘 松山の至宝」④	—	10月1日(土)	「古代史の中の松山」	31
15	愛媛県・松山市連携事業 「いにしへのよみめ」講演会	—	10月8日(土)	「文京からみた中世の今治平野について」	38
16	まつやまの歴史を学ぼう①	—	10月23日(日)	「考古学から見た法隆寺の創建と再建」	18
17	まつやまの歴史を学ぼう②	—	10月30日(日)	「新島台開拓時代の伊予-朝日谷2号墳と御珠四地蔵道」	15
18	考古学リー講座「発掘 松山の至宝」⑤	—	11月5日(土)	「松山平野の鉄製農具と農耕社会の展開」	29
19	まつやまの歴史を学ぼう③	—	11月13日(日)	「明治-大正期のまつやまの洋風建築」	14
20	まつやまの歴史を学ぼう④	—	11月20日(日)	「原本「万葉集」古注「一書」と「伊予国風土記」編纂」	16
21	まつやまの歴史を学ぼう⑤	—	11月27日(日)	「愛媛の祭りと郷土芸能」	12
22	考古学リー講座「発掘 松山の至宝」⑦	—	12月3日(土)	「新発見の箱式石棺の意義」	29
23	親子考古学教室④	—	12月4日(日)	講話/バックヤードツアー/機関発掘体験	13
24	愛媛大学包括連携事業 特別展 「愛大発掘-すこいぞ! 文京道路-」 講演会	—	12月11日(日)	「平形銅剣はどこで作られたのか」	24
25	愛媛大学包括連携事業 特別展 「愛大発掘-すこいぞ! 文京道路-」 ギャラリートーク	—	12月18日(日)	午後の部	5
26	愛媛大学包括連携事業 特別展 「愛大発掘-すこいぞ! 文京道路-」 ギャラリートーク	—	12月18日(日)	午後の部	3
27	愛媛大学包括連携事業 特別展 「愛大発掘-すこいぞ! 文京道路-」 ダンスワークショップ	—	令和5年1月8日(日)	「文京道路の実態」	34
28	考古学リー講座「発掘 松山の至宝」⑧	—	1月14日(土)	「松山の発生時代」	25
29	考古学リー講座「発掘 松山の至宝」⑨	—	2月4日(土)	「土偶、人形、分銅形土製品」「高地性集落は「豊国」 の道路か?」	30
30	特別展「古墳時代のヤマト-奈良編 語り-難道路から難向道路へ-」 シンポジウム	—	2月18日(土)	「早稲穂の国を探る-新島台開拓時代のイヨとヤマト-」	60
31	考古学リー講座「発掘 松山の至宝」⑩	—	3月4日(土)	「狩る・煮る・食べる-旧石器-縄文の生活誌」	32
32	特別展「古墳時代のヤマト-奈良編 語り-難道路から難向道路へ-」 展示解説会	—	3月18日(土)	展示解説会	53
1	学習プラン	—	令和4年4月1日(金)	館内見学	9
2	西遊旅行	—	4月15日(金)	館内案内(粟佐池古墳見学後来館)	6
3	松山市立味酒小学校	6年生	6月2日(木)	館内案内・火おこし体験	139
4	松山市立味酒第二小学校	3年生	6月3日(金)	館内案内	15
5	松前歴史談会	—	6月11日(土)	館内案内・差の説明	5
6	石打旬会	—	6月11日(土)	館内案内	9
7	愛媛県立松山盲学校	—	6月16日(木)	館内案内・差の説明	2
8	放課後等デイサービス カロカロキッズ 二之丸会館	中1~高3	6月18日(土)	館内案内・火おこし体験	14
9	二之丸会館	—	6月23日(木)	館内見学	13
10	岡山県立高島中学校	—	7月7日(木)	館内案内・石勾玉作り	2
11	軽井沢旬会	—	7月10日(日)	館内見学	10
12	放課後等デイサービス はりえつて	—	7月29日(金)	館内案内	17

## 普及啓発事業

## 教育普及活動一覧(体験学習・主催事業来館・団体来館)

(2)

No.	学校名・団体名	学 年	日 時	内容 / ( ) は体験人数	参加者数 (人)
13	民間学童保育 キッズホームひまわり	1~6年生	8月2日(火)	館内案内	22
14	放課後等デイサービス ビーターパンパイズム	—	8月2日(火)	館内案内	19
15	放課後等デイサービス ビーターパンパイズム	—	8月3日(水)	館内案内・火おこし体験	18
16	業界第2児童クラブ	2年生	8月5日(金)	館内案内・鋼鐵(三角線神軌線 28人)・石勾玉	33
17	放課後等デイサービス ビーターパンパイズム	—	8月6日(土)	館内見学	10
18	慶応大学	2年生	8月7日(日)	館内案内	30
19	放課後等デイサービス せーと 松山南ヶ丘	—	8月9日(火)	館内案内・火おこし体験	16
20	伊予市立北谷小学校 放課後子ども教室	—	8月10日(水)	館内案内・ふんどし君ペンダント	中止
21	エンゼル学園	1~2年生	8月17日(水)	石勾玉作り	44
22	エンゼル学園	3年生以上	8月18日(木)	館内案内・鋼鐵(内行花文線 30人)	34
23	松山市立内宮中学校	2年生	8月25日(木)	職場体験	中止
			8月26日(金)	職場体験	中止
24	放課後等デイサービス ビーターパンパイズム	—	9月1日(木)	火おこし体験	17
25	愛媛県立松山北高校	2年生	9月1日(木)	調べ学習	5
26	愛媛大学 ジュニアアクトラー育成塾	—	9月3日(土)	館内案内・鋼鐵(三角線神軌線 43人)	51
			9月13日(火)	職場体験	4
27	松山市立西中学校	2年生	9月14日(水)	職場体験	4
			9月15日(木)	職場体験	4
			9月15日(木)	職場体験	2
28	松山市立桑原中学校	2年生	9月15日(木)	職場体験	2
			9月16日(金)	職場体験	2
29	松山市立建新中学校	2年生	9月16日(金)	職場体験	中止
30	南海園旅行	—	9月17日(土)	館内案内	11
31	社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会	—	9月21日(水)	館内案内	9
32	入万高野町立明徳小学校	—	9月29日(水)	館内案内・火おこし体験	22
33	高松市立国分寺中学校	—	9月30日(金)	館内案内・石勾玉作り	26
34	松山市立小野小学校	6年生	10月4日(火)	館内案内・火おこし体験	176
		中1(1~2組)	10月19日(水)	館内案内・石勾玉作り	70
35	済美平成中等教育学校	中1(4組)	10月19日(水)	館内案内・石勾玉作り	65
36	愛知昭立武蔵高等学校	2年生	10月25日(火)	館内案内・石勾玉作り	29
37	琉球観光旅行センター	—	11月9日(水)	館内案内	15
38	北条ふるさと館	—	11月12日(土)	館内案内・石勾玉作り	19
39	広尾学園 小石川高校	—	11月17日(水)	中止(館内案内・石勾玉作り)	中止
40	伊予市立北谷小学校 放課後子ども教室	1~6年生	11月19日(土)	館内案内・ふんどし君ペンダント	10
41	夢こう会	—	11月20日(日)	ロビー・展覧会	60
42	松山市立内宮中学校	2年生	11月25日(金)	職場体験	2
43	公民館 船長研修会	—	11月25日(金)	館内案内	55
44	文料者 職員	—	11月29日(火)	研修	1
45	中学生職場体験(教育委員会事業)	—	12月1日(木)	職場体験(社会教育について学べるコース)	中止
			12月2日(金)	職場体験	4
46	松山市立勝山中学校	2年生	12月5日(月)	職場体験	4
47	松山市立城西中学校	2年生	12月6日(火)	職場体験	3
			12月7日(水)	職場体験	3
48	文化学園 大学杉並高校	—	12月7日(水)	館内案内・石勾玉作り	35
49	福徳交遊センター 福徳会館の店舗広場アール	—	12月10日(土)	館内案内	15
50	たちばな第2児童クラブ	—	令和5年1月5日(木)	館内案内・ふんどし君ペンダント	中止
51	中西園日石器談話会	—	1月21日(土)	講堂使用	22
52	放課後等デイサービス ボルテ	—	1月21日(土)	館内案内・火おこし体験	11
53	松山市立藤波小学校	5~6年生	2月9日(木)	館内案内・石勾玉作り	15
54	ボーイスカウト第28団	—	2月12日(日)	館内案内・火おこし体験	9
55	砥部町立砥部小学校	6年生	2月21日(火)	館内案内・火おこし体験	38
56	児童発達支援放課後等デイサービスてらす美沢	—	2月25日(土)	石勾玉作り	8
57	松山市立土小小学校	5年生	2月28日(火)	館内案内・火おこし体験	146
58	松山市立みどり小学校	5年生	3月2日(木)	館内案内・火おこし体験	96
59	松山市立双葉小学校	5年生	3月3日(金)	館内案内・火おこし体験	105
60	北条公民館	—	3月7日(火)	館内案内	30
61	おおぞら高等学校 松山キャンパス	1~3年生	3月7日(火)	館内案内・石勾玉作り	70

## 普及啓発事業

教育普及活動一覧（体験学習・主催事業来館・団体来館）

(3)

No.	学校名・団体名	学 年	日 時	内 容 / ( ) は体験人数	参加者数 (人)
62	松山市立伊台小学校	5年生	3月8日(水)	館内案内・火おこし体験	72
63	松山市立徳山小学校	5年生	3月9日(木)	館内案内・火おこし体験	90
64	松山市立くら小学校	6年生	3月14日(火)	館内案内・火おこし体験	135
65	放課後等デイサービス まりも	—	3月23日(木)	館内案内・ふんどう君ペンダント	14
66	放課後等デイサービス あすも	—	3月25日(土)	館内案内・火おこし体験・ふんどう君ペンダント	6
				主催 予定分 32件	—
				実施分 32件	779
				団体来館 予定分 66件	—
				実施分 60件	2,037
				総合計 予定分 98件	—
				実施分 92件	2,816

表6 教育普及活動一覧（発掘調査現地説明会）

No.	遭跡名	日 時	遭跡の主な概要	見学者数 (人)
—	今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、開催なし		—	0
			合 計	0

表7 教育普及活動一覧（職場体験）

No.	学校名	学 年	日 時	内 容	参加者数 (人)
1	松山市立内宮中学校	2年生	令和4年8月25日(木) 9:00～15:00	職場体験	中止
			8月26日(金) 9:00～15:00		中止
			11月25日(金) 9:00～15:00		2
2	松山市立西中学校	2年生	9月13日(火) 9:30～15:00	職場体験	4
			9月14日(水) 9:30～15:00		4
			9月15日(木) 9:30～15:00		4
3	松山市立桑原中学校	2年生	9月15日(木) 9:00～15:00	職場体験	2
			9月16日(金) 9:00～15:00		2
4	松山市立藤新中学校	2年生	9月16日(金) 9:00～15:00	職場体験	中止
5	社会教育について学べるコース(遺育委員会主催)	—	12月1日(木) 9:00～15:00	職場体験	中止
6	松山市立勝山中学校	2年生	12月2日(金) 9:00～15:00	職場体験	4
			12月5日(月) 9:00～15:00		4
7	松山市立城西中学校	2年生	12月6日(火) 9:00～15:00	職場体験	3
			12月7日(水) 9:00～15:00		3
				合計 6校・10件	32

表8 教育普及活動一覧（博物館学芸員実習）

No.	学校名	学 年	日 時	内 容	参加者数 (人)
—	今年度実施なし			—	0
				合 計 0校	0

表9 教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室） ※館外欄は考古館主催事業で出前欄は依頼事業

(1)

No.	学校名・団体名	学年ほか	実施日	内 容	参加者数 (人)
館外	1 考古学リレー講座②	現地見学	令和4年7月2日(土)	藤原城資料館見学・講話「伊予守護の家」	27 27
	2 考古学リレー講座①	現地見学	9月24日(土)	松山城三之丸跡24・25次の発掘調査	30 30
	3 愛媛県・松山市教育委員会「古代いよ発掘まつり」 親子発掘現地見学会	現地見学	10月15日(土)	比町遺跡4次調査	15 15
出前	1 愛媛県立松山西中等教育学校	3年生	4月15日(金)	松山城・堀之内見学	168 168
	2 愛媛大学 ミュージアム	—	5月2日(月)	講演	5 5
3	松山市立味酒小学校	6年生	① 5月24日(火)	オリエンテーション [講話・校区内の遺物出土見学]	138
			② 6月14日(火)	古代人体験学習相談①	138
			③ 6月21日(火)	古代人体験学習相談②	138

## 普及啓発事業

## 教育普及活動一覧(館外・出前考古学教室) ※館外欄は考古館主催事業で出前欄は依頼事業

(2)

No.	学校名・団体名	学年ほか	実施日	内 容	参加者数(人)	
3	松山市立味酒小学校	6年生	① 6月29日(水)	古代人体験	138	
			② 7月12日(火)	古代人体験発表会	138	
			③ 10月27日(木)	土器焼き(土ねり)	138	
			④ 10月28日(金)	土器焼き(製作)・火入れ・土器出し・塗分け	138	
			⑤ 5月19日(水)	オリエンテーション	24	
4	松山市立みどり小学校	4~6年生	⑥ 5月26日(水)	縄文時代から古墳時代の概説	25	
			⑦ 6月16日(水)	石包丁作り①	25	
			⑧ 6月23日(水)	石包丁作り②	25	
			⑨ 9月15日(水)	火おこし体験	22	
			⑩ 10月20日(水)	石包丁作り①	24	
			⑪ 11月24日(水)	石包丁作り②	26	
			⑫ 12月15日(水)	石包丁作り③	25	
			⑬ 令和5年1月19日(水)	土器の複合体験①	25	
			⑭ 1月26日(水)	土器の複合体験②	中止	
			⑮ 2月22日(水)	銅鏡みがき(和同期向)	24	
5	松山市立久米小学校	6年生	⑯ 3月9日(水)	火おこし体験	24	
			⑰ 6月1日(水)	講話(古代以前)・火おこし体験	157	
			⑱ 6月17日(金)	古代人体験学習相談①	157	
			⑲ 6月22日(水)	古代人体験学習相談②	157	
			⑳ 7月14日(水)	古代人体験	157	
			㉑ 9月28日(水)	総合的な学習①	156	
			㉒ 10月6日(水)	総合的な学習②	156	
			㉓ 10月13日(水)	総合的な学習③	156	
			㉔ 10月25日(水)	総合的な学習④発表会	156	
			㉕ 6月9日(水)	講話・火おこし体験	110	
出前	7	松山市立浮穴小学校	6年生	6月28日(火)	講話(校区内の遺跡)・火おこし体験	82
	8	英園のまつやま まちかど講堂 松山市立東中学校	1年生	7月8日(金)	講話(東中・文京道跡・松山大学出土品)	100
	9	藤波公民館	—	7月20日(水)	講話(出土品)・火おこし体験・銅鏡みがき(和同期向)	24
	10	余戸児童クラブ	—	7月23日(土)	銅鏡みがき(日光鏡)	32
	11	株生第二児童クラブ	1年生	7月28日(水)	講話・ふんどう君ペンダント・ぬり絵	50
	12	株生第二児童クラブ	2~5年生	7月28日(水)	講話・石包丁作り	108
	13	余戸地区まちづくり協議会(1回目)	—	7月29日(金)	講話・粘土土器作り	28
	14	愛媛新聞カルチャースクール おもしろ古墳教室	—	7月30日(土)	豊後池古墳案内	14
	15	余戸地区まちづくり協議会(2回目)	—	8月4日(水)	講話・銅鏡みがき(日光鏡)	20
	16	浮穴児童クラブ	—	8月4日(水)	講話・石包丁作り	中止
	17	たちばな児童クラブ	—	8月9日(火)	講話・石包丁作り	21
	18	民間学童保育 Kids Home HIMAWARI	—	8月23日(火)	講話・石包丁作り	29
	19	英園のまつやま まちかど講堂 藤波第2児童クラブ	—	8月24日(水)	講話	40
	20	愛媛県歴史文化博物館	—	8月25日(水)	実践講座	12
	21	松山市立小野小学校	6年生	9月9日(金)	豊後池古墳見学説明	175
	22	松山市立新玉小学校	1~6年生	9月13日(火)	講話・出土品見学	97
	23	松山市立岩宮小学校	1年生	9月14日(水)	石包丁作り	11
	24	株生児童館わくわくタイム	小中学生	9月25日(日)	講話・オリエンタス・古代鏡・ぬりえ ふんどう君着ぐるみ・土器・土器	18
	25	英園のまつやま まちかど講堂 愛媛県立松山高等学校	1年生	9月29日(木)	講話	59
	26	赤鷲公民館(赤鷲小学校)	3年生	9月30日(金)	講話・火おこし体験	16
	27	松山大学 カルソバ会公開講座	—	10月12日(水)	講話	38
	28	松山市立城西中学校	—	10月29日(土)	講話・石包丁作り(文化祭)	25
	29	松山市立新玉小学校	1~6年生	11月2日(水)	講話(城山公園)	576
	30	愛媛県総合教育センター	—	11月3日(木)	講話・石包丁作り	18
	31	愛媛県立松山工業高校	—	11月3日(木)	出張展示(文化祭)	80
	32	松山市立西中学校	2年生	11月18日(金)	質疑応答・石包丁作り	30
	33	キッズクラブまつやま 2022	1~6年生	11月27日(日)	講話・ミニ発掘体験	44
	34	小野地区青少年健全育成連絡協議会	—	12月4日(日)	講話	150

## 普及啓発事業

教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室）※館外欄は考古館主催事業で出前欄は依頼事業

(3)

No.	学校名・団体名	学年ほか	実施日	内 容	参加者数(人)	
35	教員後等デイサービス マルクスコフはなみずき教室	—	令和5年1月15日(日)	講話・石勾玉作り	9	
36	松山市立味生第二小学校	3年生	2月2日(木)	秀野家住宅見学	130	
37	美濃のまつやま まちかど講座 松山市伊台公民館	—	2月2日(木)	講話・遺物見学	15	
38	松山市立業鷲小学校	—	2月14日(火)	ありがとう会	80	
39	松山市立味生小学校	3年生	2月15日(水)	秀野家住宅見学	108	
40	愛媛県生涯学習センター 「ふれあいフェスタ」2023	—	2月26日(日)	銅鏡みがき(富本鏡)・ふんどう君ペンダント	100	
41	新田高等学校	2年生	3月10日(金)	火おこし体験	79	
42	愛媛大学ジュニアドクター育成塾	—	3月16日(水)	意見交換会	12	
43	美濃のまつやま まちかど講座 南水公民館	—	3月24日(水)	講話	42	
44	教員後等デイサービス マルクスコフ山越	—	3月26日(日)	石勾玉作り	14	
45	教員後等デイサービスアソシエ	—	3月28日(火)	石勾玉作り	19	
					433	
					166	
館外 子定分					3件	—
実施分					3件	72
出前 子定分					69件	—
実施分					67件	5,295
総合計 子定分					72件	—
実施分					70件	5,367

表 10 教育普及活動一覧（職員研修・会議）

No.	研修・会議名	日時等	開催地	参加者数 (人)
1	四国地区歴史文化財センター 発掘へんろ展 第1回実行委員会	令和4年4月25日(月)	愛媛県	4
2	公開承認施設担当委員会及び国定・重要文化財(美施工芸品)防災・防犯対策研修会	令和4年6月16日(木)	オンフワン	—
3	第43回全国歴史文化財法人連絡協議会 総会	6月16日(木)～6月17日(金)	群馬県	欠席
4	四国地区歴史文化財センター 発掘へんろ展 第2回実行委員会	令和4年7月19日(火)	高知県	2
5	奈良文化財研究所主催 令和4年度文化財担当者専門研修「文化財デジタルアーカイブ課程」	7月24日(日)～29日(金)	奈良県	1
6	奈良文化財研究所主催 令和4年度文化財担当者専門研修「解体学・華鏡学・土壌学基礎課程」	9月25日(日)～30日(金)	奈良県	1
7	全国歴史文化財法人連絡協議会中国・四国・九州ブロック会議	10月13日(木)～14日(金)	福岡県	欠席
8	奈良文化財研究所主催 令和4年度文化財担当者専門研修「保存科学(材質・構造調査)課程」	10月10日(月祝)～14日(金)	奈良県	1
9	令和4年度 全国歴史文化財法人連絡協議会研修会	11月1日(火)～11月2日(水)	長野県	欠席
10	四国地区歴史文化財センター 発掘へんろ展 第3回実行委員会	令和5年1月13日(金)	徳島県	2
11	愛媛大学ジュニアドクター育成塾 意見交換会	令和5年3月16日(木)	愛媛県	1
12	四国地区歴史文化財センター 発掘へんろ展 第4回実行委員会	3月22日(水)	徳島県	2
合計				15

表 11 考古館広報関係一覧（印刷物等）

No.	出版物名	種 類	版 型	部数(枚)
1	四国地区歴史文化財センター 発掘へんろ展 「四国の風土と暮らしー山と人々ー」	ポスター/チラシ	B 2/ A 4	500/2000
2	ロビー展「大連古代展」	ポスター/チラシ	B 3/ A 4	100/400
3	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」 「掘ったぞな松山2022」	ポスター/チラシ	B 2/ A 4	550/2500
4	特別企画展愛媛大学包括連携事業 令和4年度 特別展 「愛大発掘ーすこいぞ！文京道路ー」	ポスター/チラシ	B 2/ A 4	500/2000
5	松山市考古館 バンフレット	パンフレット	縦 200×横 420 (9つ折り)	15,000
6	松山市考古館 常設展示案内パンフレット	パンフレット	A 4	7,000
7	令和4年度特別展 「古墳時代のヤマトー奈良県唐古・磯道から磯内遺跡へー」	ポスター/チラシ	B 2/ A 4	500/2000

表 12 出版物一覧

No.	報告書名・出版物名	版型・頁	冊数
1	松山市歴史文化財調査年報 34	A4・130頁	300
2	松山市文化財調査報告書 第208集「下能成屋敷跡1次・2次調査」	A4・148頁	300
3	松山市文化財調査報告書 第209集「衣山車道跡・久方山本道跡」	A4・88頁	300
4	松山市文化財調査報告書 第210集「待田本村道跡」	A4・130頁	300
5	令和4年度特別展示解説書「古墳時代のヤマト-奈良県唐古・龍造寺から鶴向道跡へ」	A4・16頁	700

表 13 資料の貸出一覧

No	種類	貸出資料名	点数	貸出・利用目的	貸出・利用期間	貸出先	閲覧者数(人)
1	資料	分銅形土製品ほか	25	常設展示室において展示するため	令和2年4月1日 ～7年3月31日	子原記念博物館	—
2	資料	福智寺小学校境内遺跡出土 跡台 (No.355・369)	2	今治市大西郡山鹿山歴史資料館展示室における、 妙見山古墳出土の伊予型埴輪跡台との比較 展示のため	令和4年7月6日 ～令和5年7月5日	今治市教育委員会	—
3	資料	松山城二之丸跡出土のロシ ア金貨	1	坂の上の雲ミュージアムの常設展で展示を するため	平成30年4月1日 ～令和5年3月31日	坂の上の雲ミュージアム	—
4	写真	業在池古墳 遺構横断図ほか	10	大塚原立近つ飛鳥博物館令和4年度夏期特 別展に伴う広報への掲載、展示パネル及び チラシ・ホームページ等の広報資料への掲 載のため	令和4年5月16日 ～7月30日	大塚原立近つ飛鳥博物館	—
5	写真	久米評経朝書徳忠器	1	吉村式産物館「地域の古代日本 器書・古 書、伊予」【紙張・電子書籍】白紙に掲載 のため	令和4年6月30日 ～8月24日	株式会社 KADOKAWA	—
6	資料	業在池古墳 出土遺物	22	大塚原立近つ飛鳥博物館令和4年度夏期特 別展に伴う展示	令和4年7月4日 ～10月16日	大塚原立近つ飛鳥博物館	—
7	写真	陶質土器の集合写真「松山 市文化財調査報告書 第88 集 新ヶ谷道跡4次調査」 巻頭図版1	1	令和4年度企画展示「御部-古代東アジア をきたた、ある王国の歴史-」における展 示パネル等への掲載のため	令和4年7月19日 ～10月4日	国立歴史民俗博物館	—
8	写真	有納式壺形石剣 複製 (原品：忠依彦二名神社所蔵)	1	令和4年度企画展示「いにしえが、好きっ！ -近世好古図録の文化誌-」において展示 し、展示図録等に掲載するため	令和4年7月19日 ～令和5年8月8日	国立歴史民俗博物館	—
9	資料	有納式壺形石剣 複製 (原品：忠依彦二名神社所蔵)	1	松原市の歴史民俗資料施設に伴う展示料 目として、複製品を制作するため	令和4年9月1日 ～12月22日	松原町長	—
10	資料	分銅形土製品 文京道跡 1976 ほか	14	令和4年度特別企画展「よみがえる那馬台 田」での展示のため	令和4年9月5日 ～11月25日	吉野ヶ里公園マネジメント 共同企業体 吉野ヶ里公 園管理センター	延べ33,179
11	資料	東山2号墳・塚本1号墳、 東本4次調査、伊台整部道跡、 種味四反地4次、久米高部 65次、新ヶ谷道跡出土土器製品 の保存処理に使用した展覧 の科学分析報告書	1部	日本文化財科学会 第39回大会発表のため	令和4年9月10日 ～9月11日	元興寺文化財研究所	—
12	写真	大塚原跡出土土器 444・445 集合写真ほか	15	四国中央市歴史考古博物館における令和4 年度企画展「まじないの道具、いのりの空間 」の広報および展示に使用するため	令和4年10月25日 ～令和5年2月28日	NPO法人のまほろ国書館 四国中央市歴史考古博 物館	—
13	資料	大塚原跡出土遺物ほか	41	四国中央市歴史考古博物館における令和4 年度企画展「まじないの道具、いのりの空間 」の展示のため	令和4年12月1日 ～令和5年2月28日	NPO法人のまほろ国書館 四国中央市歴史考古博 物館	489
14	写真	松山市考古館「松山の原始・ 古代」松山市考古館常設展 展示室内平成2年3月 巻頭チ ラーほか	4	令和5年度春季企画展「土木遺産展-水と 運ぶ-」にてパネル・ポスター・チラシに 使用するため	令和4年10月18日 ～令和5年5月7日	大塚原立近つ山道博物館	—
15	写真	大塚原跡 女子文壇の歴 ほか	14	令和4年度特別展「学校の宝物」展での一 部写真展示及び広報(ホームページ・チ ラシ)及び展示図録掲載のため	令和4年11月9日 ～令和5年12月9日	愛媛県歴史文化博物館	—
16	資料	有納式壺形石剣 複製 (原品：忠依彦二名神社所蔵)	1	令和4年度企画展示「いにしえが、好きっ！ -近世好古図録の文化誌-」において展示 し、展示図録等に掲載するため	令和5年2月11日 ～6月11日	国立歴史民俗博物館	—
17	資料	大塚原跡 縄文土器残片 ほか	36	令和4年度特別展「学校の宝物」展での展 示のため	令和5年2月11日 ～4月14日	愛媛県歴史文化博物館	3,223
18	資料	吉野道跡7次調査出土中世 土器ほか	23	今治道跡関連の整理作業における中世土 器の整理調査のため	令和5年2月13日 ～2月28日	公益財団法人 愛媛県 歴史文化財センター	—
19	写真	愛媛県松山市吉野道跡復元 高床倉 全体写真 同 部分写真	2	「プレステップ神道学【第2版】」本文撰 写への掲載のため	令和5年1月13日 ～2月20日	弘文館編集部	—
20	写真	業在池古墳 現況と人骨付きのシメコロ ハエ属の埋輪図ほか	5	ギャラリー展「ハエのさなぎから探る古 代の都式」でパネル・パンフレット・SNS に掲載するため	令和5年2月11日 ～7月3日	出雲弥生の森博物館	—

## 普及啓発事業

表 14 考古資料の調査一覧

No	種類	調査資料名	点数	調査・利用目的	調査・利用期間
1	資料	松山市文化財調査報告書第166集「久米高畑遺跡-36次調査-因摩補助市内遺跡発掘調査報告書」2013年第24回19-28	10	論文執筆のための熟覧・複写・写真撮影	令和4年4月22日
2	資料	松山市文化財調査報告書第92集「葉化池古墳」2003年	14	令和4年度夏季特別展に伴う展示希望資料の事前調査のため熟覧・複写・写真撮影	令和4年5月16日
3	資料	久米タナシ2号墳出土土器ほか	4	論文作成に伴う調査、研究のための三次元計測のため	令和4年6月7日
4	資料	五郎兵衛古墳 角鹿状石器、砥石、石廬丁	3	年報34集 執筆のため(写真撮影・実測・計測)	令和4年6月22日
5	資料	松山市文化財調査報告書第77集「大洞遺跡跡-1、2次調査-」2000年、松山市文化財調査報告書24集「辰谷六丁堀遺跡跡-調査報告1-」1991年	14	令和4年度企画展の資料借用の事前調査のため	令和4年7月21日
6	資料	有納式磨製石剣(複製品)	1	国立歴史民俗博物館企画展示(令和5年3月-5月)開催に際する借用資料事前調査のため	令和4年8月18日
7	資料	松山市文化財調査報告書第77集「大洞遺跡跡-1、2次調査-」2000年 図46 埴田番号170 最石ほか	9	令和4年度日本学術振興会/科研費(基盤研究C)関連資料調査のため熟覧、複写、写真撮影	令和4年9月22日
8	資料	松山市文化財調査報告書第77集「大洞遺跡跡-1、2次調査-」2000年 図106-592 縄文土器片ほか	43	令和4年度特別展「学校の宝物」展示資料調査のため熟覧、写真撮影	令和4年10月12日
9	資料	松山市文化財調査報告書第77集「大洞遺跡跡-1、2次調査-」2000年 図63-71-103-163 漆器、瓦片ほか	133	令和4年度日本学術振興会/科研費(基盤研究C)関連資料調査のため熟覧、複写、写真撮影	令和4年12月1日
10	資料	松山市内出土の弥生時代の木製土器・絵画・記号土器	98	論文執筆のため	令和4年12月9日-11日
11	資料	大洞遺跡出土資料、久米高畑遺跡出土資料	38	止花遺跡発掘調査報告書作成に係る関係資料調査のため熟覧・写真撮影	令和4年12月13日-14日
12	資料	松山市文化財調査報告書第77集「大洞遺跡跡-1、2次調査-」2000年 A区第9A層 図49-190ほか	9	縄文・弥生移行期炭化植物着土器の炭素年代測定分析に伴う試料	令和4年12月15日
13	資料	東本遺跡出土土鏡、釜ノ口遺跡出土土鏡	2	卒業論文作成のため熟覧・写真撮影	令和4年12月15日
14	資料	松山市文化財調査報告書第80集「唐院の遺跡Ⅱ」2001年「第2章 鳥越遺跡」第10図84-93鳥越遺跡出土土器	10	卒業論文執筆に伴う調査研究のため熟覧・複写・写真撮影、その他	令和4年12月20日
15	資料	五郎兵衛古墳 石器	一式	中・西国日石器話合会の開催に合わせての見学 松山の日石器遺物の研究のため	令和5年1月21日
		柳塚古墳 ナイフ形石器	1点		
		竹本コレクションの石器	一式		
16	資料	松山市文化財調査報告書第202集「南江戸上沖遺跡-1、2次調査-」2021年第65図208-234、報告書第197集「辰山城三之丸跡-13次、15次調査-」2019年第51図130-第52図147、報告書第207集「史跡松山城跡-史跡整備等に伴う遺構確認調査等報告書(平成13-29年度)-」2022年図8-9ほか	31	2023年度企画展での展示のため	令和5年2月22日

表 15 令和4年度 考古館月別入館者数調(令和4年4月~令和5年3月)

(単位:人)

月	開館日数 (日)	常設展示室								特別展示室	展示室迂 入場者数	入館者数	
		有料入館者				無料入館者							
		一般	高齢者	団体 各種割引	前売	小計	高校生 以下	身が いける 介護人	その他	小計			
4月	26	139	45	0	-	184	77	8	0	85	31	309	721
5月	25	101	38	0	-	139	46	7	0	53	344	536	536
6月	26	272	152	0	-	424	238	66	9	313	1,447	2,184	3,143
7月	27	160	49	0	-	209	138	34	3	175	656	1,040	1,177
8月	25	149	15	8	-	172	285	70	54	409	717	1,298	954
9月	26	141	20	7	-	168	173	3	12	188	445	801	664
10月	26	118	24	0	-	142	371	2	20	393	735	1,290	909
11月	24	122	42	1	-	165	50	3	55	108	381	654	658
12月	24	84	14	0	-	98	75	3	7	85	350	533	498
1月	24	146	13	15	-	174	77	5	2	84	308	566	558
2月	23	31	8	0	-	39	296	10	242	488	554	1,081	777
3月	26	52	26	0	-	78	630	27	321	978	1,029	2,135	1,434
計	302	1,515	446	31	-	1,992	2,396	238	725	3,359	7,067	12,418	12,029



写真1 発掘へんろ展  
「四国の風土と暮らしー山と人ター」



写真2 発掘へんろ展 講演会



写真3 愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」  
「掘ったぞな松山2022」



写真4 「掘ったぞな松山2022」 講演会



写真5 愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」  
「いにしへのえひめ」



写真6 「いにしへのえひめ」 講演会



写真7 愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」  
親子発掘現地見学会



写真8 愛媛大学包括連携事業 特別企画展  
「愛大発掘～すごいぞ！文京遺跡～」



写真9 愛媛大学包括連携事業 特別企画展  
ディスカッション



写真10 特別展「古墳時代のヤマト  
～奈良県唐古・鏡遺跡から纏向遺跡へ～」



写真11 特別展 シンポジウム①



写真12 特別展 シンポジウム②



写真13 ロビー展  
発掘情報展「桑原遺跡8次調査」



写真14 ロビー展  
発掘情報展「収蔵考古資料展」



写真15 ロビー展「2022Kid's考古学新聞コン  
クール全国巡回展」



写真16 ロビー展「古代の進展」



写真 17 ロビー展「大連古代蓮の育成」



写真 18 考古学リレー講座



写真 19 考古学リレー講座 / 現地見学会 (松山城)



写真 20 親子考古学教室①



写真 21 親子考古学教室②



写真 22 まつやまの歴史を学ぼう



写真 23 古代体験教室「石勾玉を作ろう」



写真 24 考古学出前講座 土器焼き (小学校)

## 松山市埋蔵文化財調査年報 35

---

令和5年12月27日 発行

編集 発行	松山市教育委員会 〒790-0003 愛媛県松山市三番町六丁目6-1 TEL (089) 948-6605
	公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター 〒791-8032 愛媛県松山市南斎院町乙67番地6 TEL (089) 923-6363 FAX (089) 925-0260
印刷	佐川印刷株式会社 〒791-8018 愛媛県松山市問屋町6番21号 TEL (089) 925-7471

---